

令和4年度
木島平村地域実態調査報告書

令和5年1月

木島平村

目次

第1章 調査の概要	1
1 . 調査の目的	1
2 . 調査の概要	1
(1) 村民アンケート調査.....	1
(2) 木島平村から転出された方へのアンケート調査.....	1
(3) 区長向けアンケート調査.....	2
第2章 調査結果	3
1 . 村民アンケート調査	3
問1 回答者の属性.....	3
(1) 性別.....	3
(2) 年齢（令和4年4月1日現在）.....	3
(3) 今の集落に住んでいる年数.....	3
(4) 職業.....	5
(5) 勤務先・就学地.....	6
問2 木島平村は住みよい村だと思いますか.....	7
問3 今後も木島平村に住み続けたいと思いますか.....	8
(1) 問3で「住み続けたい」を選んだ方：住み続けたい理由.....	9
(2) 問3で「村外に転出したい」を選んだ方：転出したい理由.....	10
問4 木島平村第6次総合振興計画に掲げた取組の「現状の満足度」と「将来における重要度」.....	11
(1) 28の施策ごとの集計.....	11
(2) 101の取組ごとの集計.....	21
問5 お住まいの集落について.....	37
(1) 集落内で高齢者（65歳以上）だけで生活している世帯の数.....	37
(2) 集落内の共同作業や活動への住民の参加状況.....	38
(3) 集落内の自慢できる資源（自然・歴史・人・食文化・祭り等）.....	39
(4) 大雨や地震などの自然災害が起こった場合の危険箇所.....	40
(5) 過去10年間の集落の変化.....	40
(6) 今後10年間の集落の変化の見通し.....	42
(7) 集落の未来について、期待する将来像や心配事等.....	43

問6	地域の活動・行事等について	46
	(1) コロナ禍の状況を踏まえ、活動・行事等を今後どうしていきべきか	46
	(2) コロナ禍により縮小・中止した活動や行事、イベントは、将来に向けてどのような形にしていくことが理想か	51
問7	村のデジタル化の進め方について	53
	(1) 今後、村にデジタル化を進めてほしい分野	53
	(2) 今後、村がデジタル化を進めるにあたって注意すべき点	54
問8	これからの村づくりについて（自由記述）	55
2. 木島平村から転出された方へのアンケート調査		58
問1	回答者の属性	58
	(1) 性別	58
	(2) 年代	58
	(3) ご職業	58
	(4) 現在（木島平村から転出後）の家族構成	59
	(5) 木島平村での居住年数	59
問2	木島平村から転出後の居住地について	60
問3	転出前の木島平村での居住地区	60
問4	転出前後のお住まいについて	61
問5	転居することになった最も大きな理由について	61
問6	転出するにあたり木島平村内でもお住まいを探しましたか	62
	(1) 【問6で「木島平村外に住もうと決めていたので、木島平村内は探さなかった」または「木島平村内も探したが、適当な物件がないため村外に決めた」を回答した方】転出先を選んだ理由	62
問7	木島平村は住みやすかったですか	63
問8	木島平村が「住みやすかった」点	63
問9	木島平村が「住みにくかった」点	64
問10	今後の居住地について、どのようにお考えですか	65
	(1) 【問10で「いずれは木島平村へ戻りたい」または「条件等が合えば木島平村へ戻りたい」を回答した方】木島平村がどのような村になれば、戻りたいと思いますか	65
	(2) 【問10で「いずれは木島平村へ戻りたい」または「条件等が合えば木島平村へ戻りたい」を回答した方】木島平村へ戻る場合、おおよそ何年後くらいを想定されますか	66
問11	これまで木島平村にお住まいになって、気づいたこと・不安だったことなどについて（自由記述）	66

3 . 区長向けアンケート調査	67
回答者の属性（年齢）	67
1 集落の現状について	68
1-1 65 歳以上だけで暮らしている世帯	68
1-2 後継者や跡継ぎと一緒に住んでいる世帯	69
1-3 他の集落または村外に家の跡継ぎの人が住んでいる世帯.....	69
1-4 65 歳以上だけで暮らしている世帯に、他の集落や村外に住む家族が訪れてくる世帯の訪問頻度	70
2 集落の過去 10 年間の変化について	71
2-1 10 年前との集落の変化	71
2-2 他の集落または村外へ転出した世帯.....	71
2-3 他の集落または村外から転入した世帯	71
2-4 他の集落または村外から戻ってきた世帯	71
3 集落内のつながりについて	72
3-1 集落で共同利用・管理している施設.....	72
3-2 集落で共同利用・管理している広場や公園等	72
3-3 集落で共同利用・管理している山林等	72
3-4 集落の作業.....	73
3-5 集落全体で行う作業への住民の参加状況	74
3-6 集落で行う作業に関する困ったことや気づいたこと	74
3-7 集落に神社のお祭りはあるか。ある場合は、神楽の奉納（夜宮）の実施状況	75
3-8 集落内での日常生活の助け合い	75
3-9 集落内の日常生活・家事などを助けてくれるグループ・組織.....	76
3-10 親交やつながりの深い集落	77
3-11 他の集落と協力・連携して実施する活動や行事	78
3-12 今後必要になると思われる助け合いや協力.....	79
4 集落内の資源について	80
4-1 他に自慢できるような集落内の資源や魅力.....	80
4-2 資源や魅力を保存・振興・伸長させるような取組.....	80
4-3 集落内の伝統行事（神社のお祭りを除く）	81
4-4 集落内の資源や魅力に関する課題.....	81
5 集落内の施設や場所について	82
5-1 集落内の施設や場所	82
5-2 5-1 で特に課題となっている場所	83
6 集落の将来について	84
6-1 今から 10 年後の集落の変化.....	84
6-2 現在は他の集落または村外に住んでいるが、将来戻ってきそうな人.....	84
6-3 今後、他の集落または村外へ転出する世帯.....	85
6-4 今後、他の集落または村外から転入する世帯.....	85

6-5	現在行っている集落の活動や作業	85
6-6	今後の集落の姿（将来像）について集落内で話し合いを持っているか	85
6-7	集落を活性化するために重要な取組	86
6-8	6-7 で回答した集落活性化の取組を進めていくために集落で必要なこと	86
6-9	集落の将来について期待する将来像や心配事等	87
第3章	総括	88
1 .	村での生活に関する評価	88
2 .	第6次総合振興計画 後期基本計画に掲げた取り組みの評価	88
3 .	地域の行事・イベントのあり方について	89
4 .	デジタル化の進め方について	89
5 .	転出者からみた木島平村	89
6 .	集落の現状と将来像に関する評価	90
7 .	アンケート調査結果から導かれる課題	90
第4章	資料編	91
1 .	村民アンケート調査票	91
2 .	転出者向けアンケート調査票	101
3 .	区長向けアンケート調査票	105

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

木島平村第6次総合振興計画の後期基本計画が令和6年度に終了することから、新たな第7次総合振興計画の策定に向けて、その基礎資料となる現状分析や住民ニーズの把握が求められています。

そのため、令和4年度において村民意識の現状把握とニーズの掘り起こしを行い、新たな総合計画策定の基礎資料とすることを目的として、本調査を実施しました。

2. 調査の概要

本調査では、以下の(1)村民アンケート調査、(2)木島平村から転出された方へのアンケート調査、及び(3)区長向けアンケート調査を実施しました。

(1) 村民アンケート調査

村民アンケート調査概要は以下のとおりです。

アンケートの回収率は46.5%（有効回答数697）となっています。

【調査の概要】

調査対象	15歳以上の村民から年代別、集落別の人口比率に応じて無作為に抽出した1,500人
調査方法	統計調査員による戸別配布（スキー場地区のみ郵送） 郵送またはWEBによる回答
調査期間	令和4年10月15日～令和4年10月31日
回収結果	アンケート調査票配布数：1,500
	有効回答数：697（回収率：46.5%）

(2) 木島平村から転出された方へのアンケート調査

木島平村から転出された方へのアンケート調査概要は以下のとおりです。

アンケートの回収率は55.6%（有効回答数10）となっています。

【調査の概要】

調査対象	令和4年3月以降に転出された方のうち、転出手続き時に「アンケート調査に協力できる」と回答された方18人
調査方法	郵送による配布 郵送またはWEBによる回答
調査期間	令和4年10月29日～令和4年11月11日
回収結果	アンケート調査票配布数：18
	有効回答数：10（回収率：55.6%）

(3) 区長向けアンケート調査

区長向けアンケート調査概要は以下のとおりです。

アンケートの回収率は 100.0% (有効回答数 26) となっています。

【調査の概要】

調査対象	村内各集落の区長 26名
調査方法	郵送による配布、回収
調査期間	令和4年11月26日～令和4年12月16日
回収結果	アンケート調査票配布数：26
	有効回答数：26 (回収率：100.0%)

■ 本報告書のグラフの留意事項

※四捨五入の関係から、各回答の合計が 100%にならない場合があります。

※過去に実施した調査との比較を行った箇所があります。

第2章 調査結果

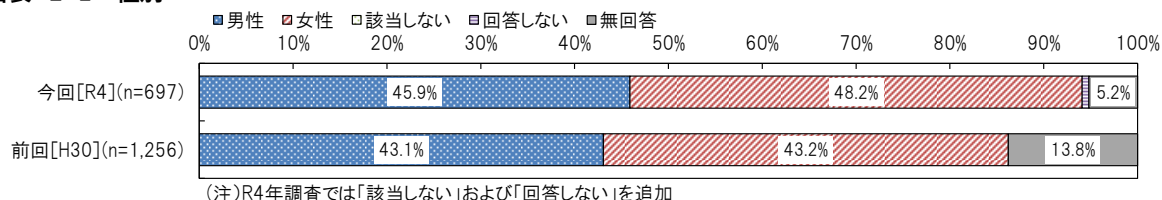
1. 村民アンケート調査

問1 回答者の属性

○ 回答者の性別、年齢、居住集落については、以下のとおり。

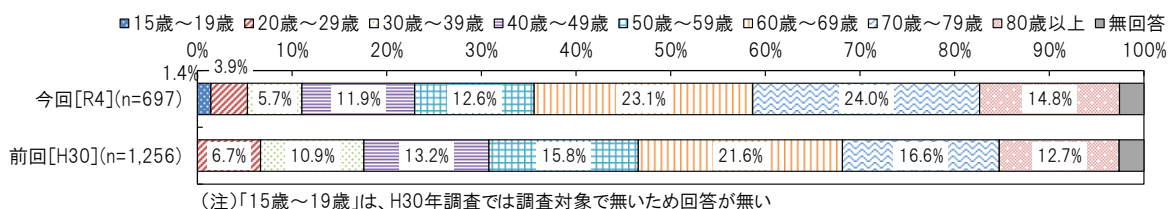
(1) 性別

図表 1-1 性別



(2) 年齢 (令和4年4月1日現在)

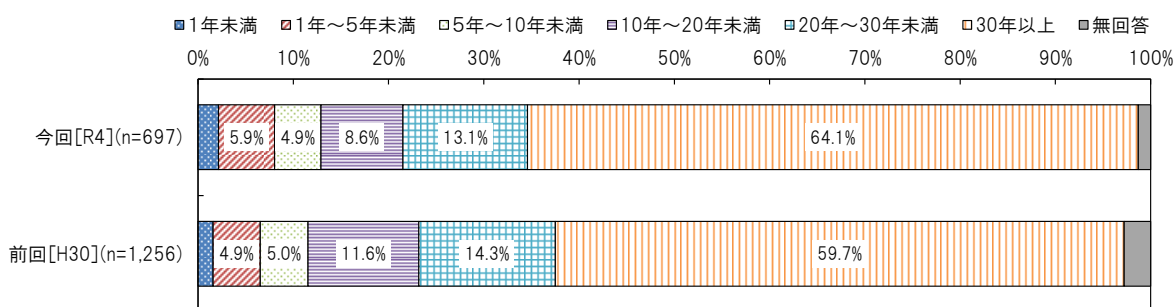
図表 1-2 年齢



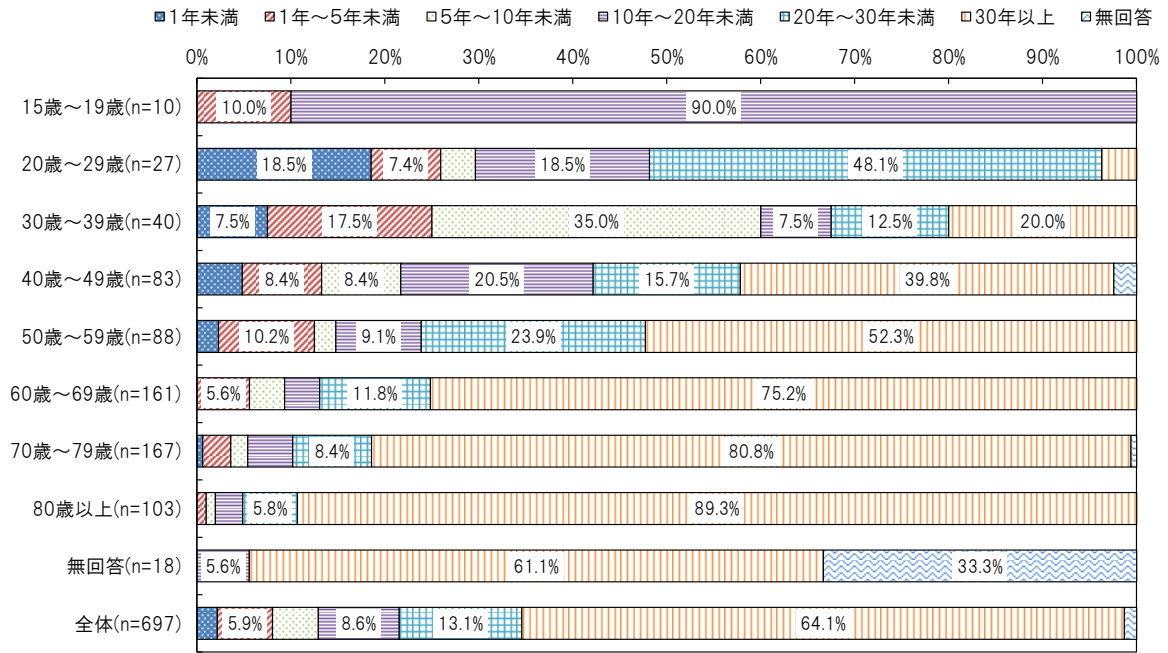
(3) 今の集落に住んでいる年数

- 全体で見ると、30年以上住んでいる方の割合最も高く、64.1%となっている。
- 年齢階級別にみると、年齢階級が高いほど30年以上住んでいる割合が高い。
- 30代では、居住年数10年未満が6割を占めている。

図表 1-3 集落居住年数



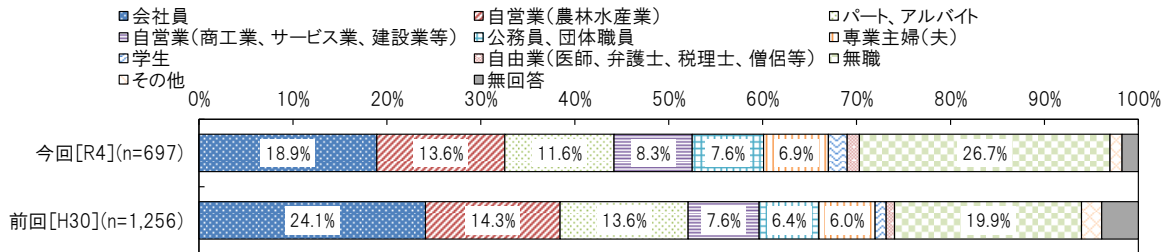
図表 1-4 集落居住年数（年齢階級別）



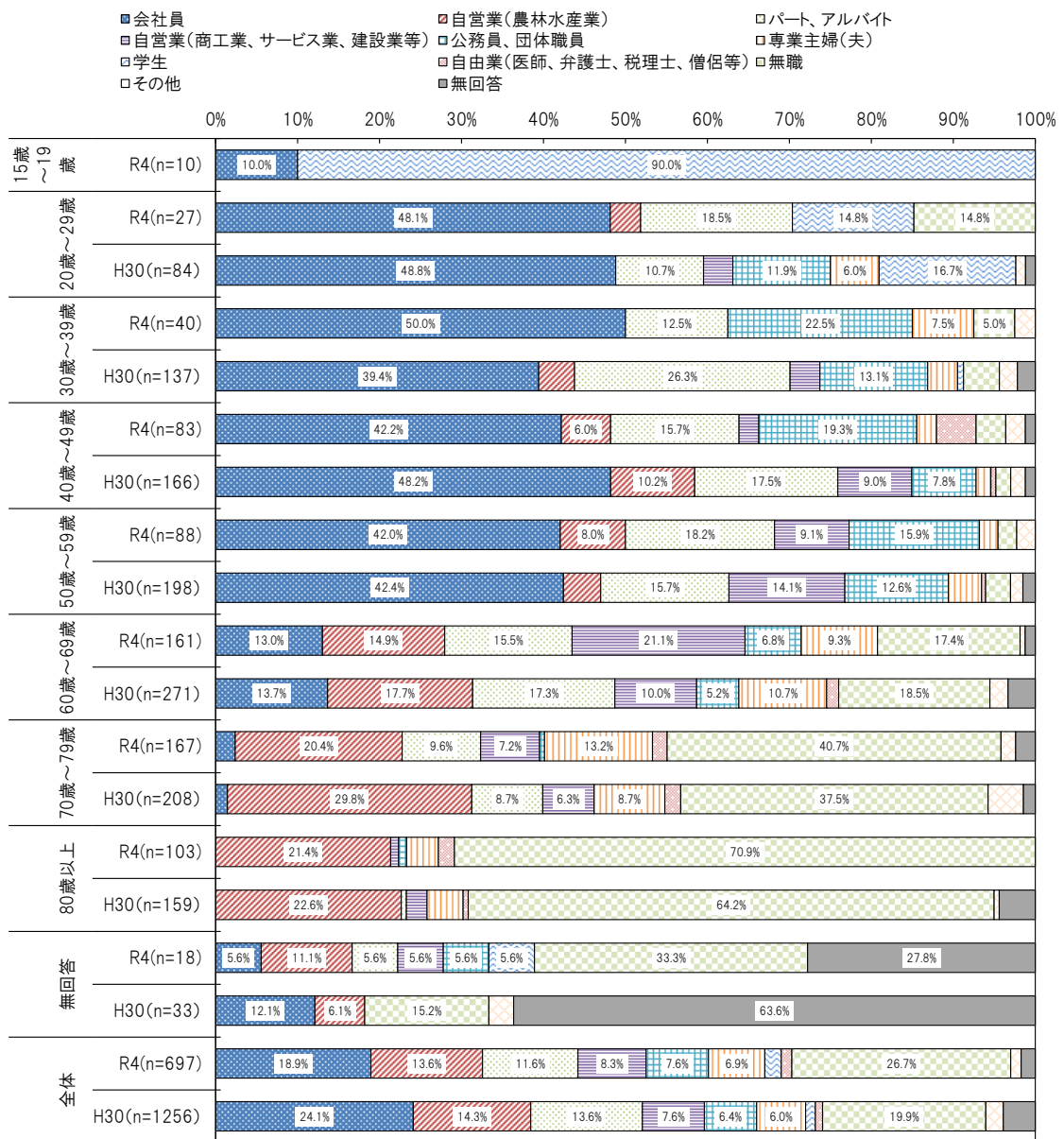
(4) 職業

- 「会社員」の割合が高く、続いて「自営業（農林水産業）」、「パート・アルバイト」が続く。無職は26.7%となっている。
- 職業を年齢別にみると、60歳未満では4割程度が「会社員」となっており、60歳以上では「自営業（農林水産業）」の割合が高くなる。80歳以上でも21.4%が「自営業（農林水産業）」として就業している。

図表 1-5 職業



図表 1-6 職業（年齢階級別）



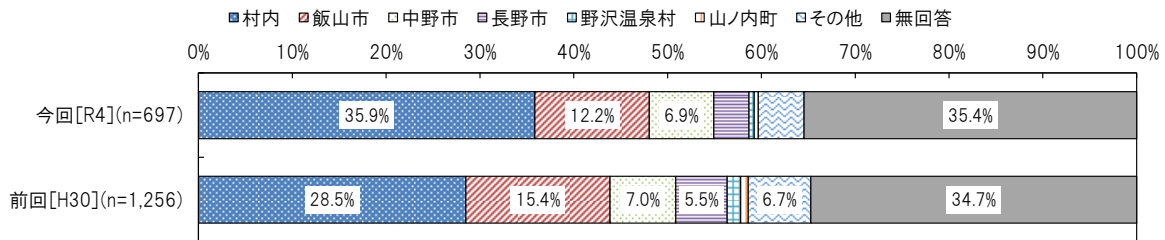
(注)「15歳～19歳」は、H30年調査では調査対象で無いため回答が無い

「その他」の主な意見・・・介護関係、シルバー人材、半農 など

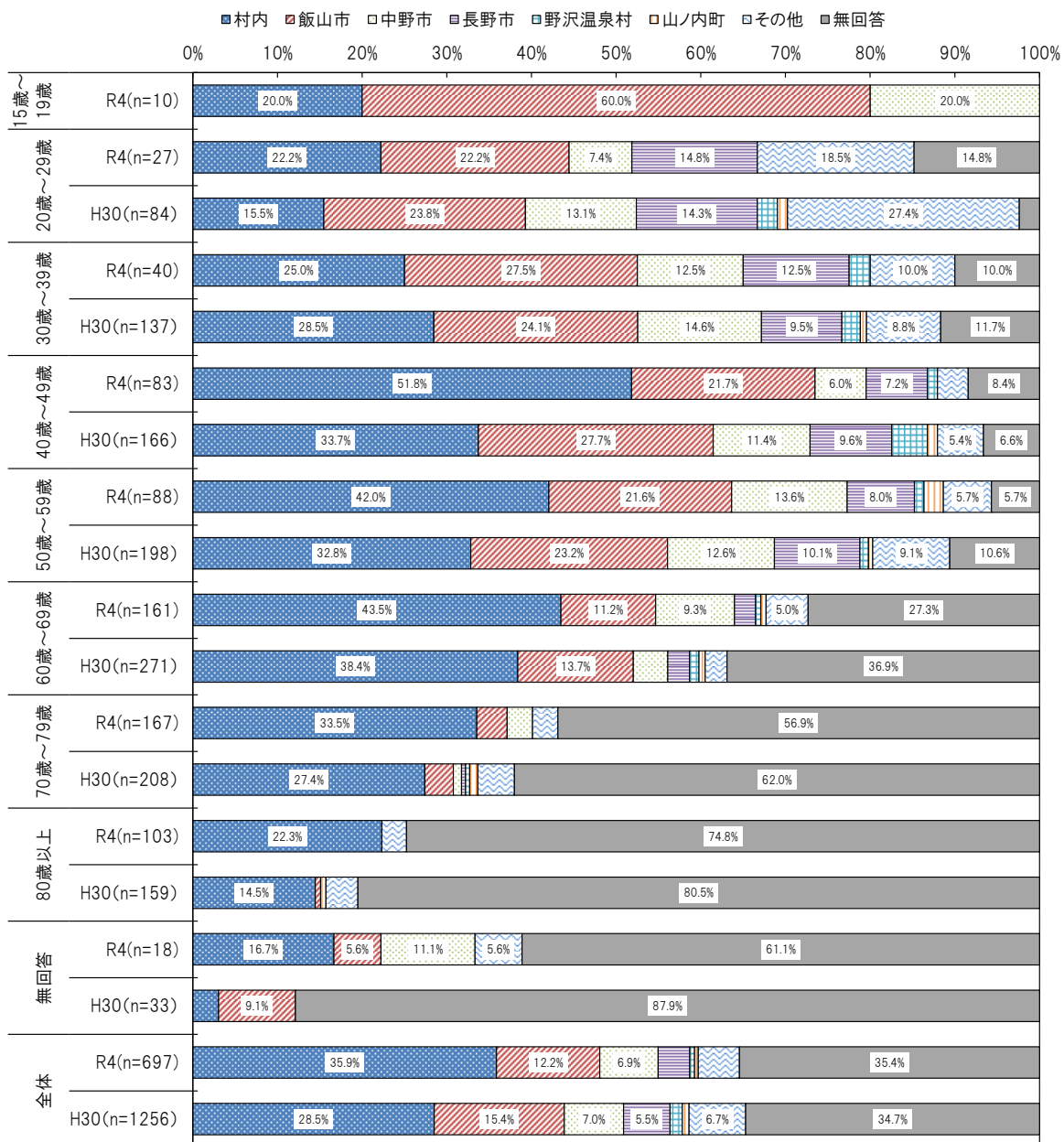
(5) 勤務先・就学地

- 勤務先・就学地は「村内」の割合が最も高く、「飯山市」「中野市」「長野市」が続く。
- 年齢別にみると、40歳以上の年齢では「村内」の割合が最も高い。一方、30歳代以下では「飯山市」の割合が高い傾向にある。

図表 1-7 勤務先・就学地



図表 1-8 勤務先・就学地（年齢階級別）



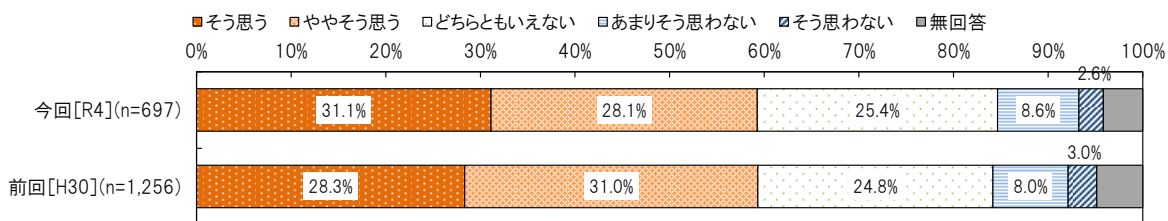
(注)「15歳～19歳」は、H30年調査では調査対象で無いため回答が無い

「その他」の主な意見・・・須坂市、新潟県上越市、妙高市、東京都、名古屋 など

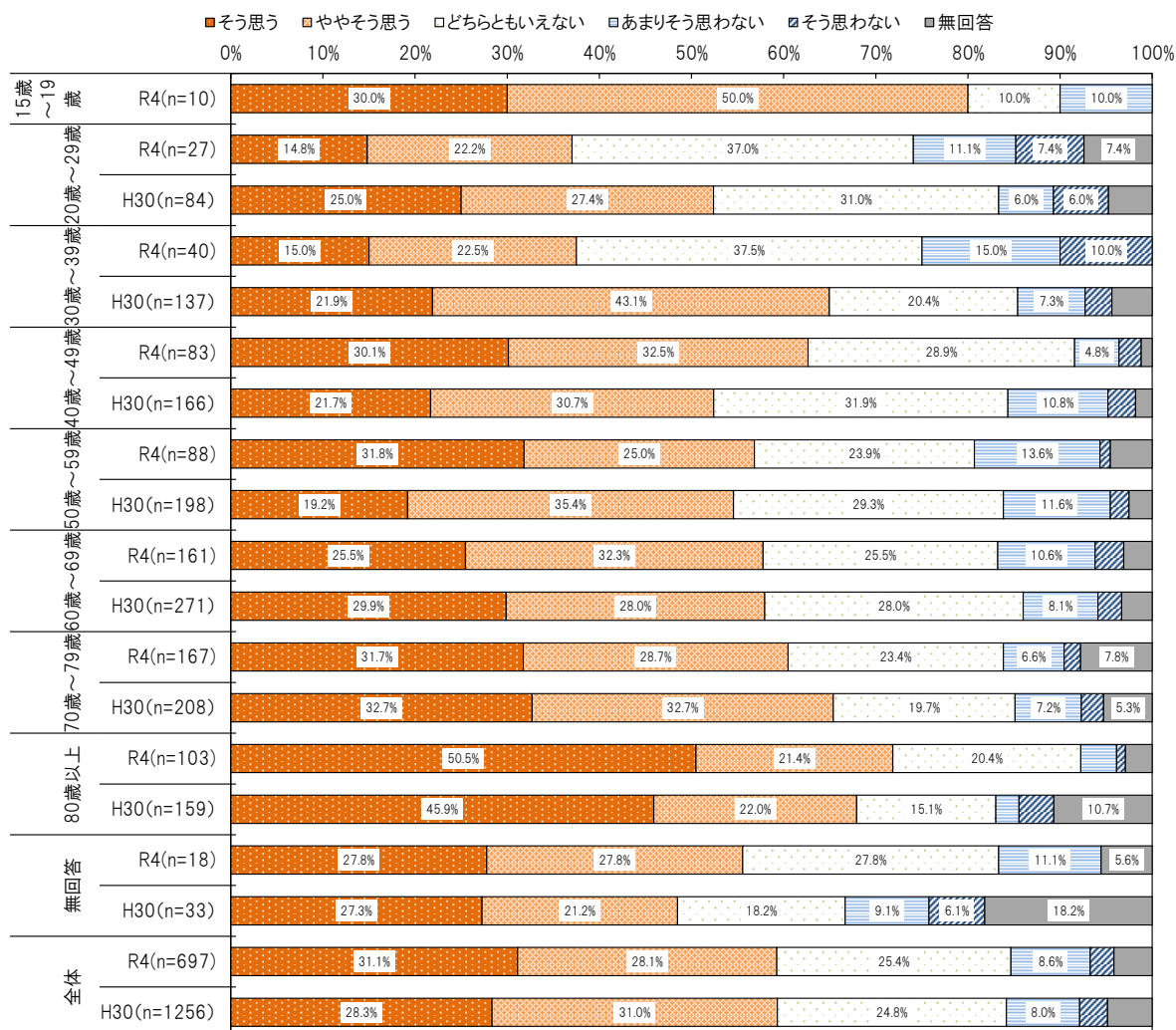
問2 木島平村は住みよい村だと思いますか

- 全体でみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた 59.2%が「住みよい村である」と肯定的に回答しており、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた 11.2%に比べ、48.1ポイント高い。
- 年齢階級別にみると、「そう思う」の回答割合は80歳以上が最も高く（50.5%）、次いで50歳代、70歳代の順に高い。
- 「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた回答割合は、50代以上では年代が高いほど高い傾向にあり、80代は約7割となっている。一方で、20代、30代はいずれも4割弱と他の年代と比べて低い。また、10代は8割が回答している。
- 「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた否定的な回答割合は、他の年代に比べて30歳代が最も高くなっている（25.0%）。
- 前回調査と比較すると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた肯定的な回答割合は、20歳代と30歳代でいずれも減少した。

図表 1-9 住みよい村か



図表 1-10 住みよい村か（年齢階級別）

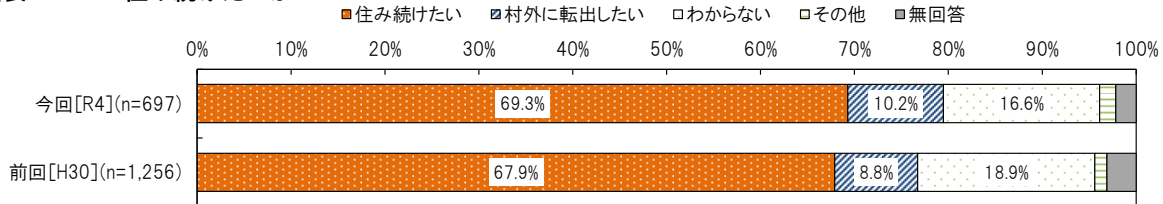


(注)「15歳～19歳」は、H30年調査では調査対象で無いため回答が無い

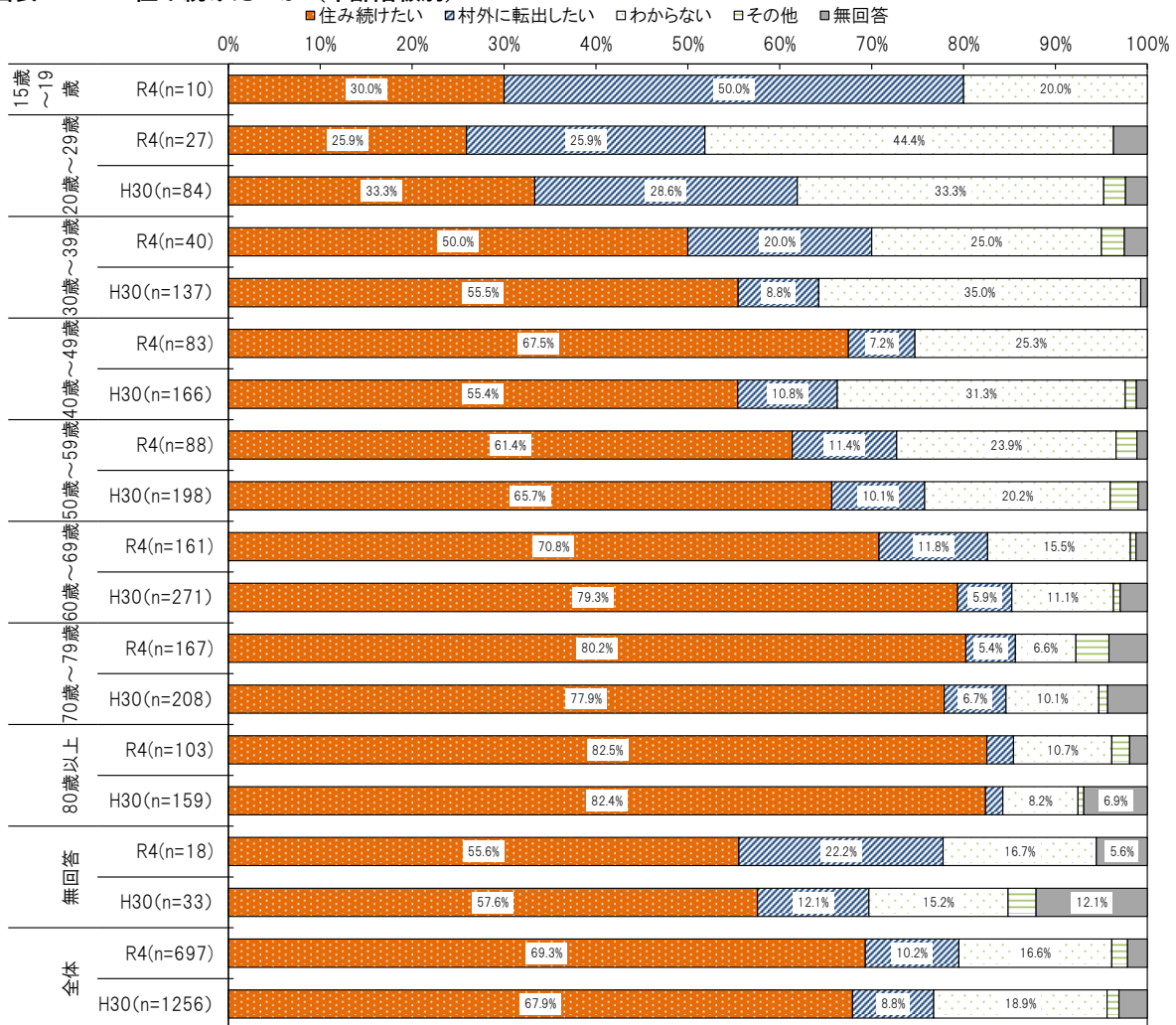
問3 今後も木島平村に住み続けたいと思いますか

- 全体としては、「住み続けたい」が69.3%と多く、「村外に転出したい」の10.2%を59.1ポイント上回っている。
- 年齢階級別にみると、「住み続けたい」と回答した割合は、全体として若い年代ほど低い傾向にある。70歳以上では8割程度と高い一方、20歳代は25.9%と低位となっている。
- 反対に、「村外に転出したい」回答割合は、概ね年齢層が下がるにつれて上昇する傾向にある。20代は25.9%と「住み続けたい」(25.9%)と同じ割合であり、10代では50.0%と「住み続けたい」(30.0%)を20ポイント上回る。
- また、今後の居留意向について「わからない」とする流動的な意向の回答割合は、概ね若い年齢層ほど高い傾向にあり、特に20歳代では4割強が回答している。

図表 1-11 住み続けたいか



図表 1-12 住み続けたいか (年齢階級別)



(注)「15歳～19歳」は、H30年調査では調査対象で無いため回答が無い

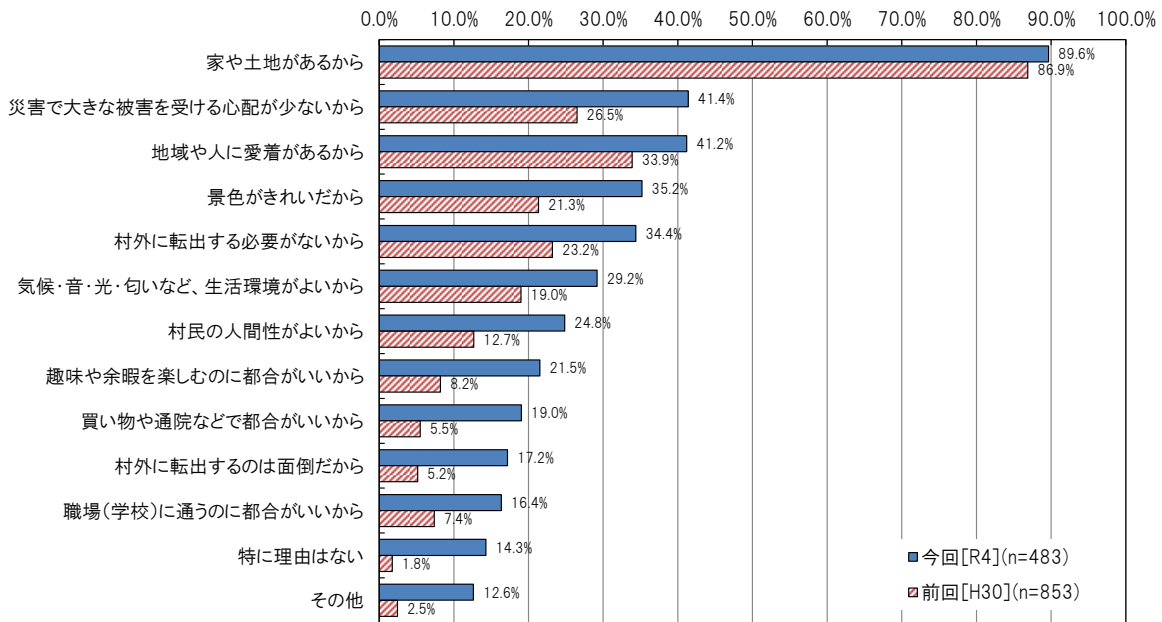
「その他」の主な意見

- ・ 工作上短期的に居住している。長く住んでもいいと思う。 / ・ 親族の都合でどうなるかわからない。
- ・ 冬期間の雪害（雪片付け・雪降ろし）無ければ。 / ・ 他に住む所がない。 など

(1) 問3で「住み続けたい」を選んだ方：住み続けたい理由

- 「住み続けたい」と考える人に、その理由を尋ねると、「家や土地があるから」が89.6%と突出して高い。これに次いで、「災害で大きな被害を受ける心配がないから」、「地域や人に愛着があるから」が続いている。
- 年齢階級別にみると、10歳代を除く年齢層では「家や土地があるから」の回答割合が高く、いずれも8割を超えている。
- また、「地域や人に愛着があるから」、「気候・音・光・匂いなど、生活環境がよいから」、「景色がきれいだから」の選択肢については、若い年齢層で高い傾向にあり、40歳代以下はいずれの年齢層も5割強が回答している。

図表 1-13 住み続けたい理由



図表 1-14 住み続けたい理由（年齢階級別）

	15歳~19歳 (n=3)	20歳~29歳 (n=7)	30歳~39歳 (n=20)	40歳~49歳 (n=56)	50歳~59歳 (n=54)	60歳~69歳 (n=114)	70歳~79歳 (n=134)	80歳以上 (n=85)	無回答 (n=10)	総計(n=483)
家や土地があるから	33.3%	85.7%	100.0%	94.6%	92.6%	93.0%	88.1%	81.2%	100.0%	89.6%
災害で大きな被害を受ける心配が少ないから	33.3%	28.6%	55.0%	48.2%	44.4%	37.7%	43.3%	34.1%	50.0%	41.4%
地域や人に愛着があるから	66.7%	57.1%	60.0%	58.9%	42.6%	34.2%	36.6%	42.4%	10.0%	41.2%
景色がきれいだから	66.7%	57.1%	60.0%	53.6%	38.9%	34.2%	27.6%	23.5%	50.0%	35.2%
村外に転出する必要がないから	33.3%	28.6%	55.0%	51.8%	31.5%	33.3%	31.3%	27.1%	30.0%	34.4%
気候・音・光・匂いなど、生活環境がよいから	66.7%	57.1%	55.0%	55.4%	38.9%	24.6%	20.9%	16.5%	20.0%	29.2%
村民の人間性がよいから	66.7%	57.1%	45.0%	44.6%	27.8%	16.7%	18.7%	21.2%	30.0%	24.8%
趣味や余暇を楽しむのに都合がいいから	33.3%	28.6%	55.0%	42.9%	25.9%	19.3%	14.9%	10.6%	10.0%	21.5%
買い物や通院などで都合がいいから	33.3%	28.6%	45.0%	39.3%	18.5%	19.3%	10.4%	14.1%	0.0%	19.0%
村外に転出するのは面倒だから	33.3%	14.3%	45.0%	42.9%	25.9%	14.9%	9.7%	3.5%	10.0%	17.2%
職場(学校)に通うのに都合がいいから	66.7%	28.6%	50.0%	50.0%	27.8%	14.0%	3.0%	2.4%	0.0%	16.4%
特に理由はない	33.3%	14.3%	45.0%	39.3%	18.5%	13.2%	4.5%	5.9%	0.0%	14.3%
その他	33.3%	14.3%	45.0%	39.3%	18.5%	9.6%	3.7%	2.4%	0.0%	12.6%

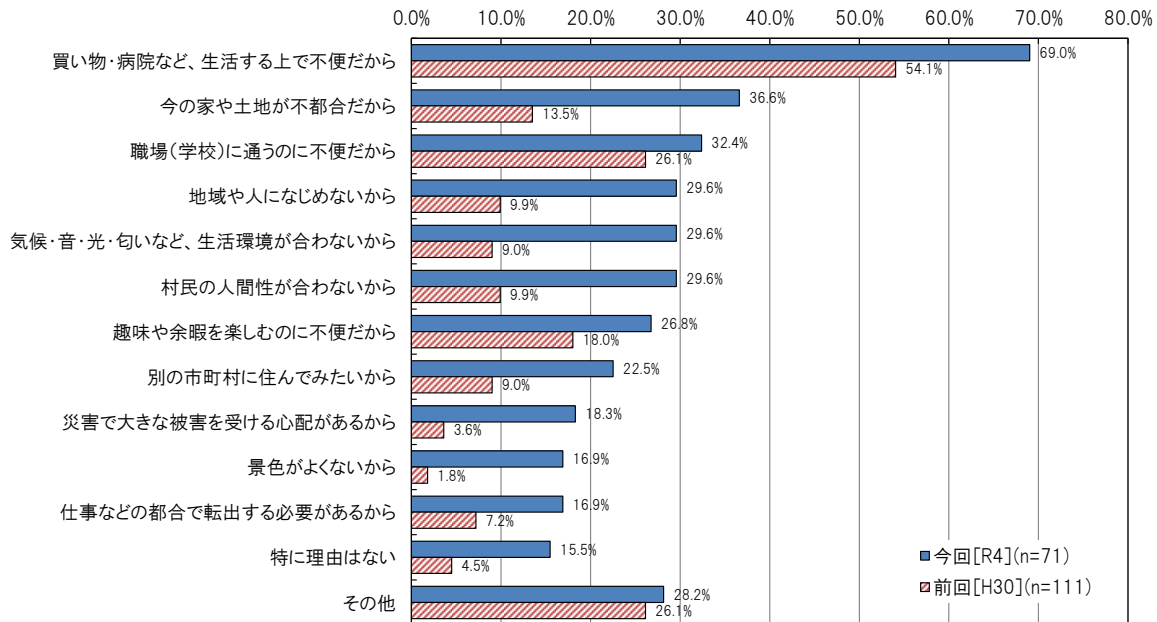
「その他」の主な意見

- ・ごちゃごちゃした街より田舎の方が好きだから。
- ・スキー場があるから。
- ・親の面倒を見るためUターンした。 など

(2) 問3で「村外に転出したい」を選んだ方：転出したい理由

- 「村外へ転出したい」と考える人に、その理由を尋ねると、「買い物・病院など、生活する上で不便だから」と回答する割合が69.0%と突出して高い。これに次いで、「今の家や土地が不都合だから」、「職場（学校）に通うのに不便だから」が高くなっている。
- 前回調査と比較すると、「買い物・病院など、生活する上で不便だから」は14.9ポイント上昇、「今の家や土地が不都合だから」は23.1ポイント上昇した。

図表 1-15 転出したい理由



図表 1-16 転出したい理由（年齢階級別）

	15歳～19歳 (n=5)	20歳～29歳 (n=7)	30歳～39歳 (n=8)	40歳～49歳 (n=6)	50歳～59歳 (n=10)	60歳～69歳 (n=19)	70歳～79歳 (n=9)	80歳以上 (n=3)	無回答(n=4)	総計(n=71)
買い物・病院など、生活する上で不便だから	40.0%	71.4%	62.5%	100.0%	90.0%	57.9%	77.8%	100.0%	25.0%	69.0%
今の家や土地が不都合だから	20.0%	14.3%	50.0%	66.7%	50.0%	36.8%	22.2%	66.7%	0.0%	36.6%
職場(学校)に通うのに不便だから	80.0%	28.6%	37.5%	50.0%	40.0%	21.1%	11.1%	33.3%	25.0%	32.4%
地域や人になじめないから	0.0%	28.6%	50.0%	50.0%	50.0%	26.3%	22.2%	0.0%	0.0%	29.6%
気候・音・光・匂いなど、生活環境が合わないから	0.0%	28.6%	37.5%	33.3%	40.0%	31.6%	22.2%	66.7%	0.0%	29.6%
村民の人間性が合わないから	0.0%	42.9%	50.0%	50.0%	50.0%	21.1%	22.2%	0.0%	0.0%	29.6%
趣味や余暇を楽しむのに不便だから	40.0%	57.1%	25.0%	33.3%	30.0%	15.8%	22.2%	0.0%	25.0%	26.8%
別の市町村に住んでみたいから	40.0%	42.9%	25.0%	33.3%	40.0%	10.5%	11.1%	0.0%	0.0%	22.5%
災害で大きな被害を受ける心配があるから	0.0%	28.6%	25.0%	33.3%	40.0%	10.5%	11.1%	0.0%	0.0%	18.3%
景色がよくないから	0.0%	28.6%	25.0%	33.3%	30.0%	10.5%	11.1%	0.0%	0.0%	16.9%
仕事などの都合で転出する必要があるから	0.0%	28.6%	25.0%	33.3%	30.0%	5.3%	11.1%	33.3%	0.0%	16.9%
特に理由はない	0.0%	14.3%	25.0%	33.3%	40.0%	5.3%	11.1%	0.0%	0.0%	15.5%
その他	0.0%	14.3%	25.0%	33.3%	50.0%	31.6%	33.3%	0.0%	25.0%	28.2%

「その他」の主な意見

- ・雪が多くて大変
- ・年を取って車の運転が出来なくなったときに不便。除雪が重労働。
- ・地区役が多い。おしつけられる。
- ・子供にさせたい習い事が近くにあるのかすら分からない。街灯が少ない。地区や行事の参加などについて共働きに優しくない。
- ・クマなどであるから。 など

問4 木島平村第6次総合振興計画に掲げた取組の「現状の満足度」と「将来における重要度」

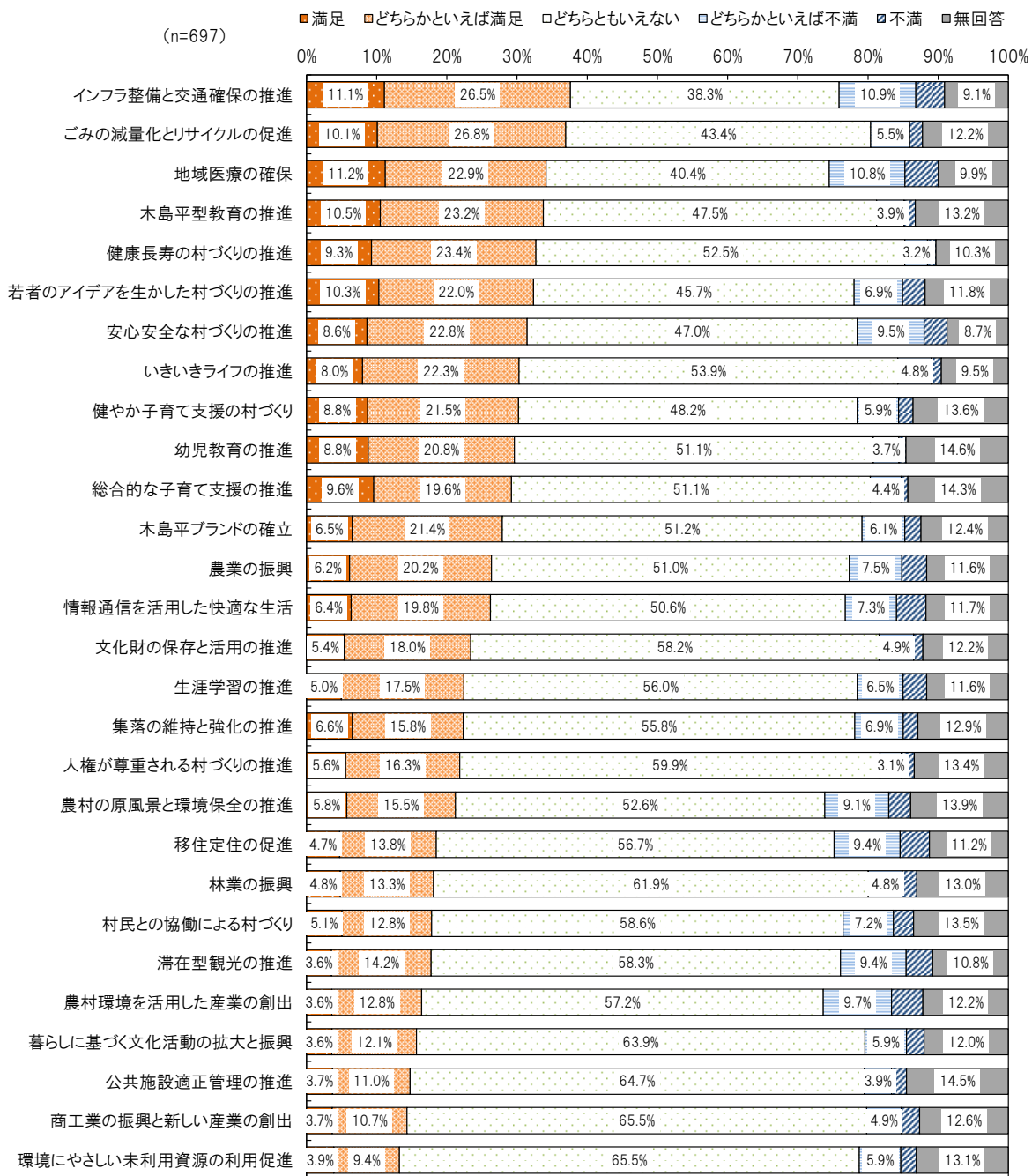
(1) 28の施策ごとの集計

ここでは、101の取組ごとに満足度・重要度を尋ねた結果を、28の施策に整理の上、集計を行った。

① 満足度の高い取組

- 「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた回答割合をみると、「インフラ整備と交通確保の推進」「ごみの減量化とリサイクルの促進」「地域医療の確保」の順に高い。
- 一方で、満足度が低い取組としては、「環境に優しい未利用資源の利用促進」「商工業の振興と新しい産業の創出」「公共施設適正管理の推進」などが挙げられている。

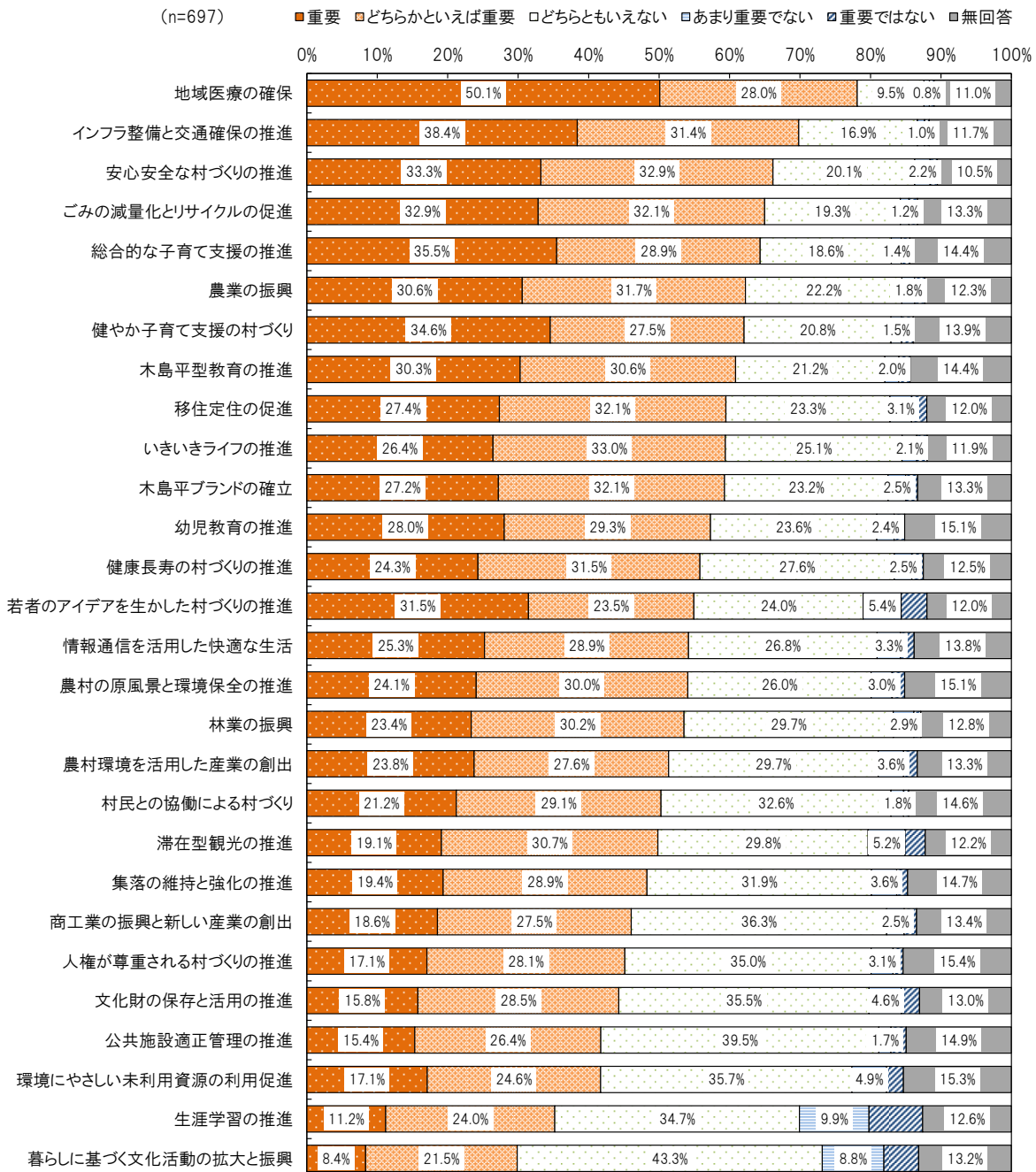
図表 1-17 現状の満足度について



② 重要度の高い取組

- 「重要」「どちらかといえば重要」を合わせた回答割合をみると、「地域医療の確保」「インフラ整備と交通確保の推進」「安心安全な村づくりの推進」「ごみの減量化とリサイクルの促進」「総合的な子育て支援の推進」「農業の振興」「健やか子育て支援の村づくり」「木島平型教育の推進」は、重要と考える回答割合が高く、いずれも6割以上が回答するなど、健康で安心安全に暮らせることや、子育てに関する取組、農業の振興が重要と考える割合が高いとみられる。
- 一方で、重要度の低い取組としては、「暮らしに基づく文化活動の拡大と振興」「生涯学習の推進」「環境にやさしい未利用資源の利用促進」などが挙げられた。

図表 1-18 将来における重要度



③ 今後の優先度が高い施策の分析

『現状の満足度』と『将来における重要度』の散布図を用いた分析について

● 散布図の作成方法

101 の取組ごとに以下のとおりポイントの重み付けを行い、この結果に基づき 28 の施策ごとに『現状の満足度』及び『将来における重要度』それぞれについて回答者の平均を算出し、散布図を作成しました。

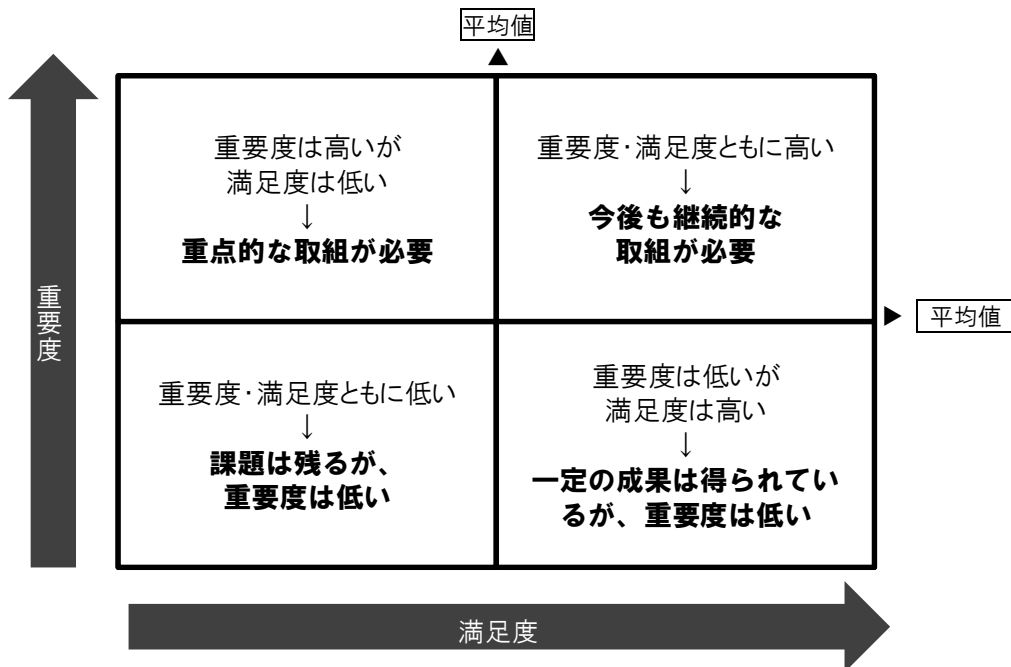
【現状の満足度】	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満
【将来における重要度】	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない
ポイント	2点	1点	0点	-1点	-2点

● 散布図の読み方

横方向【満足度】：木島平村の各施策に対する、住民の満足度を表わします。点数が高いほど、住民からの評価が高いことを表わします。

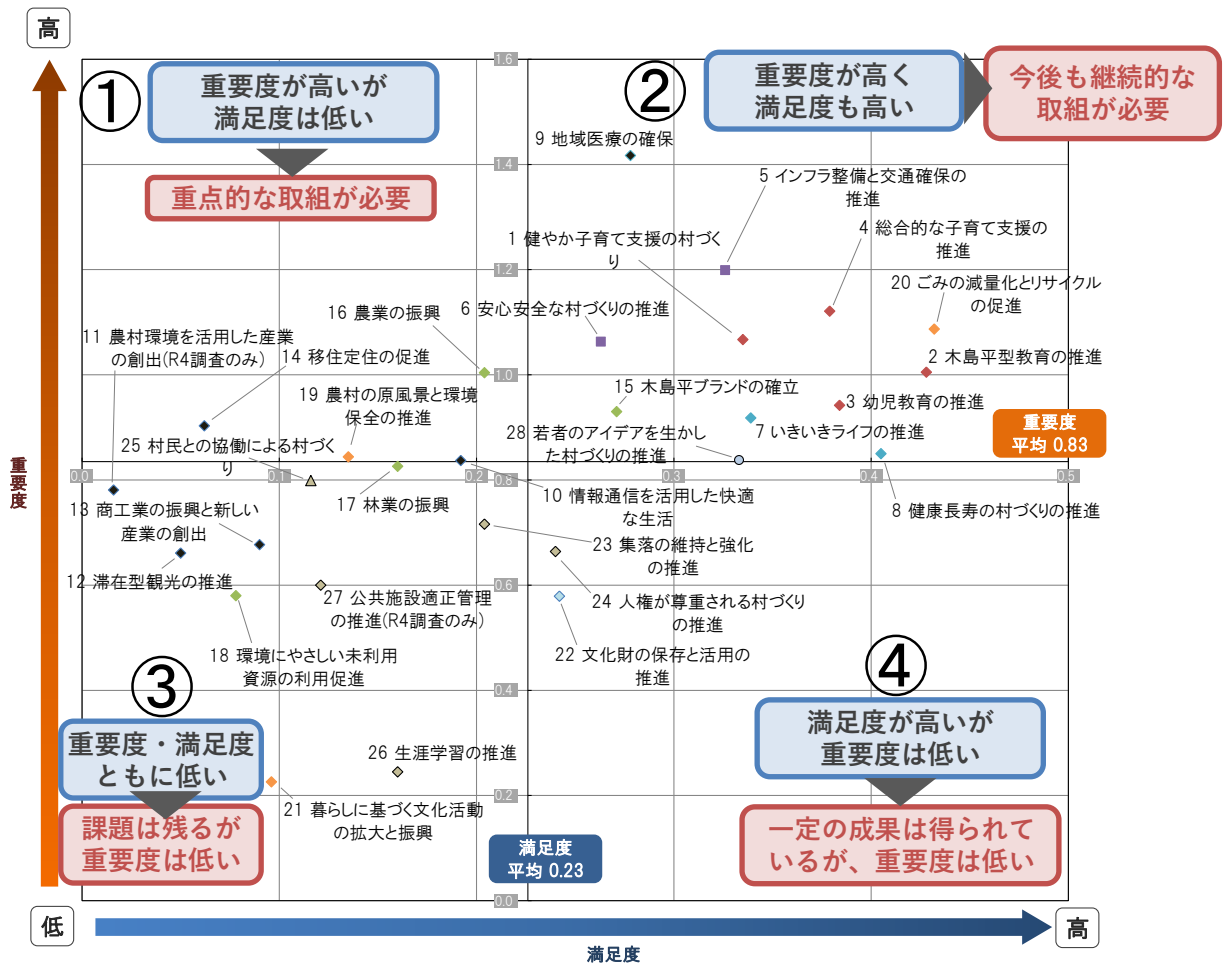
縦方向【重要度】：住民が考える各施策の重要度を表わします。点数が高いほど、住民からの必要度が高いことを表わします。

※『現状の満足度』及び『将来における重要度』それぞれの推進項目の平均値を、4象限を画する区切り線として示してあります。

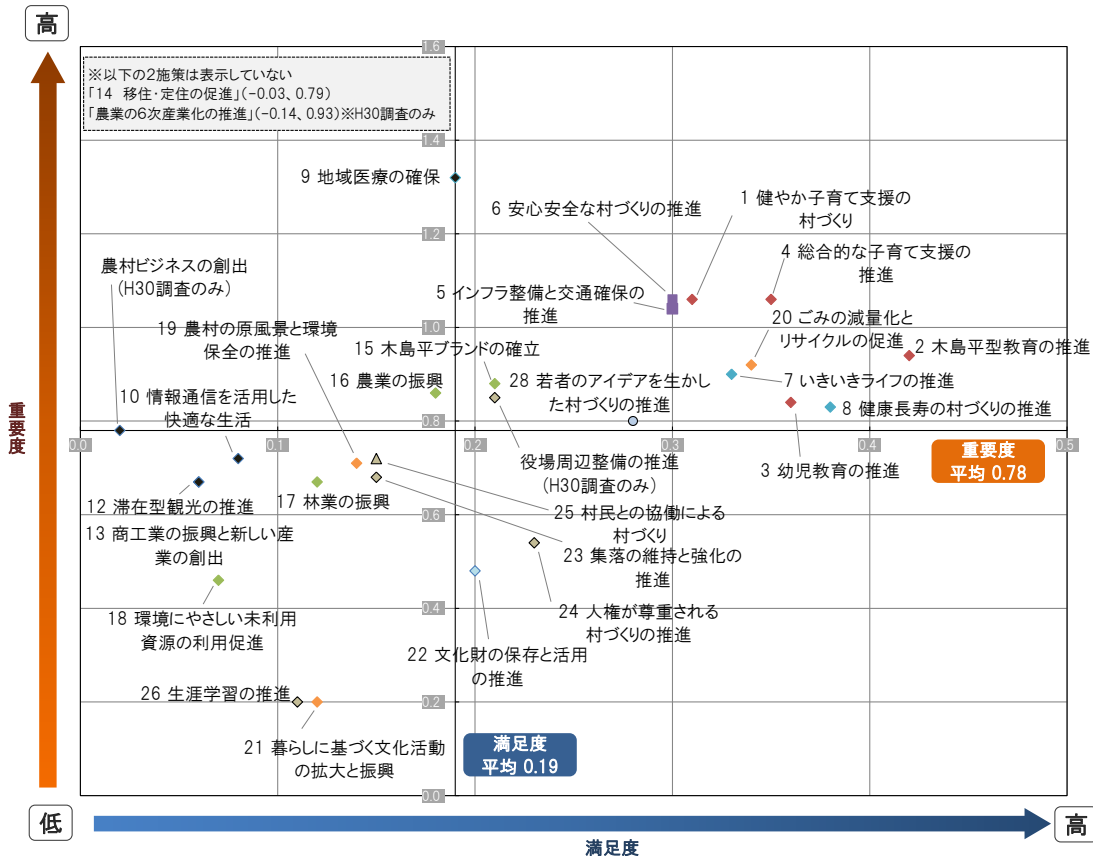


図表 1-19 28施策の「現状の満足度」と「将来における重要度」の散布図

※施策ごとに、満足度と重要度の点数をプロットしたもの。詳細は次ページ以降の表を参照。



【参考】 前回 (H30) 調査



(注) 施策番号は、比較が容易となるように令和4年調査と揃えている。

【4つのエリアごとの施策一覧（重要度が高い順）】

図表 1-20 4つのエリアごとの施策一覧（重要度が高い順）

エリア	分野名（10）	施策名（28）	満足度（R4）	重要度（R4）
① 重要度→高 満足度→低 ※重点的な取組が必要	V 農村の環境を生かした村づくり	施策16 農業の振興	0.20	1.00
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策14 移住定住の促進	0.06	0.90
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策19 農村の原風景と環境保全の推進	0.14	0.84
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策10 情報通信を活用した快適な生活	0.19	0.84
② 重要度→高 満足度→高 ※今後も継続的な取組が必要	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策9 地域医療の確保	0.28	1.42
	II 暮らしやすさが実感できる村づくり	施策5 インフラ整備と交通確保の推進	0.33	1.20
	I 子育てと教育の村づくり	施策4 総合的な子育て支援の推進	0.38	1.12
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策20 ごみの減量化とリサイクルの促進	0.43	1.09
	I 子育てと教育の村づくり	施策1 健やか子育て支援の村づくり	0.34	1.07
	II 暮らしやすさが実感できる村づくり	施策6 安心安全な村づくりの推進	0.26	1.06
	I 子育てと教育の村づくり	施策2 木島平型教育の推進	0.43	1.01
	I 子育てと教育の村づくり	施策3 幼児教育の推進	0.38	0.94
	V 農村の環境を生かした村づくり	施策15 木島平ブランドの確立	0.27	0.93
	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策7 いきいきライフの推進	0.34	0.92
	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策8 健康長寿の村づくりの推進	0.41	0.85
	X 若者のアイデアを生かした村づくり	施策28 若者のアイデアを生かした村づくりの推進	0.33	0.84
	③ 重要度→低 満足度→低 ※課題は残るが重要度は低い	V 農村の環境を生かした村づくり	施策17 林業の振興	0.16
VIII 活力いっぱいの集落・村づくり		施策25 村民との協働による村づくり	0.12	0.80
IV 農を基軸とした交流の村づくり		施策11 農村環境を活用した産業の創出	0.02	0.78
VIII 活力いっぱいの集落・村づくり		施策23 集落の維持と強化の推進	0.20	0.72
IV 農を基軸とした交流の村づくり		施策13 商工業の振興と新しい産業の創出	0.09	0.68
IV 農を基軸とした交流の村づくり		施策12 滞在型観光の推進	0.05	0.66
IX ふれあいと交流ができる村づくり		施策27 公共施設適正管理の推進	0.12	0.60
VI 人と地球にやさしい村づくり		施策18 環境にやさしい未利用資源の利用促進	0.08	0.58
IX ふれあいと交流ができる村づくり		施策26 生涯学習の推進	0.16	0.25
④重要度→低 満足度→高 ※一定の成果は得られているが、重要度は低い	VII 文化が薫るいきいきとした村づくり	施策21 暮らしに基づく文化活動の拡大と振興	0.10	0.23
	VIII 活力いっぱいの集落・村づくり	施策24 人権が尊重される村づくりの推進	0.24	0.66
	VII 文化が薫るいきいきとした村づくり	施策22 文化財の保存と活用の推進	0.24	0.58
		平均値→	0.23	0.83

【施策ごとの満足度と重要度（施策順）】

図表 1-21 施策ごとの満足度と重要度（施策順）

分野名（10）	施策名（28）	満足度 (R4)	重要度 (R4)
Ⅰ 子育てと教育の村づくり	施策1 健やか子育て支援の村づくり	0.34	1.07
	施策2 木島平型教育の推進	0.43	1.01
	施策3 幼児教育の推進	0.38	0.94
	施策4 総合的な子育て支援の推進	0.38	1.12
Ⅱ 暮らしやすさが実感できる村づくり	施策5 インフラ整備と交通確保の推進	0.33	1.20
	施策6 安心安全な村づくりの推進	0.26	1.06
Ⅲ 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策7 いきいきライフの推進	0.34	0.92
	施策8 健康長寿の村づくりの推進	0.41	0.85
	施策9 地域医療の確保	0.28	1.42
Ⅳ 農を基軸とした交流の村づくり	施策10 情報通信を活用した快適な生活	0.19	0.84
	施策11 農村環境を活用した産業の創出	0.02	0.78
	施策12 滞在型観光の推進	0.05	0.66
	施策13 商工業の振興と新しい産業の創出	0.09	0.68
	施策14 移住定住の促進	0.06	0.90
Ⅴ 農村の環境を生かした村づくり	施策15 木島平ブランドの確立	0.27	0.93
	施策16 農業の振興	0.20	1.00
	施策17 林業の振興	0.16	0.83
Ⅵ 人と地球にやさしい村づくり	施策18 環境にやさしい未利用資源の利用促進	0.08	0.58
	施策19 農村の原風景と環境保全の推進	0.14	0.84
	施策20 ごみの減量化とリサイクルの促進	0.43	1.09
Ⅶ 文化が薫るいきいきとした村づくり	施策21 暮らしに基づく文化活動の拡大と振興	0.10	0.23
	施策22 文化財の保存と活用の推進	0.24	0.58
Ⅷ 活力いっぱいの集落・村づくり	施策23 集落の維持と強化の推進	0.20	0.72
	施策24 人権が尊重される村づくりの推進	0.24	0.66
	施策25 村民との協働による村づくり	0.12	0.80
Ⅸ ふれあいと交流ができる村づくり	施策26 生涯学習の推進	0.16	0.25
	施策27 公共施設適正管理の推進	0.12	0.60
Ⅹ 若者のアイデアを生かした村づくり	施策28 若者のアイデアを生かした村づくりの推進	0.33	0.84

【今後必要な取組（自由記述）の主な回答（抜粋）】**I 子育てと教育の村づくり**

- ・木島平村らしさ（雪国、稲作や農業、かやの平をはじめとする自然環境）を存分に活かした教育をして、子供達には村への誇りを持って頂くことが重要だと考えます。
- ・徒歩 10 分以上は小学 4 年生までスクールバスを利用させてほしい。
- ・土、日、祝の預け先（幼児～小学生）の確保、放課後児童クラブ利用の発達障がい児への配慮（加配）。
- ・小中学校の授業内容に不満。教科書に沿った内容にして基礎学力を身につけて欲しい。子供の教育がしっかりとできる土地でないと人口増加はないと思う。定住はしない。小中学生を持つ親にアンケート調査をして欲しい。問題点がわかると思います。
- ・保・小・中による連携と研修を一層推進し、子育て世代の移住者を呼び込めるような発信・PR をしてほしい。（教育は投資）
- ・村内の方の結婚、出産などの支援も必要ですが、それよりも子育てしやすい環境や支援、空き家の有効活用などを充実させて、子育て世代が移住して来てもらう村になればいいと思います。
- ・乳児保育（3 歳未満）で第 2 子は半額、第 3 子は無料であるが、家庭で見ている世帯にも乳児子育て応援サポートとして給付金を出して欲しい（2 才位までは家での子育てが望ましいと思う）。

II 暮らしやすさが実感できる村づくり

- ・バスを高校生以上にも活用してもらいたい。移住・定住はまずは今くらしている人が安心して暮らすことを考えれば良いと思う。
- ・定期バスがないのでデマンドに期待したい。歩道の整備を進めてもらいたい。
- ・地区内の村道生活道路の拡幅、改良、整備等年予算付けし、年次計画で少しずつ実行しないと現状が永久にいけるとは思わない。除雪帯をもうけるぐらいの道路改良を望む。とにかく軽トラ同士がすれちがい出来ない場所がたくさんある。夜間、街灯が少ない為防犯が心配だ。村内、地区内が暗過ぎる。
- ・街灯が少なかったり、雪でカーブミラーの向きが変わってみにくかったり、雑草が道路にはみ出すぎて危険なところがよくある。観光客が来る所と通学路ぐらいは整備して欲しい。
- ・屋外スピーカーが遠いせいとか聞こえづらい
- ・高齢者世帯への多雪時の支援
- ・除雪インフラの持続可能かが非常に疑問。融雪設備の広域な導入による人的な負担を大幅に減らす体制の早期実現が必要。
- ・車からのポイ捨て、山中に不法投棄（冷蔵庫・クツ・古タイヤ等）が目につきます。きれいにしてほしいです。

III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり

- ・地域医療の確保は近隣の飯山、中野との連携が重要だと思う。
- ・村内で夜間開業している医療機関はあるのですか？
- ・病気、介護状態にならないよう、健康づくり、食育、運動及び趣味等生きがいになることを総合

的に組み合わせた取り組みが重要であり、今後そんな事業に期待しています。

- ・一人暮らしの高齢者が血縁に頼らずとも安心できる見守り体制の構築
- ・高齢者の活動（サロン等）に対する補助がもっと必要だと思います。
- ・自宅があっても高齢になったら利用できる介護付高齢者住宅があったらうれしいと思う。
- ・車にのれなくなったら買物、病院など心配で不安です。
- ・訪問介護体制を充実してほしい

IV 農を基軸とした交流の村づくり

- ・木島平村に興味を持たれた方々は、今の時代ですから、まずはご自身で、ネットを検索し、あれこれ調べているはず。なので、木島平村としては、村のホームページの内容をより一層充実するように頑張してほしいです。
- ・情報通信を活用した情報の提供も大切だと思うが、木島平村は高齢者の1人暮らしも多い。ICTなど活用できない人も多いので、飯山市のように、i ネットに加入していなくても各家に防災無線の設置があり、防災関係の情報が得られるようにするのも必要と考える。
- ・情報通信については民間に任せて良いのでは。産業振興や観光振興、道の駅なども、民間でできる部分は任せるなど、活力ある民間の活用を検討すべき。空き家は今度ますます深刻になると思うので、空き家になる前の対策が必要との村民への周知を積極的に行ってはどうか。
- ・空き物件に対する地域住民の理解度を高め、自分事化して危険家屋化させないための取り組みも重要では。新規就農者が無農薬、無化学物質で耕作する方法を学んだり、実際に営農できたりするための支援策、意識啓発、そうして作られた作物を給食に使える仕組みづくり、一地域を村外の人に魅力的にみせるパフォーマンスとそれによって住民も誇りをもてるような、地域の環境を守る取り組みと位置づける時流に乗るべき。
- ・アパート、マンションが少ない。土地分譲や1軒家（新築）の購入条件がきびしい。
- ・家族向けの若者住宅は充実していてとても良いと思います。ぜひ単身向けの若者住宅（賃貸）も検討していただきたいです。独身の友人が長野県に移住してくる際に、木島平への移住を考えていましたが、良い物件が見つからず、飯山市のアパートに住むことになりました。独身者をターゲットにした移住政策は、地元の若者との出会いにもプラスに働くとと思います。
- ・移住者への就業支援も必要

V 農村の環境を生かした村づくり

- ・ブランディングが大変弱い。道の駅の利用方法にも当初からするとかなりブレがある。農を前面に打ち出すなら、徹底的にやるべき。田舎臭くて良い。中途半端すぎる。
- ・ファームにある、木材チップ利用はとてもいい政策だと思います
- ・小さい時のお手伝い農業の担い手、若い人達が進んで出来る野菜作など子供達と一緒に自分達の作った食物の喜びを感じてほしい
- ・農地の維持ができなくなる家がふえるため大規模な農業法人により農地を活用できる政策を考えてほしい。（集約化）
- ・あちこち放棄地が増え末が心配です
- ・農地の耕作放棄地の一括した管理が必要
- ・山林の整備、育林、活用法の講習会の開催、林産物の販路拡大

VI 人と地球にやさしい村づくり

- ・水力やペレットなど自然エネルギーへの取り組みを積極的に行ってほしいです
- ・水、風、光などをもっとエネルギーとして活用すべき。空き家の管理指導事例を広報に出した方が良い。
- ・水が豊富にある事や冬場に雪が降ること考えると、ソーラーよりも水力発電の方が村には合っている気がします。あと、ゴミの仕分けが分かりづらいと個人的には思います。
- ・メガソーラーのような耕作放棄地を利用したものの建設は、景観上好ましくないので作らせるべきではない。
- ・ゼロカーボンに関係するが稲刈り後の野焼きの煙をなくしてほしい。他県ではできている。
- ・外来植物の駆除についてはだんだん意識がうすらいでいる様な気がします。
- ・資源回収が1年に1回あることをもう少し広めたほうが良いと思います。
もう少し集められるような気がしました
- ・村を歩くと路上ゴミの多さに驚くほど。タバコのポイ捨てが特に…。ゴミに対する正しい知識が必要と感じる。南部・中部・北部などエリア分けをしてのゴミ拾い会をやる、とか、子供を巻き込んで学習する機会をつくってみては…。

VII 文化が薫るいきいきとした村づくり

- ・郷の家、ふるさと資料館、せっかくの宝を生かしていないのもったいないです。PR不足です。語り部は方言で、子どもたちに語らせるのはいかがでしょう。何もしなければ方言がいつか絶えてしまいます。一集落、一物語りの活動はどうなってしまったのでしょうか。
- ・小学生も中学生ももっと郷の家を利用したらいいと思う。例えば国語の授業で「ごんぎつね」など、昔の家の様子を今の子は想像できるのか。郷の家で語り部の方に話をきかせてあげたい。語り部の文化、日本の住居の良さ、いろいろな側面からもっと活用してほしい。郷土食は家庭科の授業でできないかなあと思ったりします。給食は農家のやさいでありがたい。
- ・文化と伝統に、産業化と収益性を結びつけたアイデアで取り組みがなされなければ、継続が出来ない。他県の人、他地域の人が、参加して、お金を使いながら皆が楽しめる工夫が足りない。
- ・芸術分野が主に高齢者のものになっていたり文化施設が特定の一部の人たちだけが関わる限定的なものになっているので、地域に向けた情報発信（文化財や芸術活動に関する）。40代以下で村の郷土料理を知らない人も少なからずいる。講習会だけでなく、伝承できる人材育成も必要では。
- ・地区ごとの行事は、今後検討が必要と考えています。無理に維持を図ると、若者の負担が増え、生活がしづらいこともあり、また小学校等で考えると、地区ごとでするよりは複数地区で共同でした方が子どもにとっても良いのではないかと思うことがあります。他方で、地区にこだわる方も多いので難しい問題ですが、少なくとも議論をしていく必要があります。
- ・いきいきした村づくりのための後継者、人材育成のあり方が大切だと思う
- ・私が思いつくこととしては、記録映像を沢山残しておいてほしいです。現代的に言いますと、とにかくデータを沢山残しておいてほしいです。将来役立つ場面がきっとあると思います。

VIII 活力いっぱいの集落・村づくり

- ・分館の改修が地区によっては進んでいます。今後は未来の地区のあり方を検討し、統廃合をした

上で分館の改修（新築）を考えるべきではないか。

- ・分館改修の支援を頂いても小さな地区では改修は無理です。
- ・村民が少なくなる中、分館のありようを考える必要があると思います。
- ・働き方も家庭環境も様々な現在、地区ごとに不合理な慣習を継続することにはデメリットしかありません。また協力者と非協力者で受益が変わらないことにも問題があります。例えば地区全体でしなければならないことは、費用のみ負担する者と実際に参加する者があって良いでしょうし、一律参加か非協力かの二択をさせるような状況は、移住者等には理解を得られないと考えています。地区をどの範囲で設定するか（併合区ないし協力区といった考え方もあります）、行事に対してどのような参加方法を設定できるか検討してほしいです。
- ・価値観の多様性について考えたり理解を深めたりする機会（学習会、ふう太ネットの番組、広報、等議会…など）の創出による移住者や今後増える外国人の受入を柔軟にする体制づくり。
- ・高齢者にダイバーシティやハラスメントについて教えることで人材が守られる
- ・相談事業には気軽に立ち寄れる場を充実してほしい。カウンセラーも置いてほしい。
- ・村民が自由に集落、村づくりについて話し合える場づくり

IX ふれあいと交流ができる村づくり

- ・コロナ禍で以前のような行事や活動が制限されるなか、感染防止対策を工夫してコロナ禍以前のような交流ができることを願っています。
- ・地区単位での参加形式は伝統であり尊重しますが、村全体でのふれあいにはなりません。地区の中での集まりになるので、より広域的な視点でできる方法もあっても良いと思います。
- ・村民だけでなく、他県、他地域の人との、観光産業や産業を通じたふれあい、交流、活性化の案を練らなければいけない。

X 若者のアイデアを生かした村づくり

- ・学生のやわらかい頭とパワーを村はもっと生かして下さい。そのためにはわせだいらのような村のファンを作ること、交流を深めることだと思います。
- ・村の人口減少を考えれば、若者の意見を取り入れ、若者が住みやすく、移住しやすさが必要に思います。
- ・大学生の意見は現状に反映できるのですか。若者の視点でのという提言は今まで実っているのですか。効果を考えた見直しをお願いします。
- ・村に住むおおむね 20 代以下や村外に住む若者世代が、木島平村に寄せる想いを共有し村に提言する会（普段若い世代の意見が反映される機会が乏しくまた逆に若い世代が村の課題や地域活動（消防団含む）の重要さを知らないため）
- ・農林高校は是非存続してほしい
- ・道の駅ファームスでの農林生の取り組みとてもいい（木の遊具、花壇、木のアートなど）ファームスが活気づいた。今後も農林高校と連携してファームスを盛りあげて欲しい。農林高校の加工品（ケチャップなど）やそばなども常時販売されるといい。卒業後の雇用の場になったらいい。
- ・農林高校の存続の件ですが、単に中学からの進路としてだけでなく一般の人の学びなおし（資格取得など）の場としてやっていけないでしょうか？

(2) 101 の取組ごとの集計

ここでは、101 の取組ごとに満足度・重要度を尋ねた結果について、集計・分析を行った。

『現状の満足度』と『将来における重要度』の散布図を用いた分析について

● 散布図の作成方法

101 の取組ごとに以下のとおりポイントの重み付けを行い、『現状の満足度』及び『将来における重要度』それぞれについて回答者の平均を算出し、散布図を作成しました。

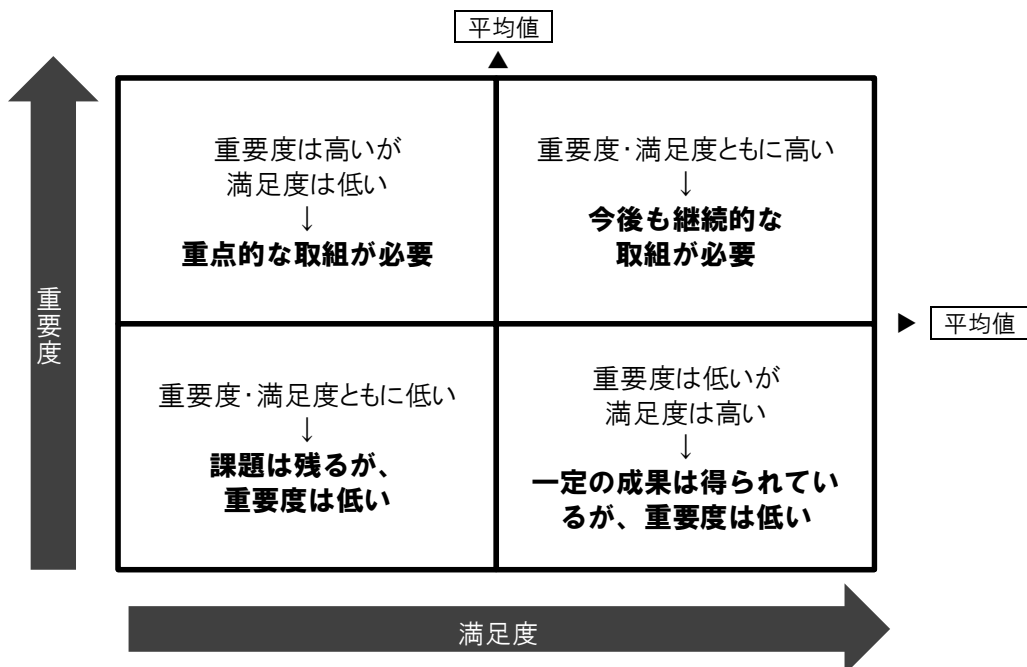
【現状の満足度】	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満
【将来における重要度】	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない
ポイント	2点	1点	0点	-1点	-2点

● 散布図の読み方

横方向【満足度】：木島平村の各施策に対する、住民の満足度を表わします。点数が高いほど、住民からの評価が高いことを表わします。

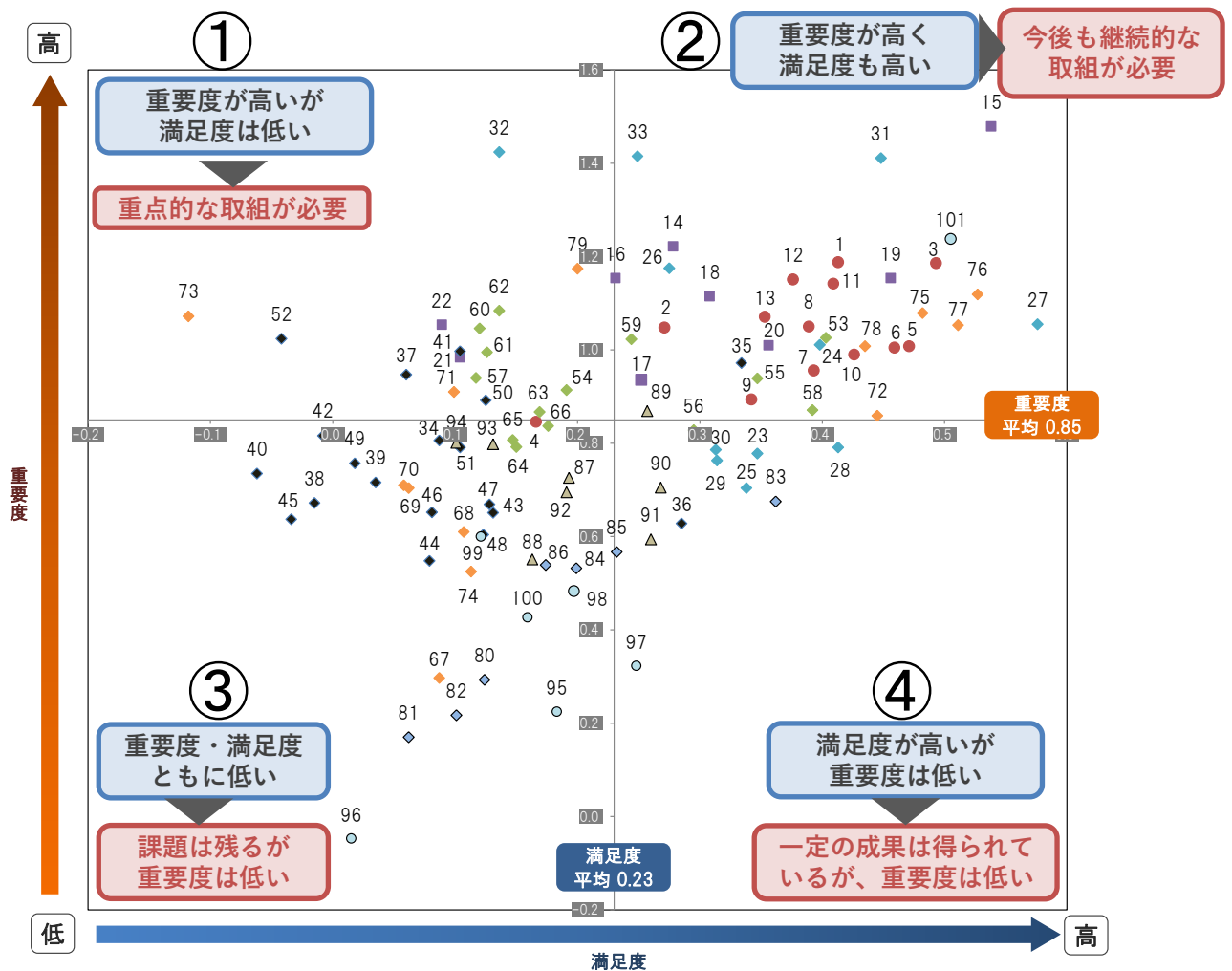
縦方向【重要度】：住民が考える各施策の重要度を表わします。点数が高いほど、住民からの必要度が高いことを表わします。

※『現状の満足度』及び『将来における重要度』それぞれの推進項目の平均値を、4象限を画する区切り線として示してあります。



① 今後の優先度が高い施策の分析【全政策分野】

図表 1-22 101の取組の「現状の満足度」と「将来における重要度」の散布図



※各プロットに付された番号の取組内容については、次ページ以降の表を参照（番号は最右列）。

【4つのエリアごとの取組一覧（重要度が高い順）】

図表 1-23 4つのエリアごとの取組一覧（重要度が高い順）

エリア	分野 (10)	施策 (28)	取組 (101)	満足度 (R4)	重要度 (R4)	No.
① 重要度一高 満足度一低 ※重点的な 取組が必要	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策9 地域医療の確保	2. 救急・休日夜間医療体制の確保	0.14	1.42	32
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策20 ごみの減量化とリサイクルの促進	5. 不法投棄防止活動	0.20	1.17	79
	V 農村の環境を生かした村づくり	施策16 農業の振興	5. 有害鳥獣対策	0.14	1.08	62
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策19 農村の原風景と環境保全の推進	2. 空き家等の管理の指導	-0.12	1.07	73
	II 暮らしやすさが実感できる村づくり	施策6 安心安全な村づくりの推進	5. 克雪住宅の普及推進	0.09	1.05	22
	V 農村の環境を生かした村づくり	施策16 農業の振興	3. 耕作放棄地の解消	0.12	1.05	60
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策14 移住定住の促進	2. 空き家等の利活用	-0.04	1.02	52
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策11 農村環境を活用した産業の創出	4. 若手農業者との連携	0.10	1.00	41
	V 農村の環境を生かした村づくり	施策16 農業の振興	4. 農業用施設の改修	0.13	1.00	61
	II 暮らしやすさが実感できる村づくり	施策6 安心安全な村づくりの推進	4. 防犯体制の整備	0.10	0.98	21
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策10 情報通信を活用した快適な生活	4. インターネット環境の整備	0.06	0.95	37
	V 農村の環境を生かした村づくり	施策15 木島平ブランドの確立	5. 外部への積極的な販売支援	0.12	0.94	57
	V 農村の環境を生かした村づくり	施策15 木島平ブランドの確立	2. 振興作物の普及	0.19	0.91	54
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策19 農村の原風景と環境保全の推進	1-1. 環境の保全と景観形成	0.10	0.91	71
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策14 移住定住の促進	1-1. 移住定住の推進	0.13	0.89	50
V 農村の環境を生かした村づくり	施策17 林業の振興	1. 林業従事者との連携	0.17	0.87	63	
② 重要度一高 満足度一高 ※今後も継続的な取組 が必要	II 暮らしやすさが実感できる村づくり	施策5 インフラ整備と交通確保の推進	1-2. 交通確保の推進	0.54	1.48	15
	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策9 地域医療の確保	3. 医療との連携	0.25	1.42	33
	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策9 地域医療の確保	1. 地域医療の確保	0.45	1.41	31
	X 若者のアイデアを生かした村づくり	施策28 若者のアイデアを生かした村づくりの推進	2. 下高井農林高校の存続	0.51	1.24	101
	II 暮らしやすさが実感できる村づくり	施策5 インフラ整備と交通確保の推進	1-1. 道路整備と交通確保の推進	0.28	1.22	14
	I 子育てと教育の村づくり	施策1 健やか子育て支援の村づくり	1. 子育て支援の充実	0.41	1.19	1
	I 子育てと教育の村づくり	施策1 健やか子育て支援の村づくり	3. 母子の健全育成	0.49	1.19	3
	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策7 いきいきライフの推進	4. 地域で安心して暮らせる環境づくり	0.28	1.18	26
	II 暮らしやすさが実感できる村づくり	施策5 インフラ整備と交通確保の推進	2. デマンド交通制度の改善	0.23	1.15	16
	II 暮らしやすさが実感できる村づくり	施策6 安心安全な村づくりの推進	2. 防火水槽や消火栓等の計画的整備・更新	0.46	1.15	19
	I 子育てと教育の村づくり	施策4 総合的な子育て支援の推進	2. 発達支援体制の充実	0.38	1.15	12
	I 子育てと教育の村づくり	施策4 総合的な子育て支援の推進	1. 安心できる子育て環境づくり	0.41	1.14	11
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策20 ごみの減量化とリサイクルの促進	2. 資源化の促進	0.53	1.12	76
	II 暮らしやすさが実感できる村づくり	施策6 安心安全な村づくりの推進	1. 災害情報の伝達経路整備	0.31	1.12	18
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策20 ごみの減量化とリサイクルの促進	1. ごみの削減の推進	0.48	1.08	75
	I 子育てと教育の村づくり	施策4 総合的な子育て支援の推進	3. 子育て世代包括支援センターの創設	0.35	1.07	13
	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策8 健康長寿の村づくりの推進	1. 健康づくりの意識啓発	0.58	1.06	27
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策20 ごみの減量化とリサイクルの促進	3. ごみ辞典の更新	0.51	1.05	77
	I 子育てと教育の村づくり	施策2 木島平型教育の推進	4. きめ細やかな指導	0.39	1.05	8
	I 子育てと教育の村づくり	施策1 健やか子育て支援の村づくり	2. 相談体制の充実	0.27	1.05	2
	V 農村の環境を生かした村づくり	施策15 木島平ブランドの確立	1. 高品質な農産物の生産	0.40	1.03	53
	V 農村の環境を生かした村づくり	施策16 農業の振興	2. 農業の担い手確保	0.24	1.02	59
	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策7 いきいきライフの推進	2. 介護予防の推進	0.40	1.01	24
	II 暮らしやすさが実感できる村づくり	施策6 安心安全な村づくりの推進	3. 各地区内での防災組織の整備	0.36	1.01	20
	I 子育てと教育の村づくり	施策2 木島平型教育の推進	1. 木島平型教育の充実	0.47	1.01	5
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策20 ごみの減量化とリサイクルの促進	4. ごみステーションの建設補助	0.44	1.01	78
	I 子育てと教育の村づくり	施策2 木島平型教育の推進	2. 協同的な学びの展開	0.46	1.01	6
	I 子育てと教育の村づくり	施策3 幼児教育の推進	2. 地域資源を活用した幼児教育	0.43	0.99	10
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策10 情報通信を活用した快適な生活	2. 防災担当との連動	0.33	0.97	35
	I 子育てと教育の村づくり	施策2 木島平型教育の推進	3. コミュニティ・スクールの展開	0.39	0.96	7
	V 農村の環境を生かした村づくり	施策15 木島平ブランドの確立	3. 効果的なPR活動の推進	0.35	0.94	55
	II 暮らしやすさが実感できる村づくり	施策5 インフラ整備と交通確保の推進	3. 公共施設の管理	0.25	0.94	17
	I 子育てと教育の村づくり	施策3 幼児教育の推進	1. 幼児教育の推進	0.34	0.89	9
V 農村の環境を生かした村づくり	施策16 農業の振興	1. 有機の里づくりの推進	0.39	0.87	58	
VIII 活力いっぱいの集落・村づくり	施策23 集落の維持と強化の推進	3. 分館の改修	0.26	0.87	89	
VI 人と地球にやさしい村づくり	施策19 農村の原風景と環境保全の推進	1-2. 環境の保全と景観形成	0.45	0.86	72	

↓次ページに続く

問4 木島平村第6次総合振興計画に掲げた取組の「現状の満足度」と「将来における重要度」

エリア	分野 (10)	施策 (28)	取組 (101)	満足度 (R4)	重要度 (R4)	No.
③ 重要度一低 満足度一低 ※課題は残 るが重要度 は低い	I 子育てと教育の村づくり	施策1 健やか子育て支援の村づくり	4. 婚活支援	0.17	0.85	4
	V 農村の環境を生かした村づくり	施策17 林業の振興	4. 森の再生事業	0.18	0.84	66
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策12 滞在型観光の推進	1. 観光資源及び施設の充実	-0.01	0.82	42
	V 農村の環境を生かした村づくり	施策17 林業の振興	3. 県産材の有効活用	0.15	0.81	65
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策10 情報通信を活用した快適な生活	1. ICTの活用	0.09	0.81	34
	VIII 活力いっぱいの集落・村づくり	施策25 村民との協働による村づくり	2. 男女共同参画の推進	0.10	0.80	94
	VIII 活力いっぱいの集落・村づくり	施策25 村民との協働による村づくり	1. 村民と行政の協働による村づくりの推進	0.13	0.80	93
	V 農村の環境を生かした村づくり	施策17 林業の振興	2. 森林教育の推進	0.15	0.79	64
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策14 移住定住の促進	1-2. 移住定住の推進	0.10	0.79	51
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策13 商工業の振興と新しい産業の創出	3. 新産業の創出支援	0.02	0.76	49
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策11 農村環境を活用した産業の創出	3. 観光部門との連携	-0.06	0.74	40
	VIII 活力いっぱいの集落・村づくり	施策23 集落の維持と強化の推進	1. 集落の活性化	0.19	0.73	87
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策11 農村環境を活用した産業の創出	2. 都市住民との連携による産業創出	0.04	0.72	39
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策18 環境にやさしい未利用資源の利用促進	4. ゼロカーボンの推進	0.06	0.71	70
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策18 環境にやさしい未利用資源の利用促進	3. 未利用資源の活用	0.06	0.70	69
	VIII 活力いっぱいの集落・村づくり	施策24 人権が尊重される村づくりの推進	3. 相談窓口の充実	0.19	0.70	92
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策11 農村環境を活用した産業の創出	1. 6次産業化の推進	-0.02	0.67	38
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策13 商工業の振興と新しい産業の創出	1. 中小企業支援	0.13	0.67	47
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策12 滞在型観光の推進	5. 観光案内マップの更新	0.08	0.65	46
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策12 滞在型観光の推進	2. スポーツ環境及び施設の充実	0.13	0.65	43
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策12 滞在型観光の推進	4. 効果的なPR活動の推進	-0.03	0.64	45
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策18 環境にやさしい未利用資源の利用促進	2. 小水力発電の推進	0.11	0.61	68
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策13 商工業の振興と新しい産業の創出	2. 商工会との連携強化	0.12	0.60	48
	IX ふれあいと交流ができる村づくり	施策27 公共施設適正管理の推進	公共施設等総合管理計画の推進	0.12	0.60	99
	VIII 活力いっぱいの集落・村づくり	施策23 集落の維持と強化の推進	2. 協働の村づくり	0.16	0.55	88
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策12 滞在型観光の推進	3. 農業農村体験等の充実	0.08	0.55	44
	VII 文化が薫るいきいきとした村づくり	施策22 文化財の保存と活用の推進	4. 郷土食、郷土料理の伝承	0.17	0.54	86
	VII 文化が薫るいきいきとした村づくり	施策22 文化財の保存と活用の推進	2. ふるさと資料館の活用	0.20	0.53	84
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策19 農村の原風景と環境保全の推進	3. 農村景観に配慮した住宅建築推進	0.11	0.53	74
	IX ふれあいと交流ができる村づくり	施策26 生涯学習の推進	4. 地域課題解決のための講座等の開催	0.20	0.48	98
	X 若者のアイデアを生かした村づくり	施策28 若者のアイデアを生かした村づくりの推進	1. 大学との連携による村づくり	0.16	0.43	100
	VI 人と地球にやさしい村づくり	施策18 環境にやさしい未利用資源の利用促進	1. 木質ペレットストーブ等の家庭への普及	0.09	0.30	67
	VII 文化が薫るいきいきとした村づくり	施策21 暮らしに基づく文化活動の拡大と振興	1. 芸術文化協会の活性化	0.12	0.29	80
IX ふれあいと交流ができる村づくり	施策26 生涯学習の推進	1. 村民スポーツフェスティバルの開催	0.18	0.23	95	
VII 文化が薫るいきいきとした村づくり	施策21 暮らしに基づく文化活動の拡大と振興	3. 「中町展示館」の振興	0.10	0.22	82	
VII 文化が薫るいきいきとした村づくり	施策21 暮らしに基づく文化活動の拡大と振興	2. 「郷の家」の振興	0.06	0.17	81	
IX ふれあいと交流ができる村づくり	施策26 生涯学習の推進	2. 村民運動会の開催	0.02	-0.05	96	
④ 重要度一低 満足度一高 ※一定の成 果は得られ ているが、 重要度は低 い	V 農村の環境を生かした村づくり	施策15 木島平ブランドの確立	4. 姉妹都市・交流都市等への展開	0.30	0.83	56
	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策8 健康長寿の村づくりの推進	2. 健康づくりの支援	0.41	0.79	28
	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策8 健康長寿の村づくりの推進	4. 食育の推進	0.31	0.79	30
	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策7 いきいきライフの推進	1. 高齢者の生きがいがづくり	0.35	0.78	23
	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策8 健康長寿の村づくりの推進	3. 生活習慣の改善	0.31	0.76	29
	VIII 活力いっぱいの集落・村づくり	施策24 人権が尊重される村づくりの推進	1. 人権擁護に関する総合計画との連動	0.27	0.71	90
	III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策7 いきいきライフの推進	3. 地域活動への支援	0.34	0.70	25
	VII 文化が薫るいきいきとした村づくり	施策22 文化財の保存と活用の推進	1. 文化財の保護と啓発	0.36	0.68	83
	IV 農を基軸とした交流の村づくり	施策10 情報通信を活用した快適な生活	3. 情報発信の充実	0.29	0.63	36
	VIII 活力いっぱいの集落・村づくり	施策24 人権が尊重される村づくりの推進	2. 人権センター事業の実施	0.26	0.59	91
VII 文化が薫るいきいきとした村づくり	施策22 文化財の保存と活用の推進	3. 各地区伝統文化の継承	0.23	0.57	85	
IX ふれあいと交流ができる村づくり	施策26 生涯学習の推進	3. 村民祭の開催	0.25	0.32	97	
平均値→				0.23	0.85	

【取組ごとの満足度と重要度（施策順）】

図表 1-24 取組ごとの満足度と重要度（施策順）

分野 (10)	施策 (28)	取組 (101)	満足度 (R4)	重要度 (R4)	No.
Ⅰ 子育てと教育の村づくり	施策1 健やか子育て支援の村づくり	1. 子育て支援の充実	0.41	1.19	1
		2. 相談体制の充実	0.27	1.05	2
		3. 母子の健全育成	0.49	1.19	3
		4. 婚活支援	0.17	0.85	4
	施策2 木島平型教育の推進	1. 木島平型教育の充実	0.47	1.01	5
		2. 協同的な学びの展開	0.46	1.01	6
		3. コミュニティ・スクールの展開	0.39	0.96	7
		4. きめ細やかな指導	0.39	1.05	8
	施策3 幼児教育の推進	1. 幼児教育の推進	0.34	0.89	9
		2. 地域資源を活用した幼児教育	0.43	0.99	10
	施策4 総合的な子育て支援の推進	1. 安心できる子育て環境づくり	0.41	1.14	11
		2. 発達支援体制の充実	0.38	1.15	12
		3. 子育て世代包括支援センターの創設	0.35	1.07	13
Ⅱ 暮らしやすさが実感できる村づくり	施策5 インフラ整備と交通確保の推進	1-1. 道路整備と交通確保の推進	0.28	1.22	14
		1-2. 交通確保の推進	0.54	1.48	15
		2. デマンド交通制度の改善	0.23	1.15	16
		3. 公共施設の管理	0.25	0.94	17
	施策6 安心安全な村づくりの推進	1. 災害情報の伝達経路整備	0.31	1.12	18
		2. 防火水槽や消火栓等の計画的整備・更新	0.46	1.15	19
		3. 各地区内での防災組織の整備	0.36	1.01	20
		4. 防犯体制の整備	0.10	0.98	21
		5. 克雪住宅の普及推進	0.09	1.05	22
		3. 地域活動への支援	0.34	0.70	25
Ⅲ 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策7 いきいきライフの推進	1. 高齢者の生きがいづくり	0.35	0.78	23
		2. 介護予防の推進	0.40	1.01	24
		4. 地域で安心して暮らせる環境づくり	0.28	1.18	26
		1. 健康づくりの意識啓発	0.58	1.06	27
	施策8 健康長寿の村づくりの推進	2. 健康づくりの支援	0.41	0.79	28
		3. 生活習慣の改善	0.31	0.76	29
		4. 食育の推進	0.31	0.79	30
	施策9 地域医療の確保	1. 地域医療の確保	0.45	1.41	31
		2. 救急・休日夜間医療体制の確保	0.14	1.42	32
3. 医療との連携		0.25	1.42	33	
Ⅳ 農を基軸とした交流の村づくり	施策10 情報通信を活用した快適な生活	1. ICTの活用	0.09	0.81	34
		2. 防災担当との連動	0.33	0.97	35
		3. 情報発信の充実	0.29	0.63	36
		4. インターネット環境の整備	0.06	0.95	37
	施策11 農村環境を活用した産業の創出	1. 6次産業化の推進	-0.02	0.67	38
		2. 都市住民との連携による産業創出	0.04	0.72	39
		3. 観光部門との連携	-0.06	0.74	40
		4. 若手農業者との連携	0.10	1.00	41
	施策12 滞在型観光の推進	1. 観光資源及び施設の充実	-0.01	0.82	42
		2. スポーツ環境及び施設の充実	0.13	0.65	43
		3. 農業農村体験等の充実	0.08	0.55	44
		4. 効果的なPR活動の推進	-0.03	0.64	45
		5. 観光案内マップの更新	0.08	0.65	46
	施策13 商工業の振興と新しい産業の創出	1. 中小企業支援	0.13	0.67	47
2. 商工会との連携強化		0.12	0.60	48	
3. 新産業の創出支援		0.02	0.76	49	
施策14 移住定住の促進	1-1. 移住定住の推進	0.13	0.89	50	
	1-2. 移住定住の推進	0.10	0.79	51	
	2. 空き家等の利活用	-0.04	1.02	52	

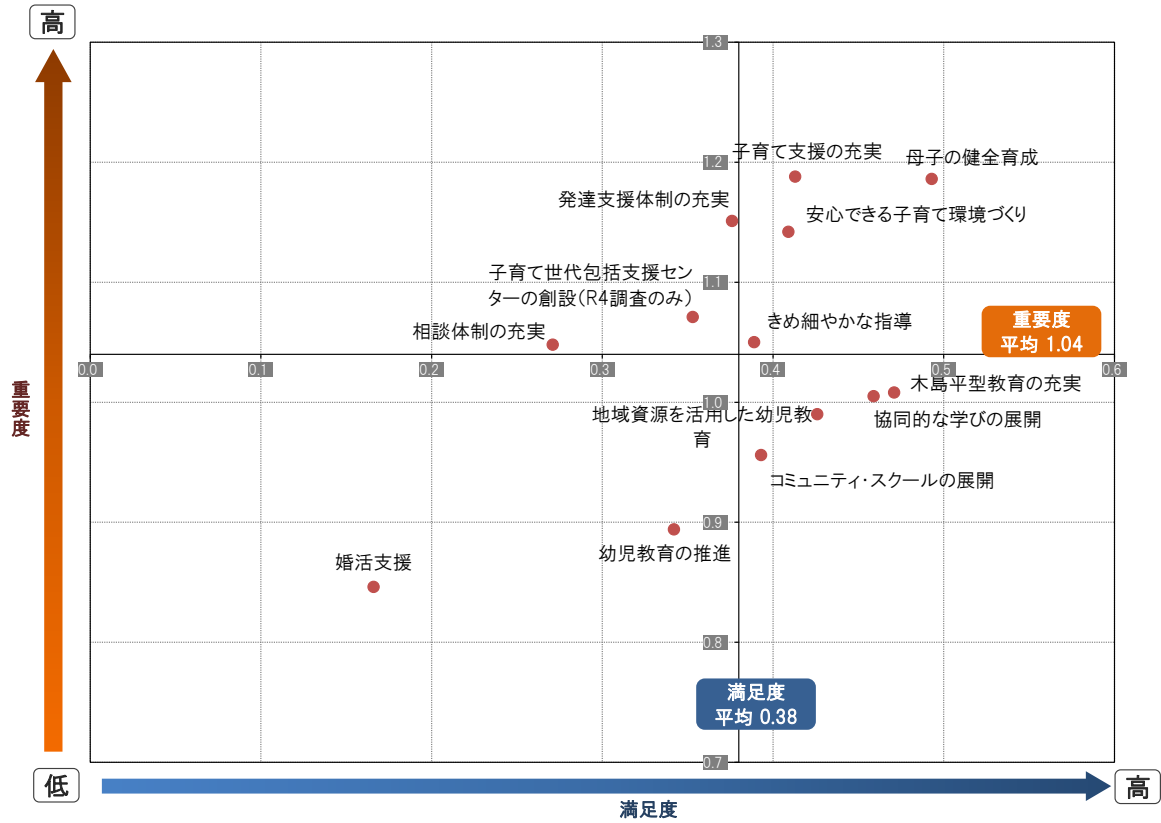
↓次ページへ続く

分野 (10)	施策 (28)	取組 (101)	満足度 (R4)	重要度 (R4)	No.
V 農村の環境を生かした村づくり	施策15 木島平ブランドの確立	1. 高品質な農産物の生産	0.40	1.03	53
		2. 振興作物の普及	0.19	0.91	54
		3. 効果的なPR活動の推進	0.35	0.94	55
		4. 姉妹都市・交流都市等への展開	0.30	0.83	56
		5. 外部への積極的な販売支援	0.12	0.94	57
	施策16 農業の振興	1. 有機の里づくりの推進	0.39	0.87	58
		2. 農業の担い手確保	0.24	1.02	59
		3. 耕作放棄地の解消	0.12	1.05	60
		4. 農業用施設の改修	0.13	1.00	61
		5. 有害鳥獣対策	0.14	1.08	62
	施策17 林業の振興	1. 林業従事者との連携	0.17	0.87	63
		2. 森林教育の推進	0.15	0.79	64
		3. 県産材の有効活用	0.15	0.81	65
4. 森の再生事業		0.18	0.84	66	
VI 人と地球にやさしい村づくり	施策18 環境にやさしい未利用資源の利用促進	1. 木質ペレットストーブ等の家庭への普及	0.09	0.30	67
		2. 小水力発電の推進	0.11	0.61	68
		3. 未利用資源の活用	0.06	0.70	69
		4. ゼロカーボンの推進	0.06	0.71	70
	施策19 農村の原風景と環境保全の推進	1-1. 環境の保全と景観形成	0.10	0.91	71
		1-2. 環境の保全と景観形成	0.45	0.86	72
		2. 空き家等の管理の指導	-0.12	1.07	73
	施策20 ごみの減量化とリサイクルの促進	3. 農村景観に配慮した住宅建築推進	0.11	0.53	74
		1. ごみの削減の推進	0.48	1.08	75
		2. 資源化の促進	0.53	1.12	76
		3. ごみ辞典の更新	0.51	1.05	77
		4. ごみステーションの建設補助	0.44	1.01	78
VII 文化が薫るいきいきとした村づくり	施策21 暮らしに基づく文化活動の拡大と振興	5. 不法投棄防止活動	0.20	1.17	79
		1. 芸術文化協会の活性化	0.12	0.29	80
		2. 「郷の家」の振興	0.06	0.17	81
	施策22 文化財の保存と活用の推進	3. 「中町展示館」の振興	0.10	0.22	82
		1. 文化財の保護と啓発	0.36	0.68	83
		2. ふるさと資料館の活用	0.20	0.53	84
3. 各地区伝統文化の継承		0.23	0.57	85	
VIII 活力いっぱいの集落・村づくり	施策23 集落の維持と強化の推進	4. 郷土食、郷土料理の伝承	0.17	0.54	86
		1. 集落の活性化	0.19	0.73	87
		2. 協働の村づくり	0.16	0.55	88
	施策24 人権が尊重される村づくりの推進	3. 分館の改修	0.26	0.87	89
		1. 人権擁護に関する総合計画との連動	0.27	0.71	90
		2. 人権センター事業の実施	0.26	0.59	91
	施策25 村民との協働による村づくり	3. 相談窓口の充実	0.19	0.70	92
		1. 村民と行政の協働による村づくりの推進	0.13	0.80	93
	IX ふれあいと交流ができる村づくり	施策26 生涯学習の推進	2. 男女共同参画の推進	0.10	0.80
1. 村民スポーツフェスティバルの開催			0.18	0.23	95
2. 村民運動会の開催			0.02	-0.05	96
3. 村民祭の開催			0.25	0.32	97
4. 地域課題解決のための講座等の開催		0.20	0.48	98	
施策27 公共施設適正管理の推進	公共施設等総合管理計画の推進	0.12	0.60	99	
X 若者のアイデアを生かした村づくり	施策28 若者のアイデアを生かした村づくりの推進	1. 大学との連携による村づくり	0.16	0.43	100
		2. 下高井農林高校の存続	0.51	1.24	101

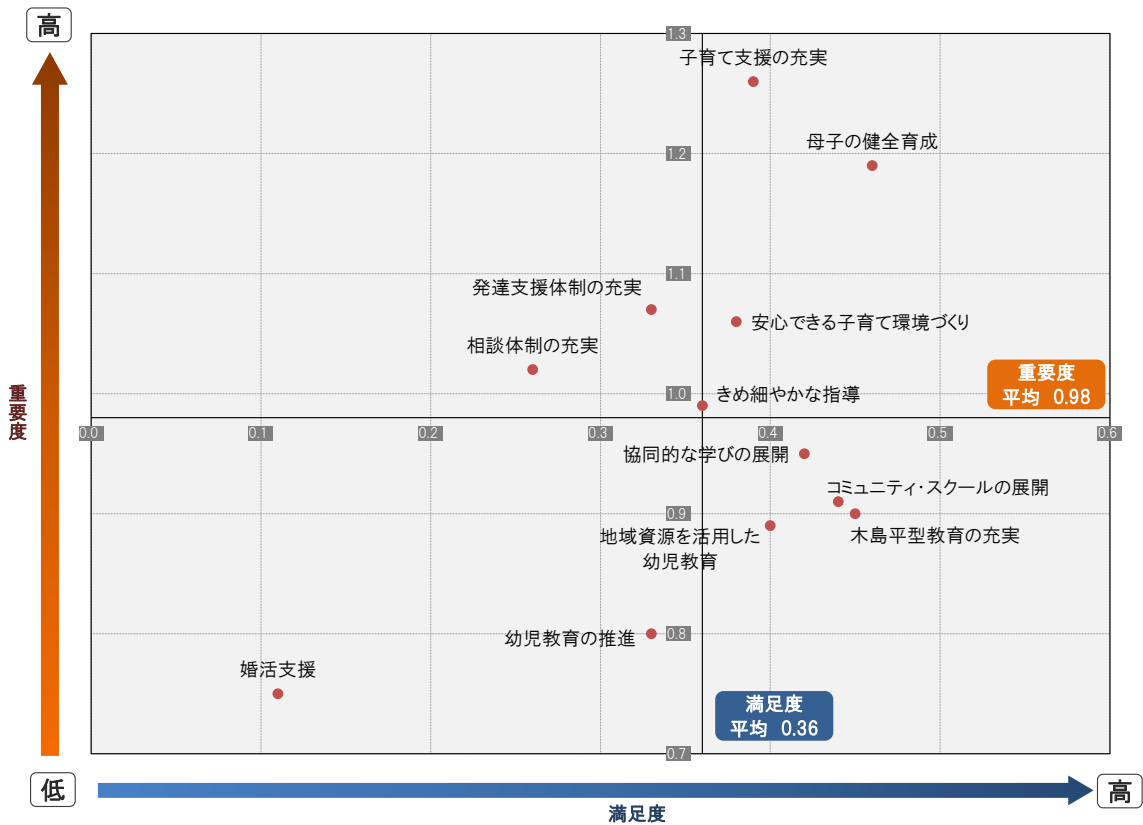
② (参考) I～Xの分野ごとの集計

【I 子育てと教育の村づくり】

図表 1-25 I 子育てと教育の村づくり

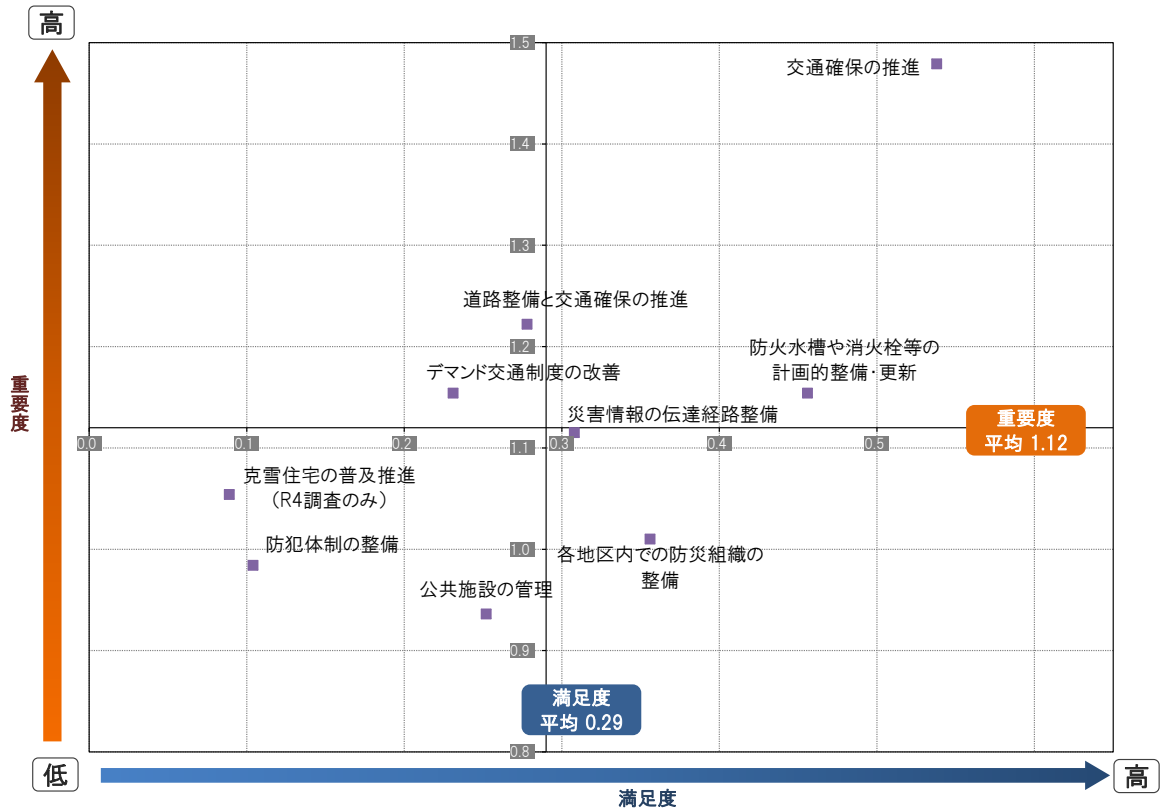


[参考] 前回 (H30) 調査

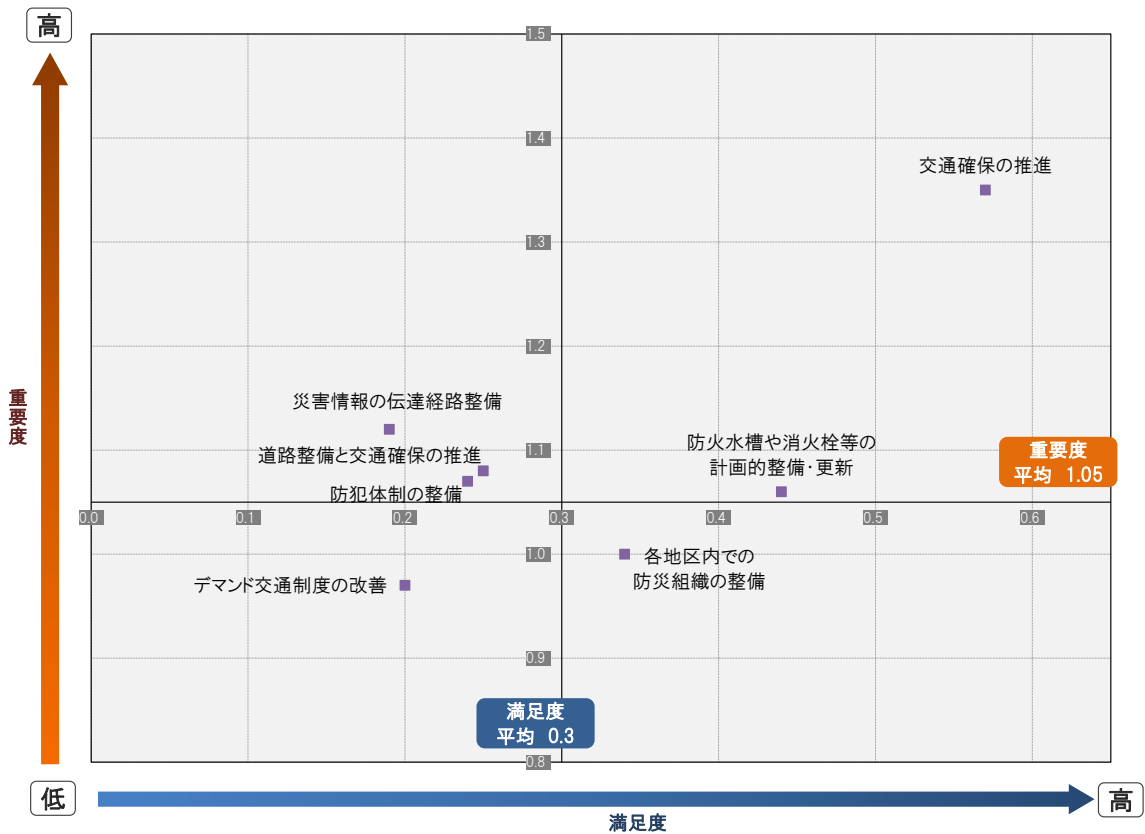


【Ⅱ 暮らしやすさが実感できる村づくり】

図表 1-26 Ⅱ 暮らしやすさが実感できる村づくり

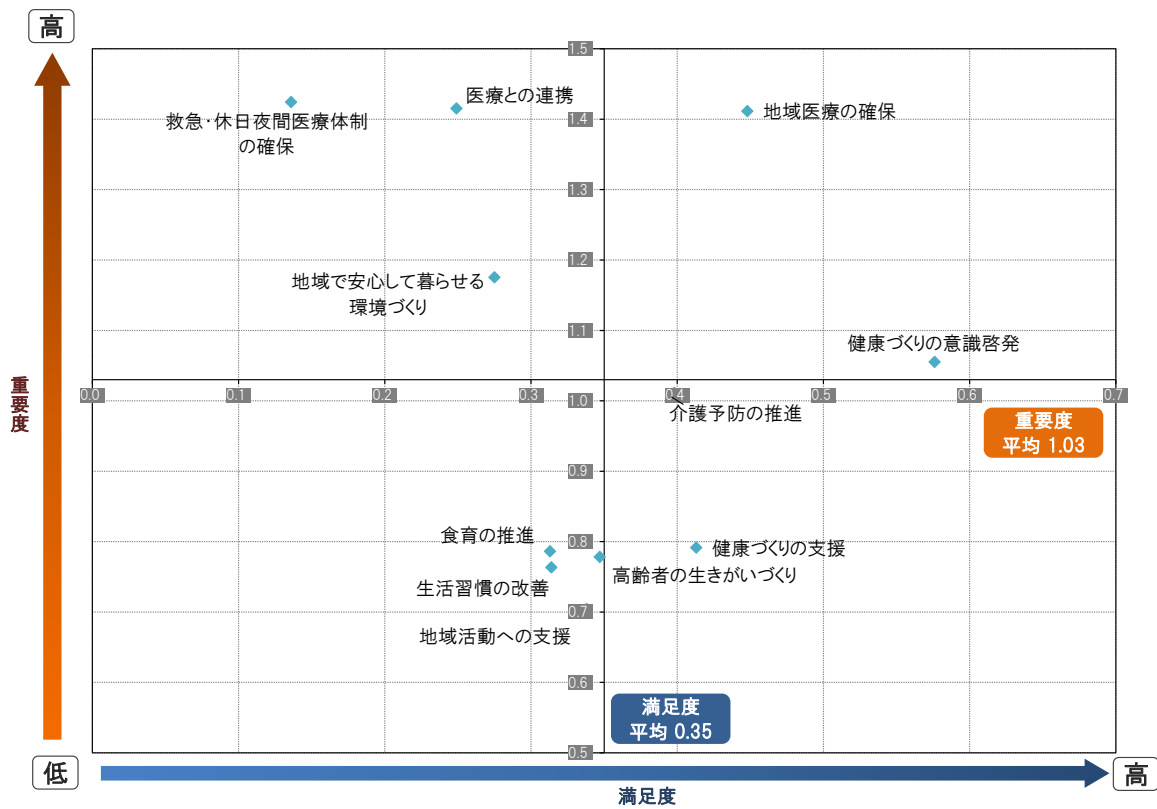


〔参考〕 前回 (H30) 調査

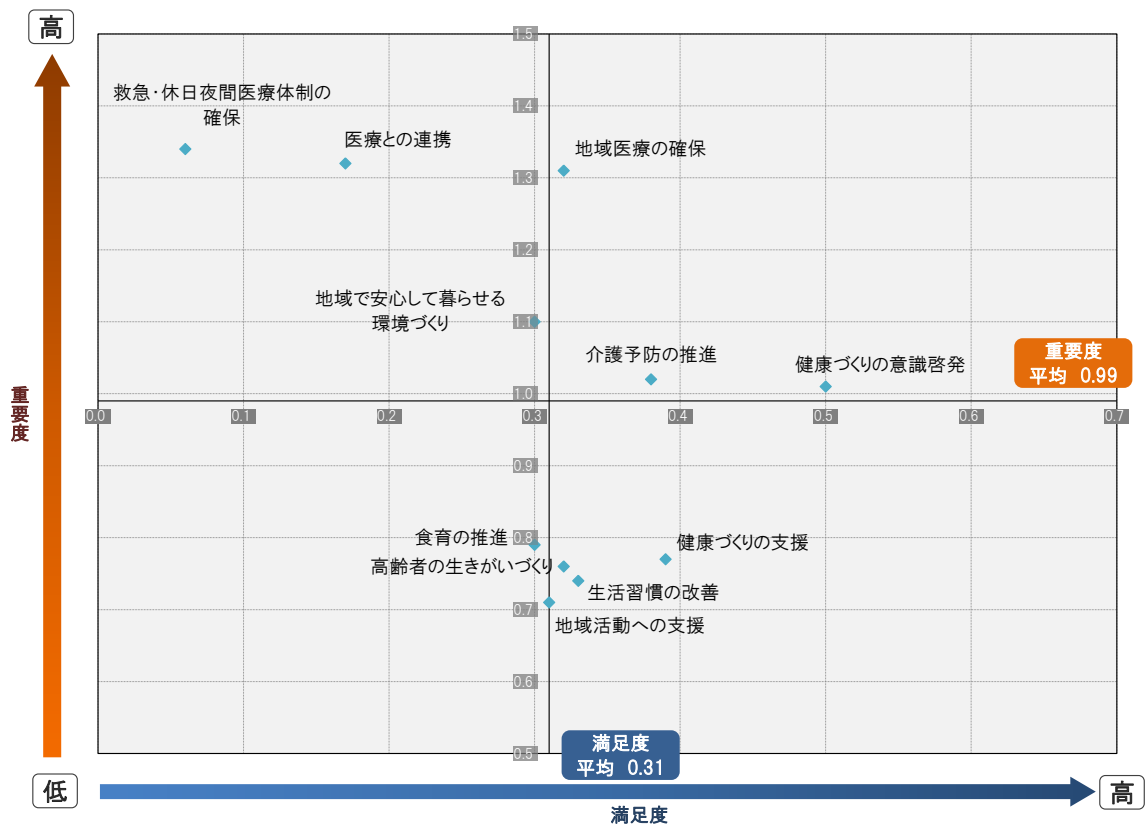


【Ⅲ 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり】

図表 1-27 Ⅲ 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり

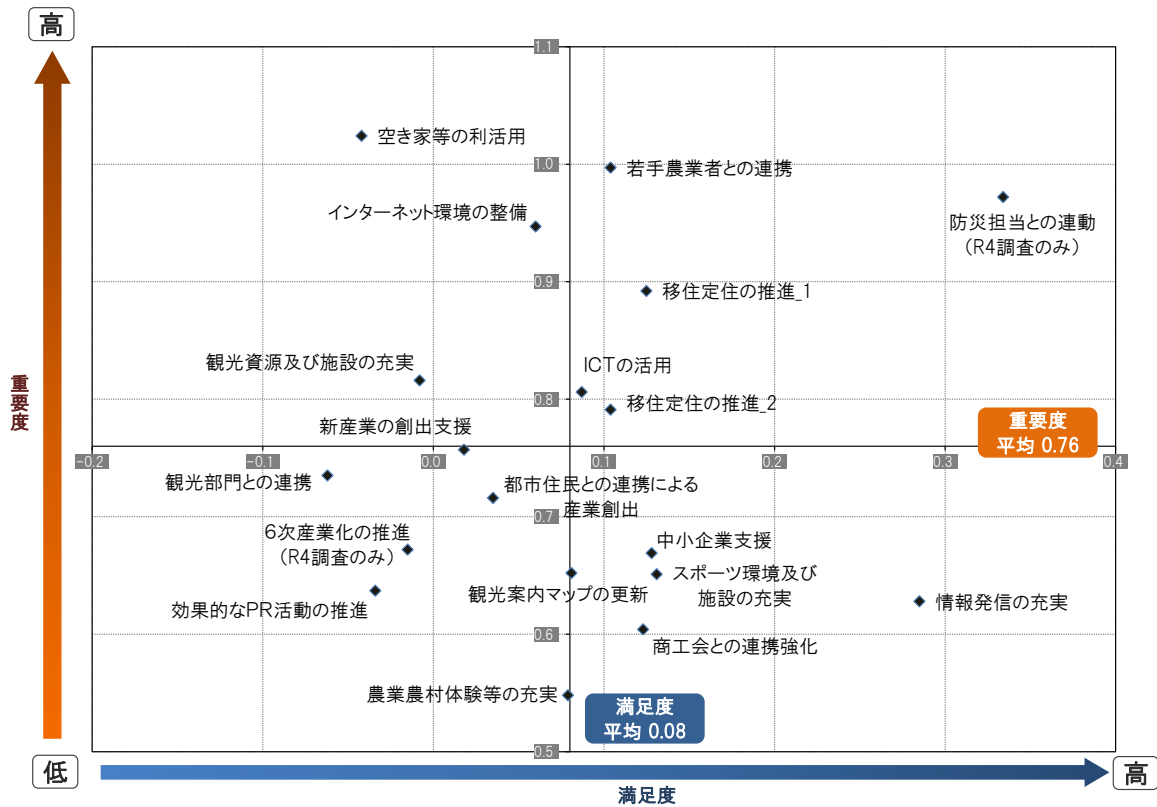


【参考】 前回 (H30) 調査

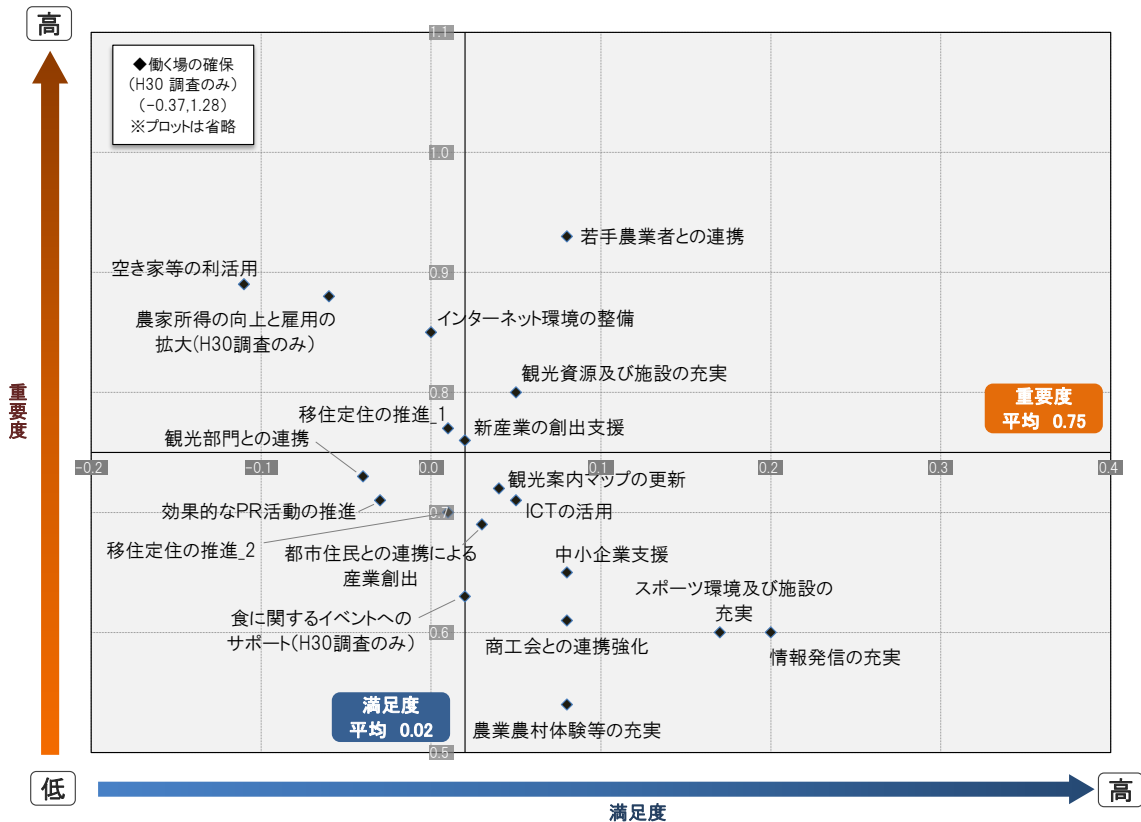


【IV 農を基軸とした交流の村づくり】

図表 1-28 IV 農を基軸とした交流の村づくり

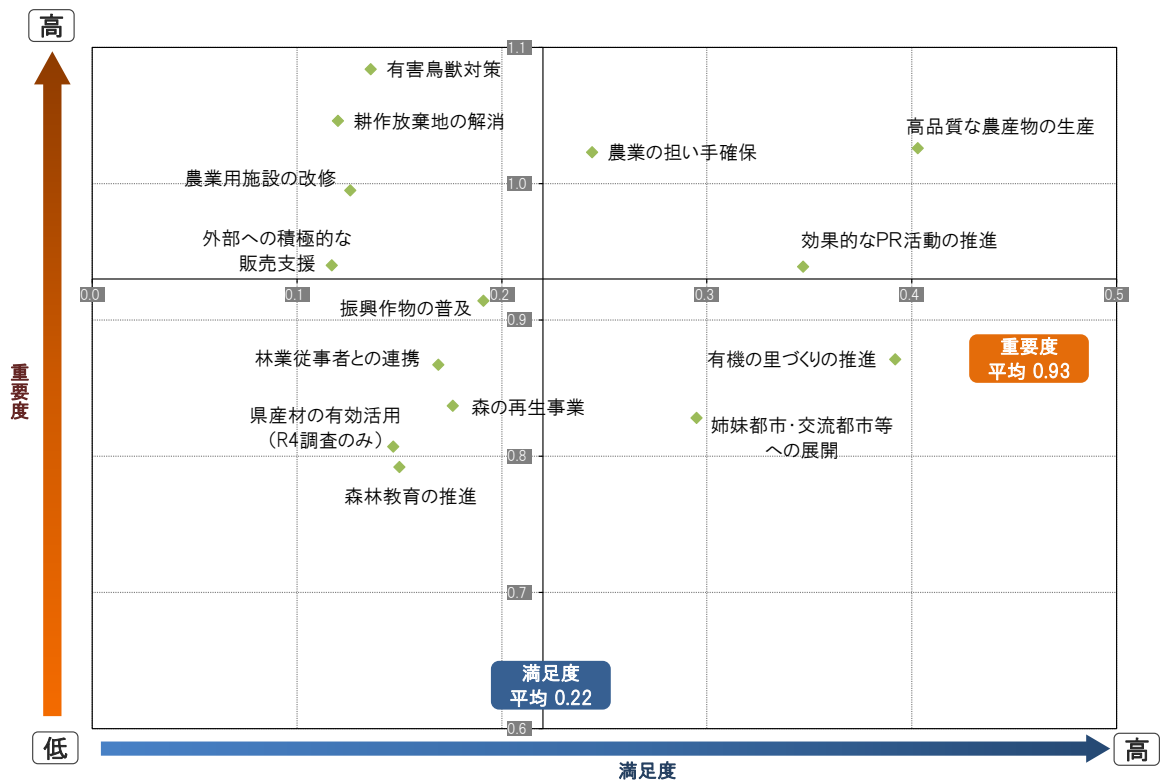


【参考】 前回 (H30) 調査

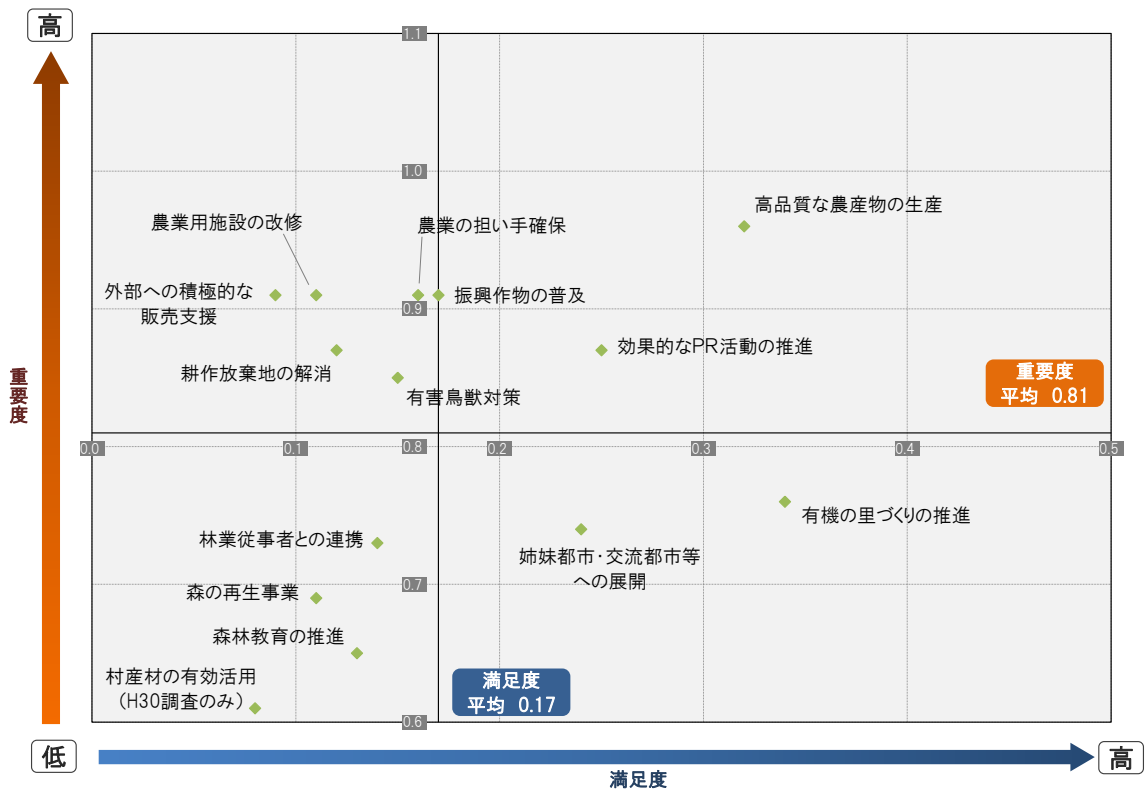


【V 農村の環境を生かした村づくり】

図表 1-29 V 農村の環境を生かした村づくり

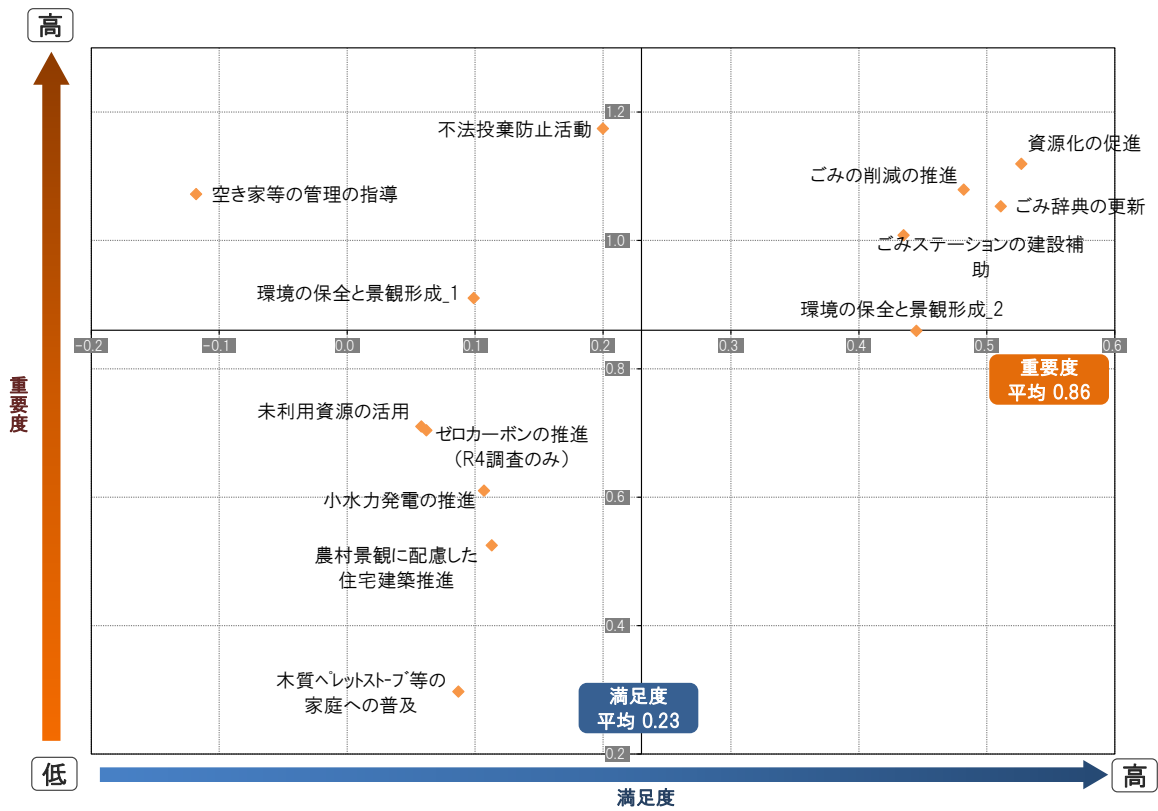


【参考】 前回 (H30) 調査

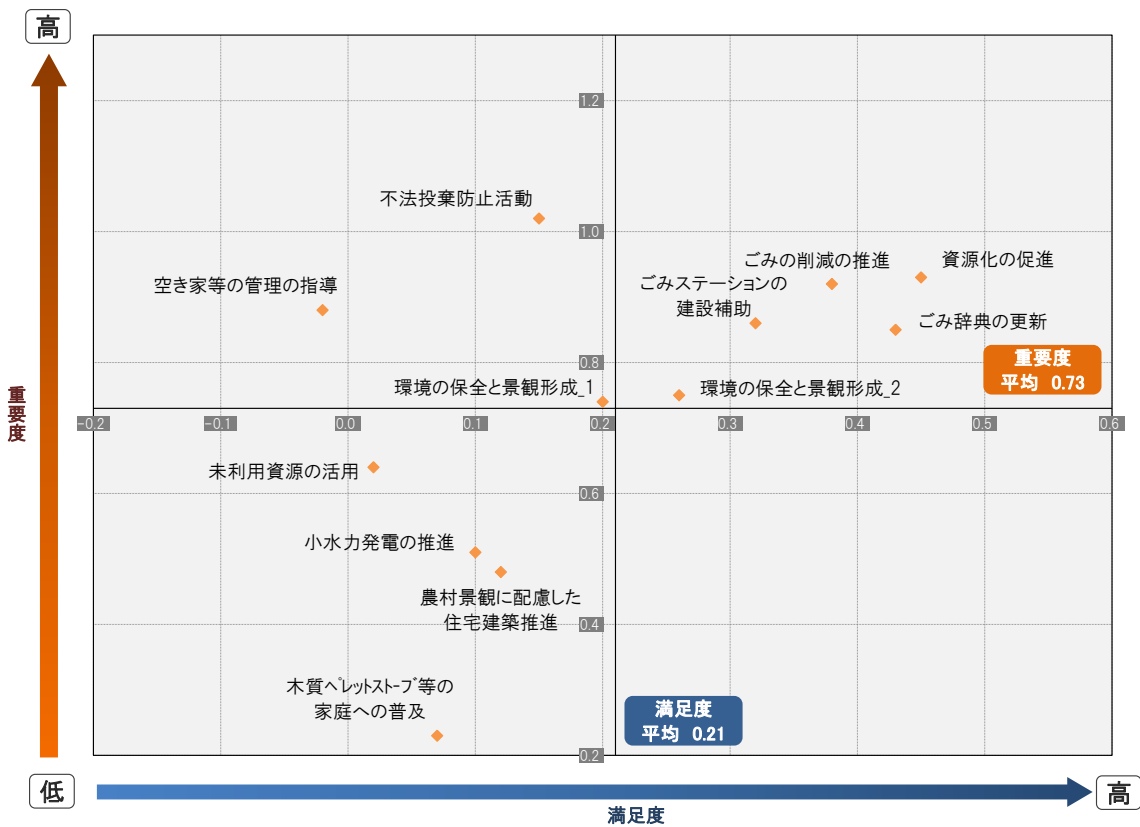


【VI 人と地球にやさしい村づくり】

図表 1-30 VI 人と地球にやさしい村づくり

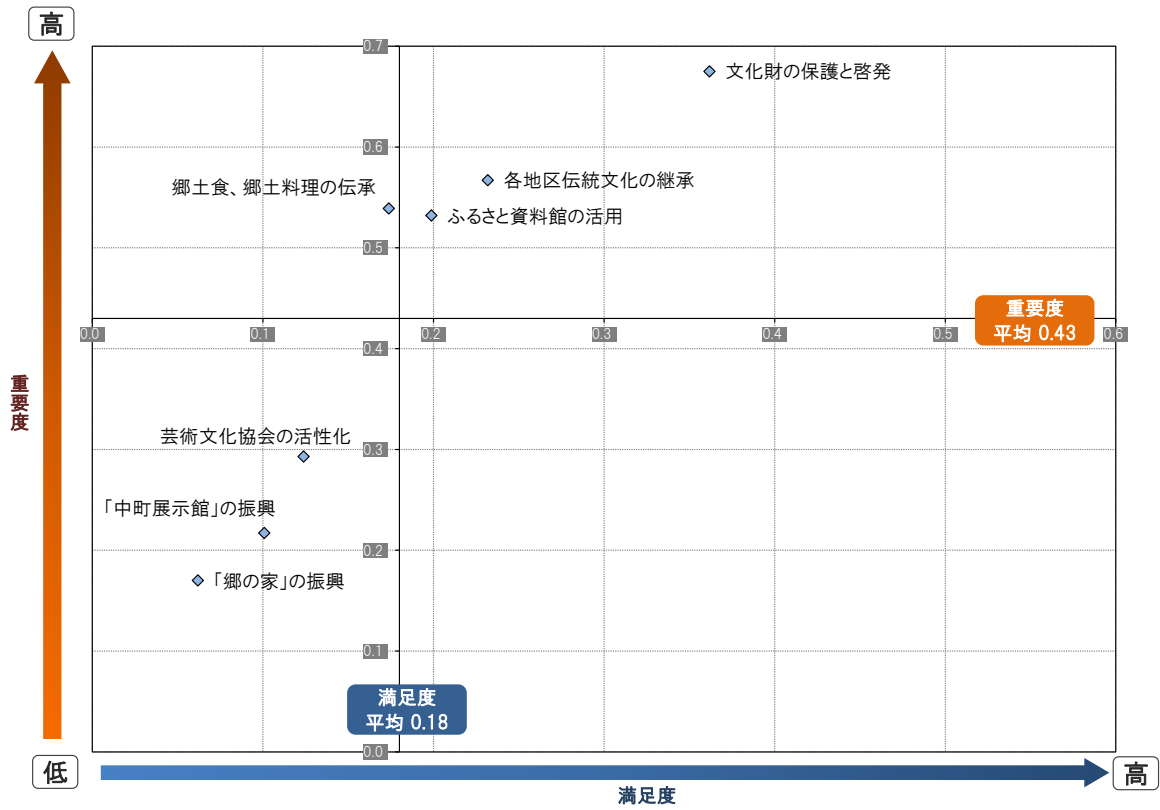


【参考】 前回 (H30) 調査

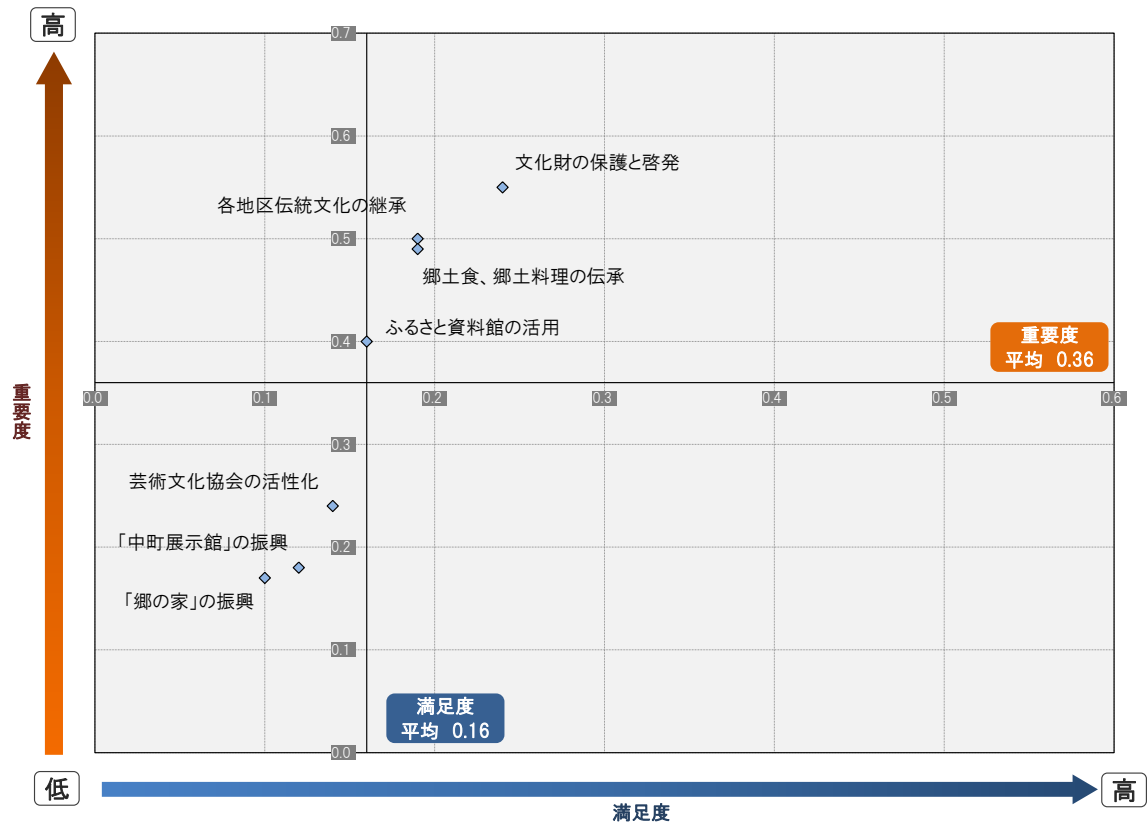


【VII 文化が薫るいきいきとした村づくり】

図表 1-31 VII 文化が薫るいきいきとした村づくり

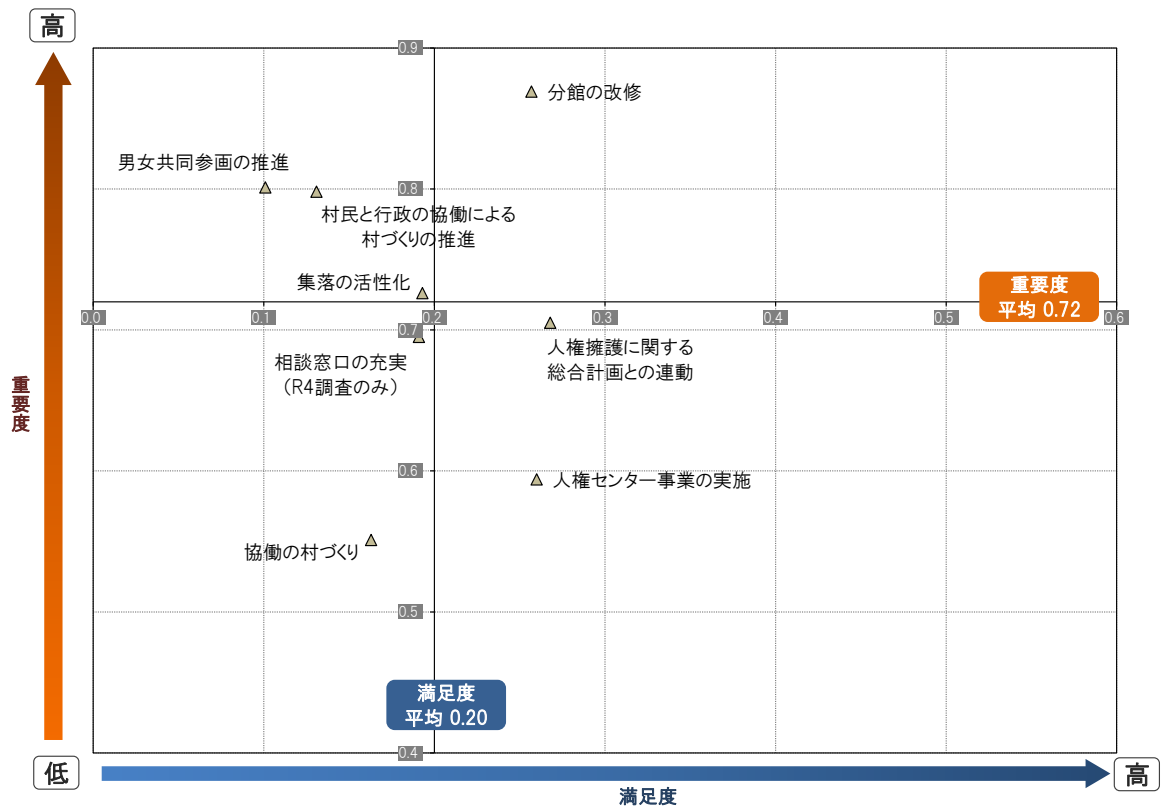


【参考】 前回 (H30) 調査

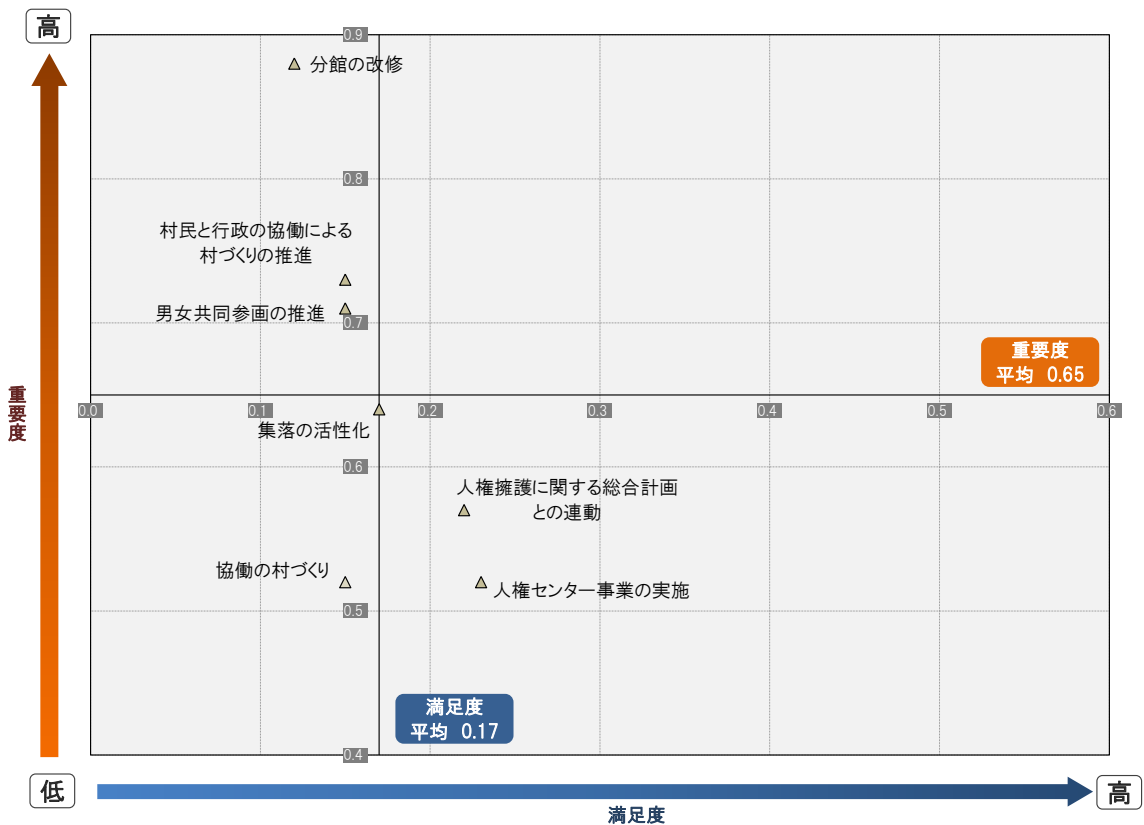


【Ⅷ 活力いっぱいの集落・村づくり】

図表 1-32 Ⅷ 活力いっぱいの集落・村づくり

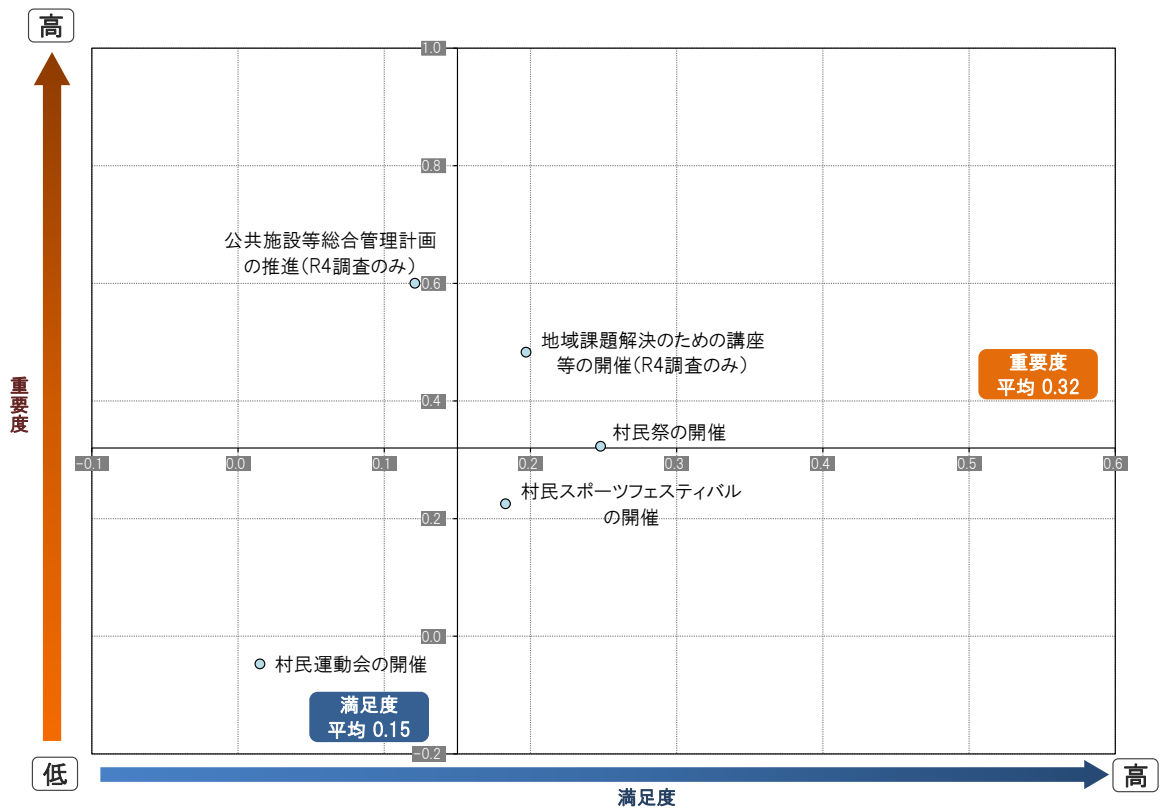


【参考】 前回 (H30) 調査



【IX ふれあいと交流ができる村づくり】

図表 1-33 IX ふれあいと交流ができる村づくり

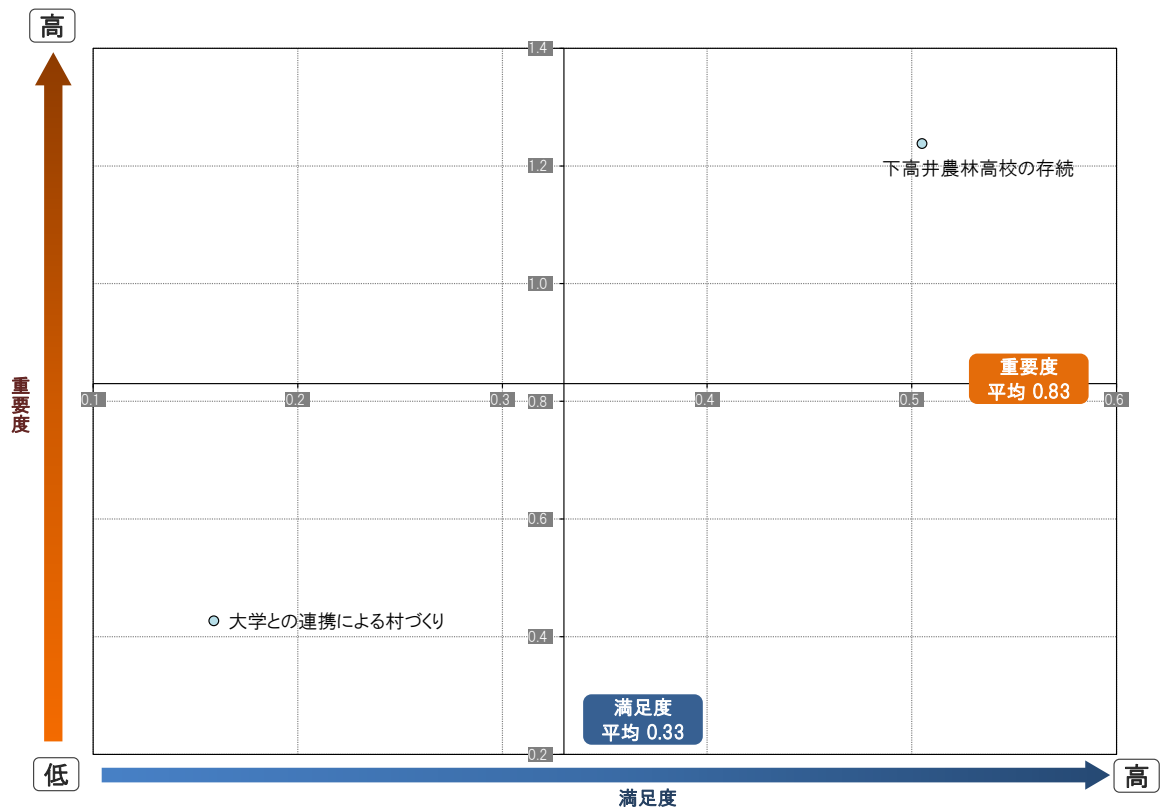


【参考】 前回 (H30) 調査

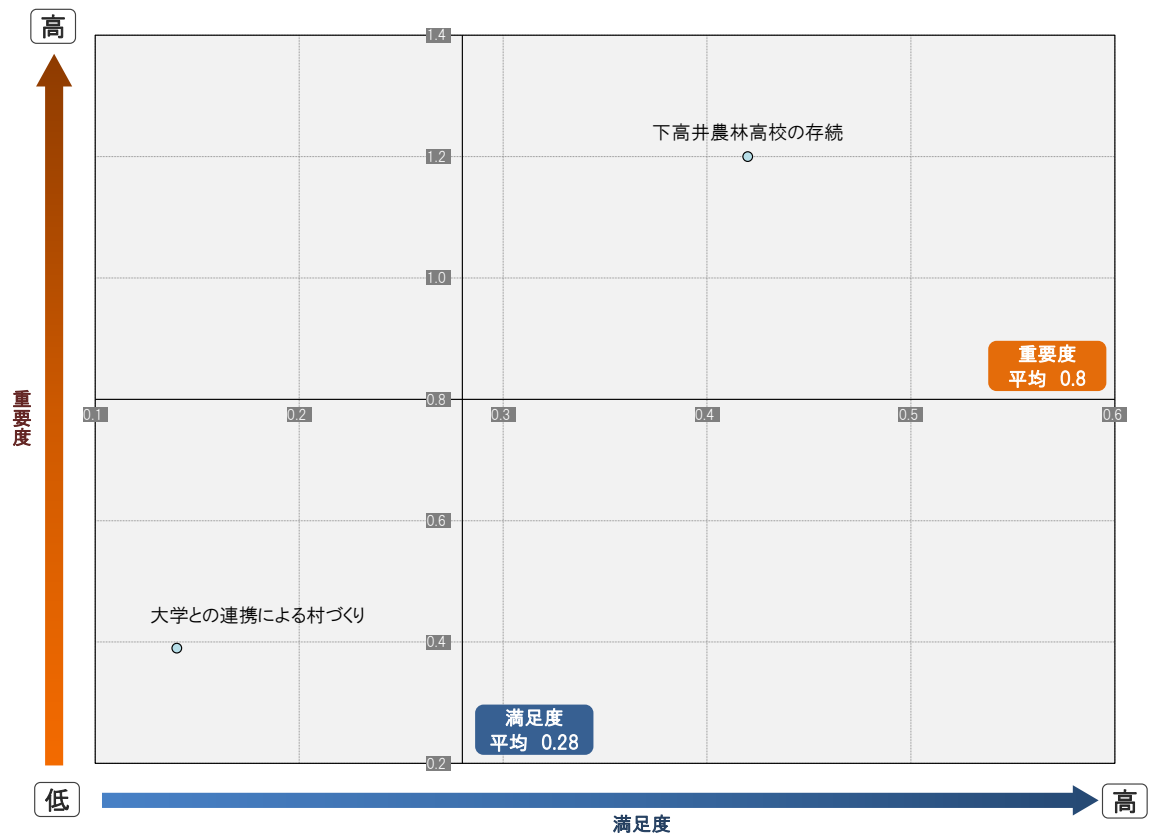


【X 若者のアイデアを生かした村づくり】

図表 1-34 X 若者のアイデアを生かした村づくり



[参考] 前回 (H30) 調査

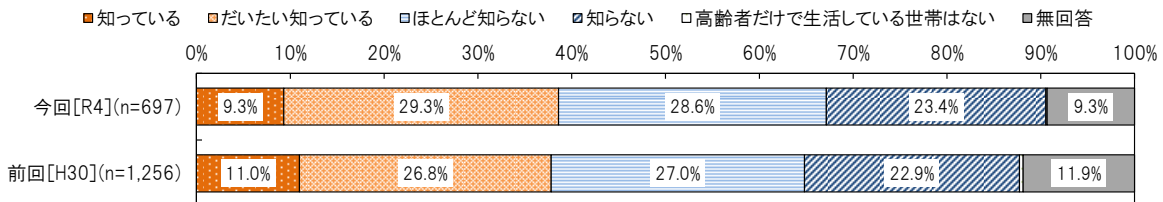


問5 お住まいの集落について

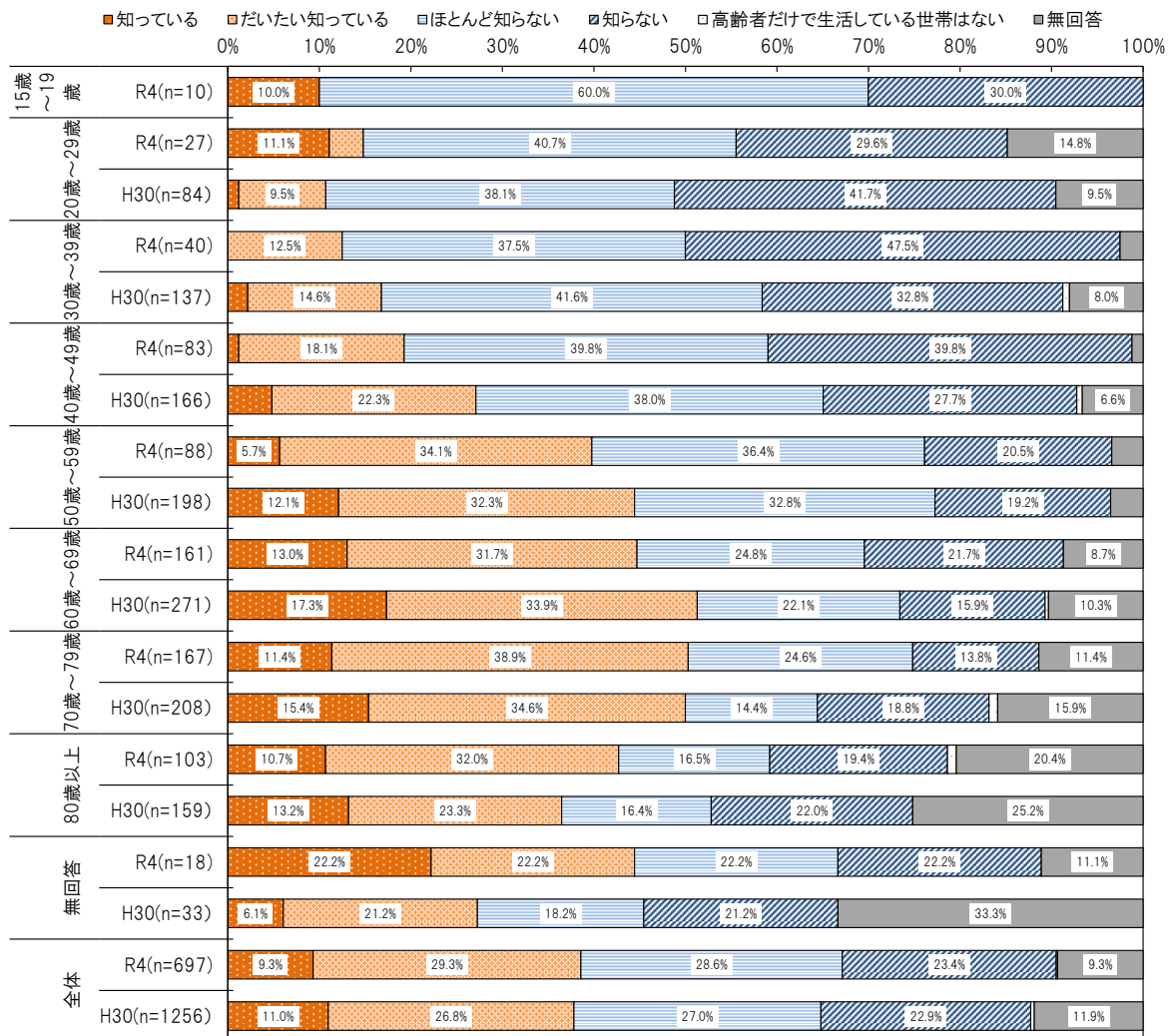
(1) 集落内で高齢者（65歳以上）だけで生活している世帯の数

- 全体としては、「知っている」「だいたい知っている」を合わせた割合は 38.6%となっている。
- 一方、「知らない」「ほとんど知らない」を合わせた割合は 51.9%と、全体の半数以上を占めている。
- 年代別にみると、70歳代をピークに、概ね年代が上がるにつれて「知っている」「だいたい知っている」の割合が高い傾向がある。

図表 1-35 高齢者のみ世帯数について



図表 1-36 高齢者のみ世帯数について（年齢階級別）

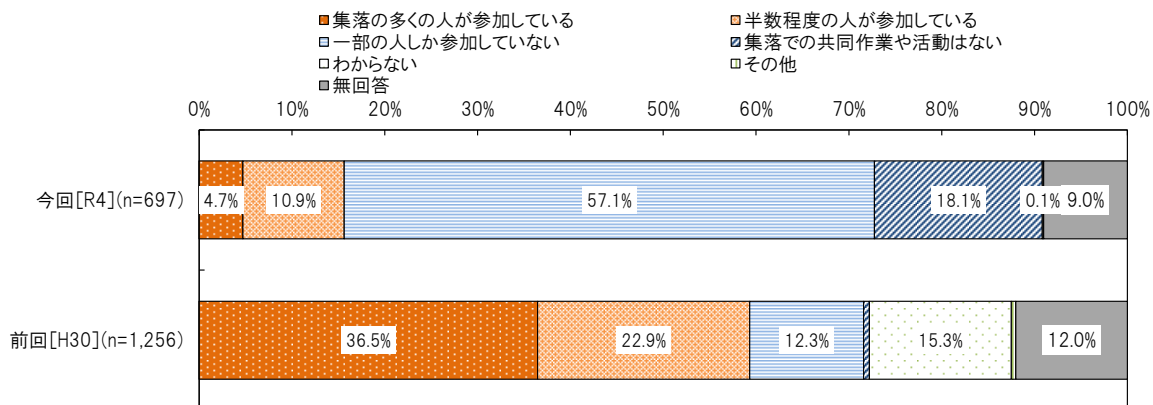


(注)「15歳～19歳」は、H30年調査では調査対象で無いため回答が無い

落内の共同作業や活動への住民の参加状況

- 全体としては、集落内の共同作業や活動へ「一部の人しか参加していない」割合が 57.1%を占めており、「集落での共同作業や活動はない」を加えると 75.2%を占める。
- 前回と比較すると「集落の多くの人に参加している」、「半数程度の人に参加している」の割合が大幅に減少し、「一部の人しか参加していない」、「集落での共同作業や活動はない」が大きく増加した。コロナ禍において、参加人数を制限して開催したり、活動自体が中止されたりした影響もあるとみられる。

図表 1-37 集落内の共同作業や活動への住民の参加状況



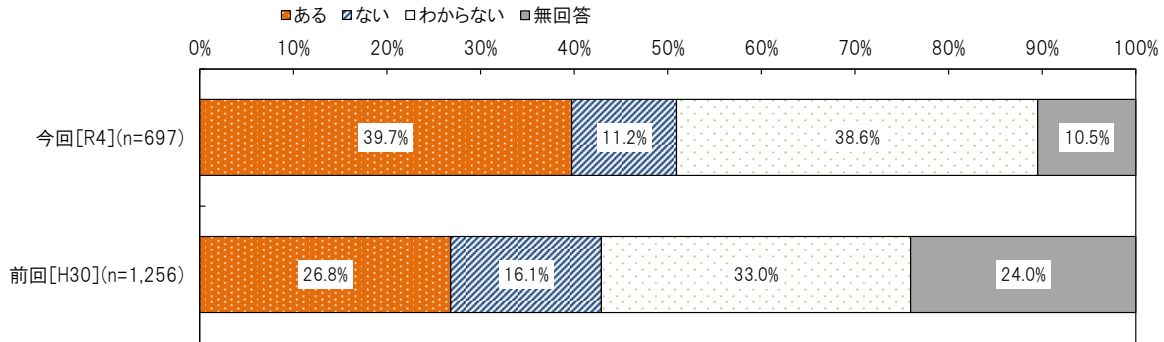
「その他」の主な意見

- ・ コロナで集落作業がない
- ・ 多くの方が参加しているもの、一部の人しか参加していないものがある。
- ・ 毎回、大体いつも参加している人しか参加しない など

(3) 集落内の自慢できる資源（自然・歴史・人・食文化・祭り等）

- 全体で見ると、集落内に自慢できる資源が「ある」と答えた割合は 39.7%であり、「ない」と答えた割合を 20 ポイント程度上回る。
- 前回調査と比較すると、集落内に自慢できる資源が「ある」と答えた割合は 13.4 ポイント増加し、「ない」と答えた割合は約 5 ポイント減少した。

図表 1-38 集落内の自慢できる資源の有無



○幅広い集落で聞かれた主な意見

- ・自然、祭り、人、木島平米 など

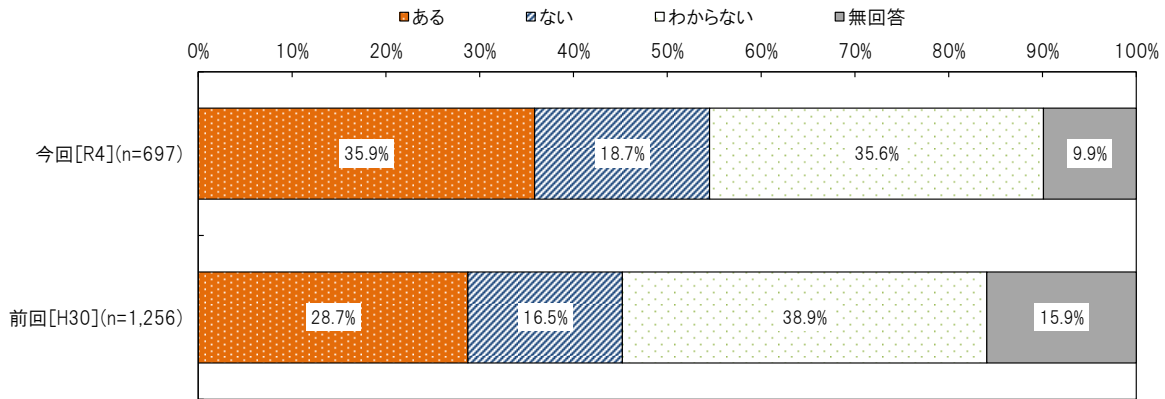
○集落毎の特徴的な意見（抜粋）

- ・中村（一川谷大元神社の祭り、和算）
- ・小見（お盆 14 日の燈籠連れ、秋まつり（獅子舞）、小菅の権現様が御見立の里）
- ・和栗（イチヨウの木（長光寺））
- ・稲荷（稲泉寺の蓮の花、神社、岩清水、馬曲温泉）
- ・内山（龍興寺清水、柱松子祭、和紙）
- ・北鴨（ふれあい祭り、北鴨の祭、豊秋津州神社（京都から分神）、加茂清水、道祖神、眺望）
- ・栄町（無散水、消雪、流雪溝があること）
- ・南鴨（朝日ごうろ古墳、鬼の釜古墳、柱松子、大塚山祭り、平塚山遺跡、子育て世帯同士のつながり）
- ・高石（けやきの森、泉龍寺、市川氏の墓、祭り、区民で協力して行事ができる事）
- ・庚（百庚申塚、しだれ桜、秋祭り、庚ピザ、分館の楊柳観音菩薩）
- ・市之割（カエル石像 蛭、おしめさんの祭り、観音講、市之割の歌、おしめさんの祭り）
- ・西小路（景観、清水、祭り（神楽）、人情が厚い）
- ・中島（獅子舞、蛭、水穂神社の算額、区民運動会、市神祭、樽川の遊歩道）
- ・部谷沢（段々畑、眺望の良さ、滝）
- ・原大沢（算額（天満宮）、手入れされた農地・里山）
- ・上千石（皆穏やかな人たち）
- ・平沢（城山）
- ・馬曲（馬曲温泉、蜘蛛が淵、鞍掛の梨の木、観音堂）
- ・糠千（そば祭り）
- ・山口（各集落の神社の秋例祭の神楽、獅子舞）
- ・柳久保（道陸神、祭り（獅子舞）、戸隠講、西国街道 1 番、湧き水の沢、蛭）
- ・大町（高札、獅子舞、道祖神、秋の例大祭、清水、隣組球技大会・水路視察・収穫祭・上堰）
- ・中町（秋祭、獅子舞、神楽、盆じゃもの、安國神社、寺院参道杉、道祖神、清流、わけしょの集まり）
- ・西町（カラス踊り（盆踊り）、北向厄除観音、大正公園、秋祭り、獅子舞、道祖神、食文化）
- ・池の平（景観）
- ・スキー場（木島平スキー場、高社山、北信五岳を見渡せる眺め）

(4) 大雨や地震などの自然災害が起こった場合の危険箇所

- 自然災害が起こった場合の危険箇所が「ある」と答えた割合は 35.9%となっている。
- 一方、「わからない」と答えた割合が 35.6%と「ある」に次いで大きな割合を占めており、危険箇所の周知が課題と考えられる。

図表 1-39 大雨や地震などの自然災害が起こった場合の危険箇所

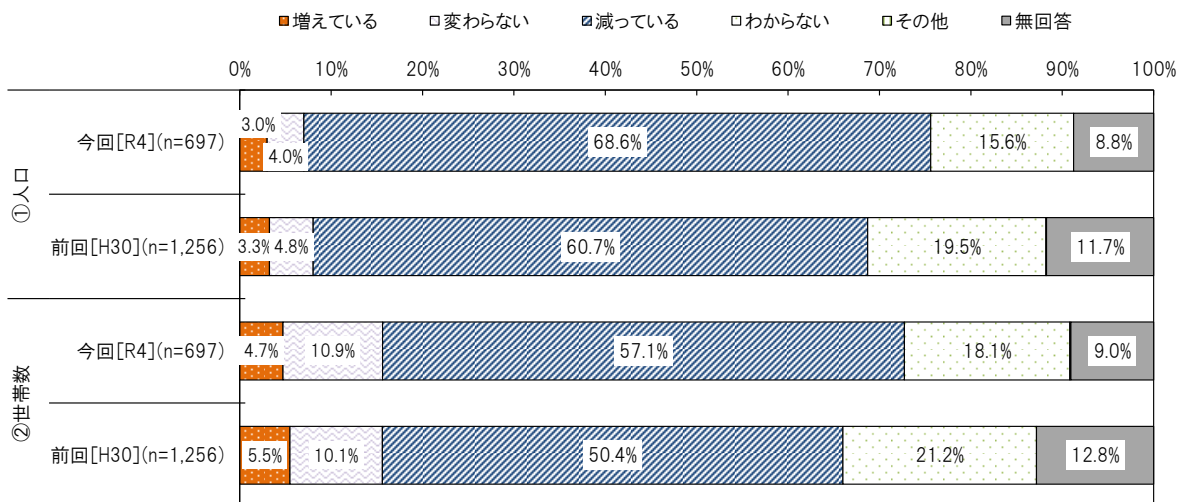


(5) 過去 10 年間の集落の変化

- ① 人口
- ② 世帯数

- 過去 10 年間で集落の「①人口」が「減っている」と答えた方の割合は 68.6%を占めており、「増えている」「変わらない」を大きく上回る。また、前回調査と比べ、「減っている」の回答割合は、7.9 ポイント増加した。
- 「②世帯数」も同様の傾向があるが、「①人口」に比べると、「減っている」の割合が 10 ポイント程度少なく、「増えている」「変わらない」の割合が相対的に高い。また、前回調査と比べ、「減っている」の回答割合は、6.7 ポイント増加した。

図表 1-40 過去 10 年間の集落における人口・世帯数の変化

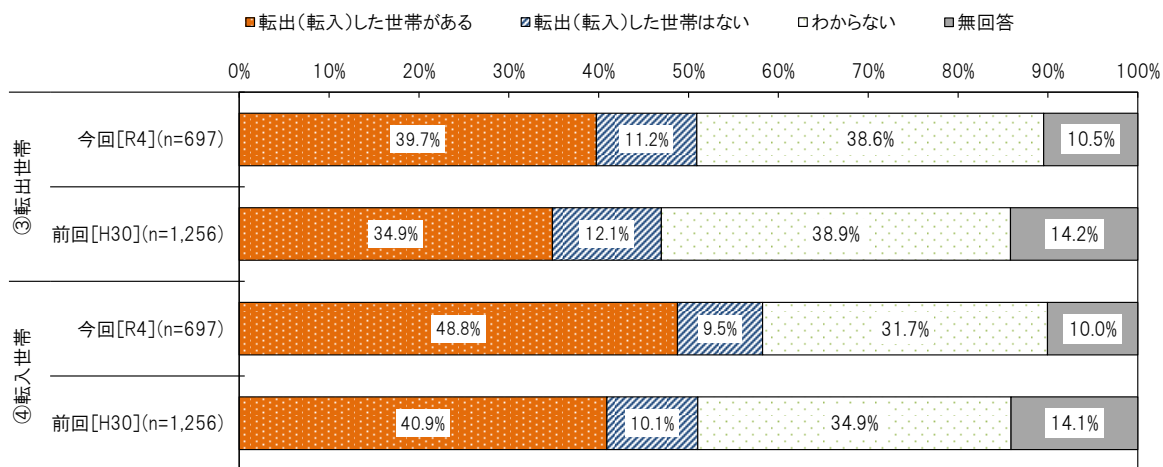


③ 転出世帯

④ 転入世帯

- 過去10年間に集落から「③転出した世帯」について、「ある」と答えた割合は39.7%で、「ない」と答えた割合を上回っている。また、前回調査と比べ、「ある」の回答割合は、4.8ポイント増加した。
- 過去10年間に集落から「④転入した世帯」については、「ある」と答えた割合は48.8%で、「③転出した世帯」が「ある」と答えた割合を上回った。また、前回調査と比べ、「ある」の回答割合は、7.9ポイント増加した。

図表 1-41 過去10年間の集落における転出・転入世帯の変化

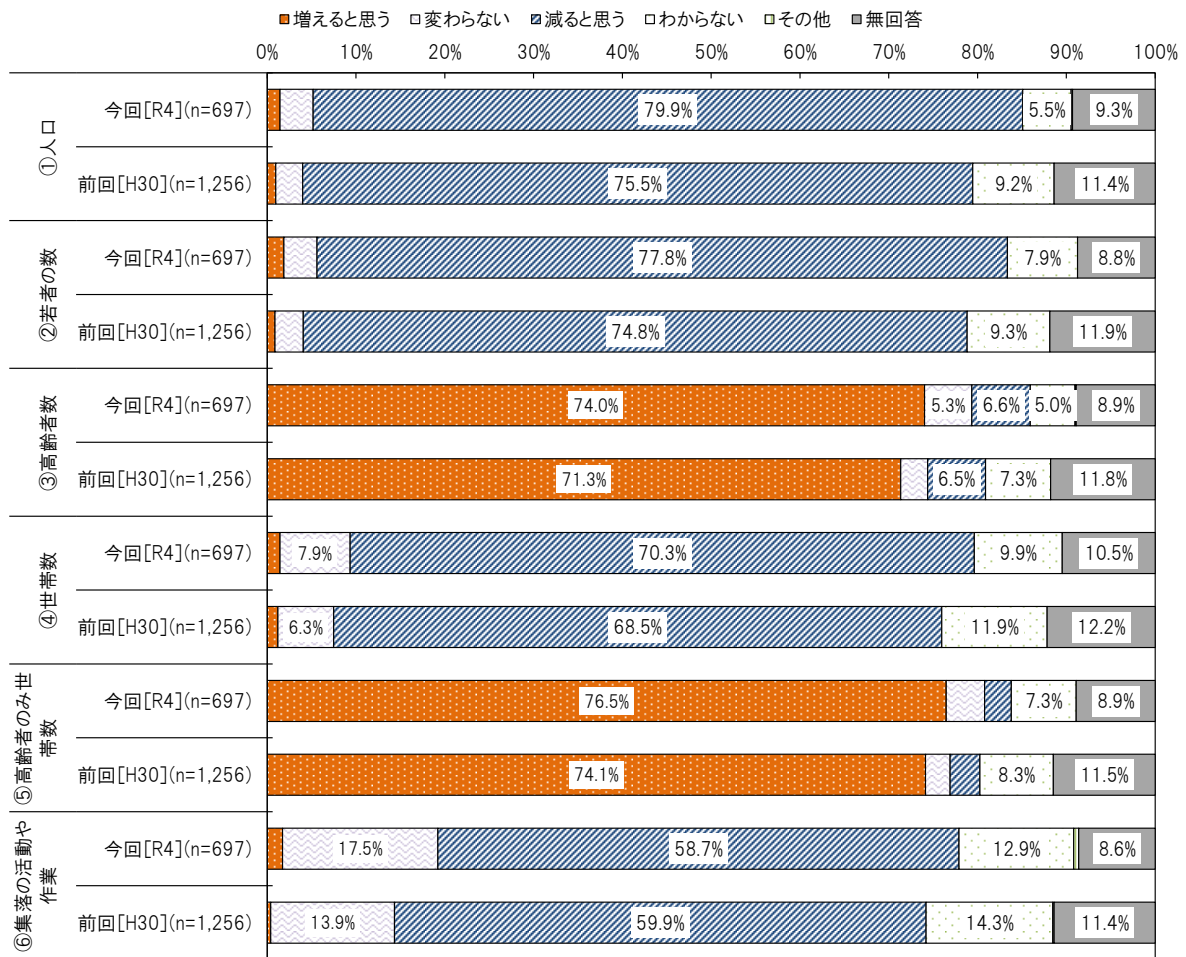


(6) 今後 10 年間の集落の変化の見通し

- ① 人口
- ② 若者の数
- ③ 高齢者数
- ④ 世帯数
- ⑤ 高齢者のみの世帯数
- ⑥ 集落の活動や作業

- 今後 10 年間の集落の変化の見通しについて、①～⑥まで尋ねたところ、「③高齢者数」、「⑤高齢者のみの世帯数」の2点については「増えると思う」と答えた割合が7割を超えたが、「①人口」、「②若者の数」、「④世帯数」については、「減ると思う」と答えた割合が7割前後を占めた。
- 「⑥集落の活動や作業」については、「実施が困難になる」と答えた割合が約6割で、「活性化する」「今までどおり」と答えた割合を大きく上回った。

図表 1-42 今後 10 年間の集落の変化の見通し



(注) ⑥集落の活動や作業については、
■ 活性化する □ 今までどおり ■ 実施が困難に □ わからない □ その他 ■ 無回答

(7) 集落の未来について、期待する将来像や心配事等

【主な意見（抜粋）】

○ 集落の行事・活動

- ・ コロナ等により活動が制限されている状況では活性化はむずかしい。
- ・ 災害時の避難誘導。村ぐるみ防災訓練、これからでもいいので本年度に実施してほしい。
- ・ 消防団員の数が確保できなくなり、家事や災害時が心配
- ・ 子供数が少ないし、高齢化になってきている。この先、部落での祭りや行事等は人数が足りず、無理ではと思う。今まで行えた事ができなくなると 100%思う。
- ・ 高齢化が進み、区の土木作業が大変になる。又、運動会（村民運動会）人員が集められなくなる。
- ・ 集落のまとまりがなくなって来ている（集落の行事などの参加しない人が多くなった）
- ・ 消防、集落の無駄な集まり等やめてほしい。やりたい人だけやればよいと思う。

○ 役負担

- ・ 区民が高齢化して、区や村の役員等や、行事への負担が若い人に偏ってしまう。村外や遠くまで出勤している人にとってはかなりの負担になってしまう。
- ・ 高齢化が進む集落ごとの役職（安全協会や消防等）をスリム化していかないと自助努力だけでは回らなくなるのは明白
- ・ 消防団員の減少。村内で働いている人数もわずかなため常時（緊急時）の対応が難しいこともある。消防団は必要ではあると思うが、時代や現状を考えると、毎月の鐘たたきは有線放送、ポンプ操法よりも、誰もが機械を扱える訓練の方がよいのでは。負担軽減ということではなく、変えられることは変えた方がよいと思います。
- ・ 昔とは違い共働き家庭がふえたので地区の役まわりもなかなか大変になってきている。高齢者も増え、集金等に行ってもなかなか会えず集金が難しく、何度もたずねるのも大変に。学校関係の後援会費等は中小ともに振り込みにしてもらえると本当に助かる。

○ 集落の運営・存続

- ・ <期待する将来像>子育て世代が安心して子供を育てられると思え、子供や若い世代が自分の意見を話し合えて集落活動の一部に反映させられるような柔軟で視野の広い集落運営ができること。長く村に住んできた人たちのルールや慣習を適切に伝え理解できる機会をつくり、一方で集落へ移り住むなどして村外の慣習や価値観を持つ人がそのよい面について意見でき双方同じ土俵で話しあえるようになっていたらいと思う。<心配事>村内だけで暮らしてきた人たちの固定概念や押しつけ（悪気はない）、保守的なところが変わらない限り、お互い理解しあえず
- ・ 将来を担う若い世代が減り、集落衰退することが懸念される。
- ・ 伝統、文化の継承がされていくか心配。
- ・ 区に入らない世帯が増えてくるのではないかな？ 区のあり方を考え直した方がよいのではないかな？ 区に入らない人たちは防災はどうなるのかな？
- ・ 高齢者世帯が増えるなかで、若い世代の力が必要不可欠。
- ・ 部落合併や吸収等の検討（負担が大きくなりすぎ）
- ・ 木島平村では 20 年後には世帯数 2/3 くらいに減るという統計があります。したがって、今か

ら計画的に総務省が進めている「コンパクトシティ」の木島平村を対象とした検討を始めて欲しい。

○ 移住定住

- ・村外、県外からの移住者がいない限りお年寄の数が増えるだけで若者の数が減りそう。木島平の魅力をピールすべきだと思う。(米、水、自然…)
- ・若い人の数が増えないのが心配。幸せの価値観は変化していると思う。(村に住みたいと思うゆっくりした人生など) 移住者も含め若い人たちがくらしやすい村(制度など)にして欲しい
- ・Iターン者として住んでいるが(10年位)まだ受け入れられていない。出来る事だけ利用され使い捨てのようだ。
- ・子育て世帯の連携や連絡が密なため、転入者でも気軽に相談できる体制がとてもありがたいです。このような体制が整っていると移住者も安心して住める場所になると思うので、多くの集落でも整っていくといいと思います。

○ 若者

- ・もっと若者が残ってくれる、若い移住者が増える事を考えないと、老人だけの村になってしまう。
- ・若者の流出を止めるため、地域連携による就業支援、対策が必要と考える
- ・村内、地区内の行事が多いため、若者が転出又は村内に戻らない
- ・確かに今居てくれる人を大切にするのは必要だと思うが、これから先を生きる若者がいなくなればこの村は存続できないと思う。
- ・村営住宅等、若い人達が待機していると聞くので更に若返っていくと良い。
- ・もっと若者が惹かれる様な仕事と援助などあれば良いのに。とは思う。

○ 高齢化

- ・高齢者が増え、空き家が増えると思う。
- ・高齢者が多くなり集落での出役等が出来なくなり大変です。
- ・高齢者だけの世帯の増加、高齢1人暮らし世帯の増加、納税者の減少→財政難
- ・自分も間もなく後期高齢者となるので買物難民になるのか心配です。

○ 空き家

- ・空き家の増加が心配です(独居、高齢世帯多いので)
- ・空き家が多くなってゆくと思うので、家を解体してその土地を更地にしてほしい。
- ・空き家がふえて来たが、壊すお金がかかりすぎる。行政も考えてほしい。

○ 耕作放棄地

- ・非耕作地の用水路が埋まっていたりして危険。耕作放棄地や荒廃地が増えつつあり、空き家対策もぜひしてほしい。

○ 交通・道路

- ・高齢者が多くなるのでいつまで車で運転できるか不安
- ・働きながら子育てをすることが大変。糠塚は交通が不便で親の送迎がないと通うことができない。
- ・道路の融雪、除雪、歩道の整備がダメだと思います。融雪で水が出てもチョロチョロ、水が出ない箇所も多数…路面も傾斜がメチャメチャで、ほとんど解けずに水が止まる。なのに融雪道路だからなのか除雪車がほとんど来ないので道路は一車線化してしまう。スクールバスとはすれ違いすら困難。子供達の登校路なのに歩道が無くて冬は子供達が車道を歩く羽目になっている箇所も多い。とても危険としか思えない。

○ その他

- ・昨年の大雪で老朽化した倉庫が壊れたり、家からの落雪で道がふさがったりしてしまったので、雪害対策は喫緊の課題として、取り組んでいただきたい。
- ・外国人や他県からの移住者等が隣人になる場合も想定して、土地規制、景観条例や落雪のための各規制条例等を早く作って欲しい。家のすぐ横の荒廃地が、ある日突然太陽光パネルでいっぱいになったりしたら、景観も損なわれ、健康面や騒音被害が生じないかと思うが、規制する方法があるのか、知りたい。

問6 地域の活動・行事等について

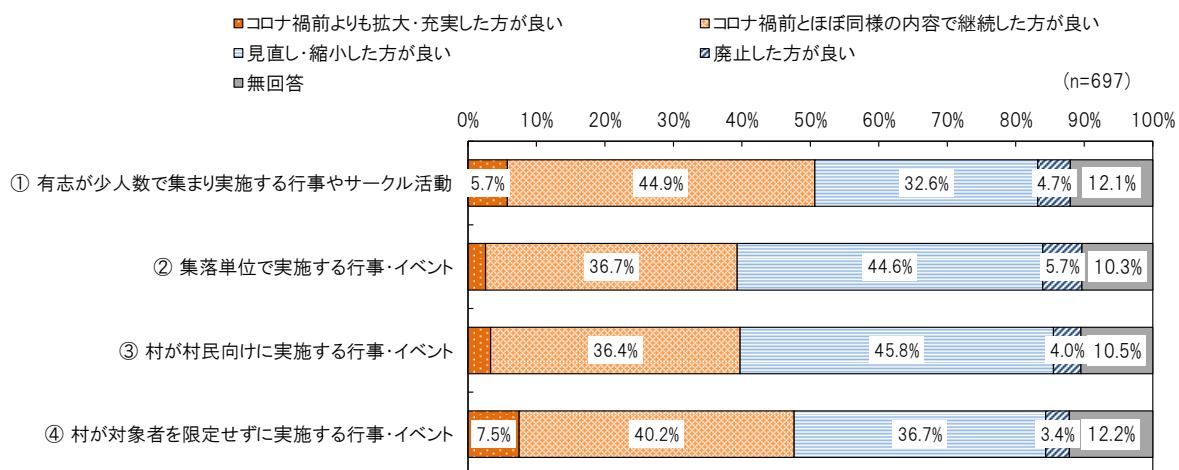
(1) コロナ禍の状況を踏まえ、活動・行事等を今後どうしていきべきか

- ① 有志が少人数で集まり実施する行事やサークル活動
- ② 集落単位で実施する行事・イベント
- ③ 村が村民向けに実施する行事・イベント
- ④ 村が対象者を限定せずに実施する行事・イベント

○ 「①有志が少人数で集まり実施する行事やサークル活動」と「④村が対象者を限定せずに実施する行事・イベント」の2点については、「コロナ禍前よりも拡大・充実した方が良い」と「コロナ禍前とほぼ同様の内容で継続した方が良い」を合わせた前向きな回答割合が、いずれも半数程度を占め、「見直し・縮小した方が良い」と「廃止した方が良い」を合わせた後ろ向きな回答割合を上回った。

○ 「②集落単位で実施する行事・イベント」と「③村が村民向けに実施する行事・イベント」は、「廃止した方が良い」と「見直し・縮小した方が良い」を合わせた後ろ向きな回答割合が半数程度を占め、前向きな回答割合を上回った。

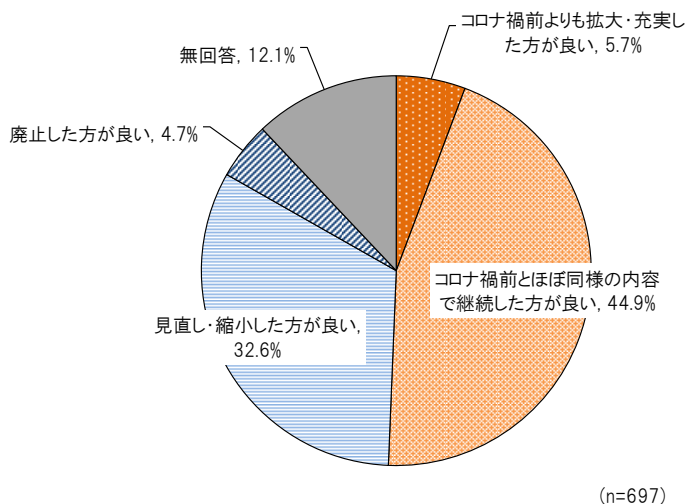
図表 1-43 コロナ禍の状況を踏まえ、活動・行事等を今後どうしていきべきか



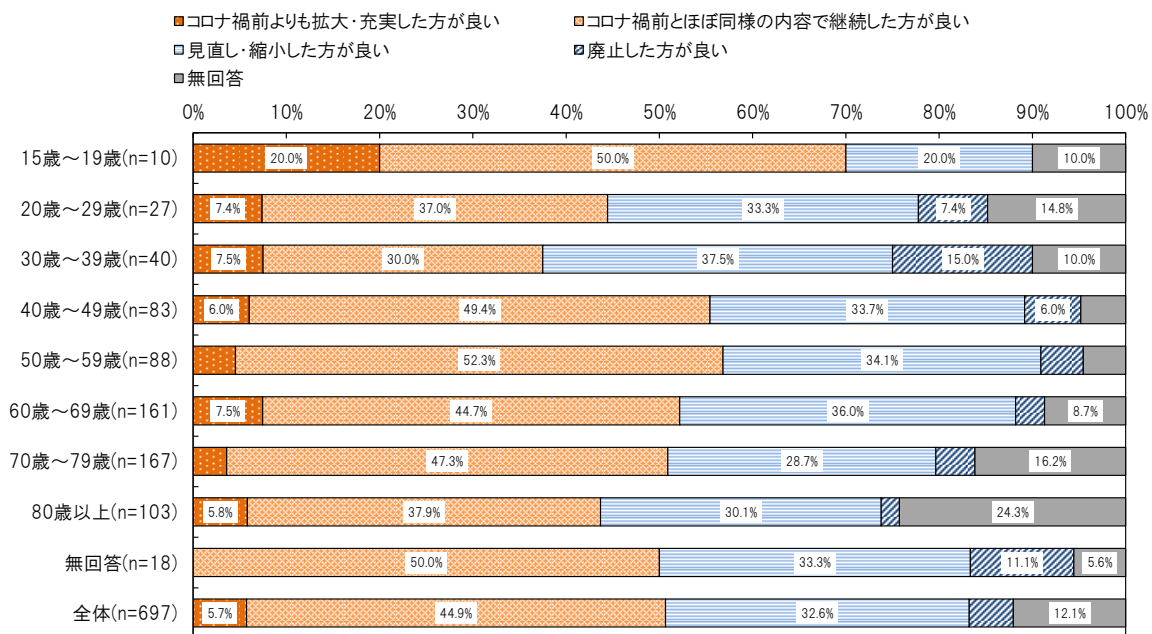
① 有志が少人数で集まり実施する行事やサークル活動

- 「コロナ禍前よりも拡大・充実した方が良い」と「コロナ禍前とほぼ同様の内容で継続した方が良い」を合わせた前向きな回答割合が半数程度（50.6%）を占め、「見直し・縮小した方が良い」と「廃止した方が良い」を合わせた後ろ向きな回答割合（37.3%）を13.3ポイント上回った。
- 年代別に見ると、前向きな回答割合は10代、50代、40代で高い一方で、30代は後ろ向きな回答割合（52.5%）が前向きな回答割合（37.5%）を上回った。

図表 1-44 有志が少人数で集まり実施する行事やサークル活動について



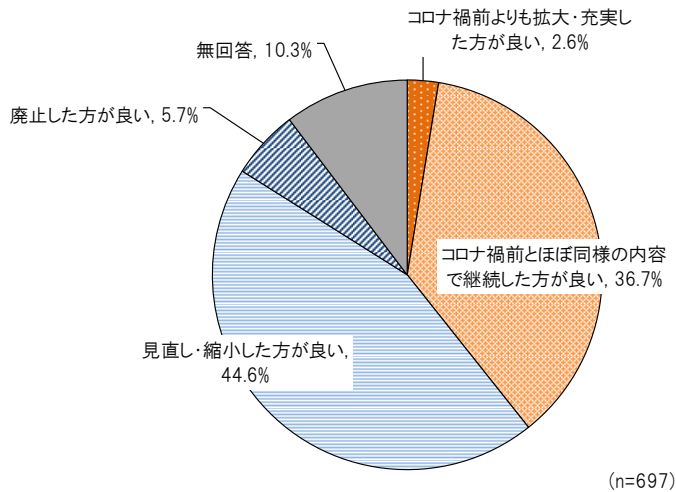
図表 1-45 有志が少人数で集まり実施する行事やサークル活動について（年齢階級別）



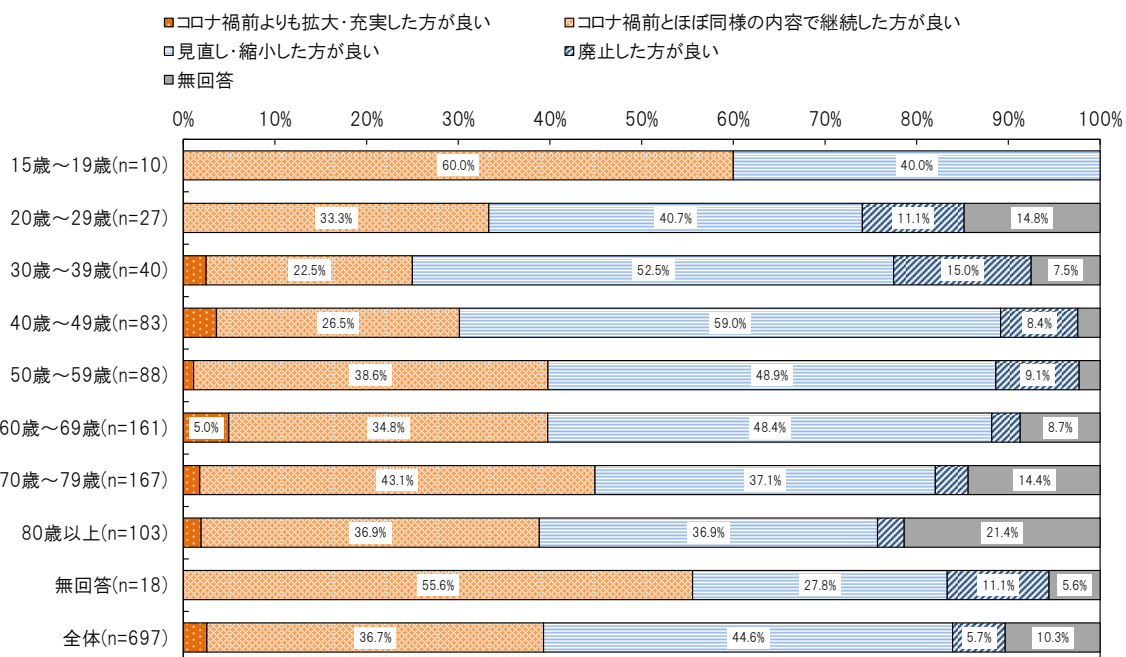
② 集落単位で実施する行事・イベント

- 「廃止の方が良い」と「見直し・縮小の方が良い」を合わせた後ろ向きの回答割合が半数程度（50.3%）を占め、「コロナ禍前よりも拡大・充実の方が良い」と「コロナ禍前とほぼ同様の内容で継続の方が良い」を合わせた前向きな回答割合（39.3%）を11.0ポイント上回った。
- 年代別に見ると、10代と70代を除いた全ての年代で、後ろ向きの回答割合が前向きな回答割合を上回った。特に、30代、40代ではその傾向が顕著であり、それぞれ42.5ポイント、37.3ポイント上回った。

図表 1-46 集落単位で実施する行事・イベントについて



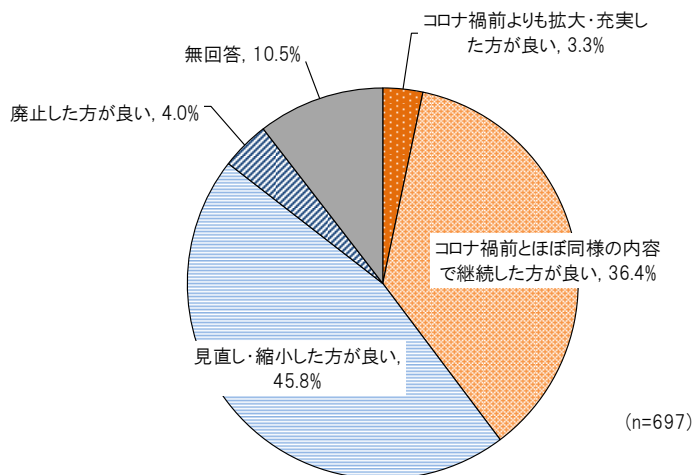
図表 1-47 集落単位で実施する行事・イベントについて（年齢階級別）



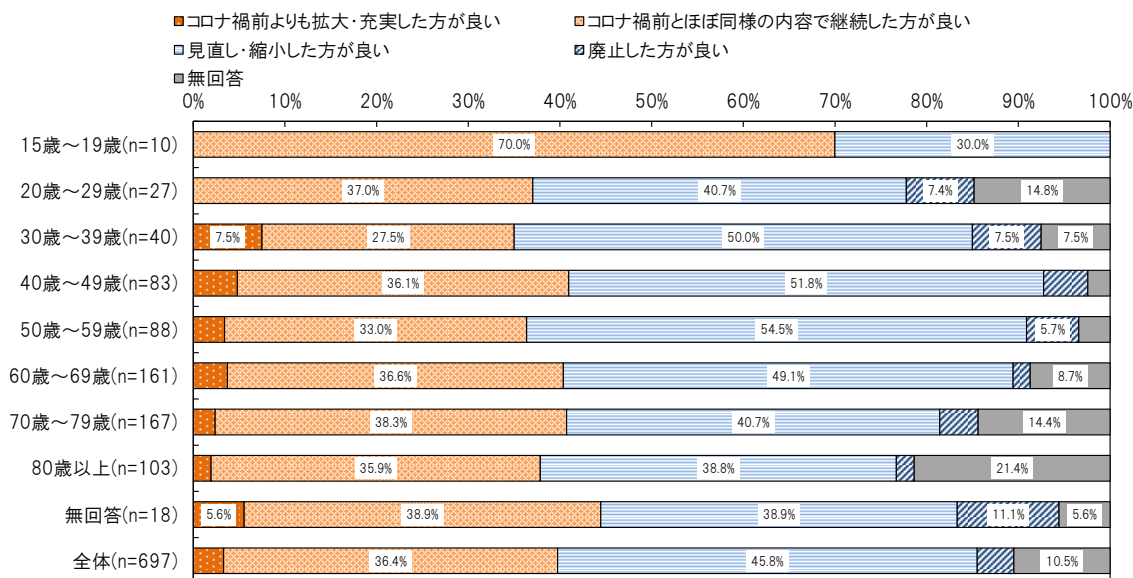
③ 村が村民向けに実施する行事・イベント

- 「廃止した方が良い」と「見直し・縮小した方が良い」を合わせた後ろ向きの回答割合が半数程度（49.8%）を占め、「コロナ禍前よりも拡大・充実した方が良い」と「コロナ禍前とほぼ同様の内容で継続した方が良い」を合わせた前向きな回答割合（39.7%）を10.1ポイント上回った。
- 年代別に見ると、10代を除く全ての年代で、後ろ向きの回答割合が前向きな回答割合を上回った。特に、50代、30代ではその傾向が顕著であり、それぞれ23.9ポイント、22.5ポイント上回った。

図表 1-48 村が村民向けに実施する行事・イベントについて



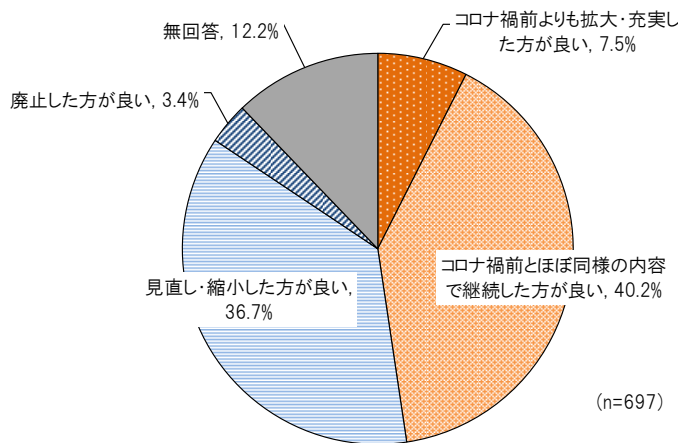
図表 1-49 村が村民向けに実施する行事・イベントについて（年齢階級別）



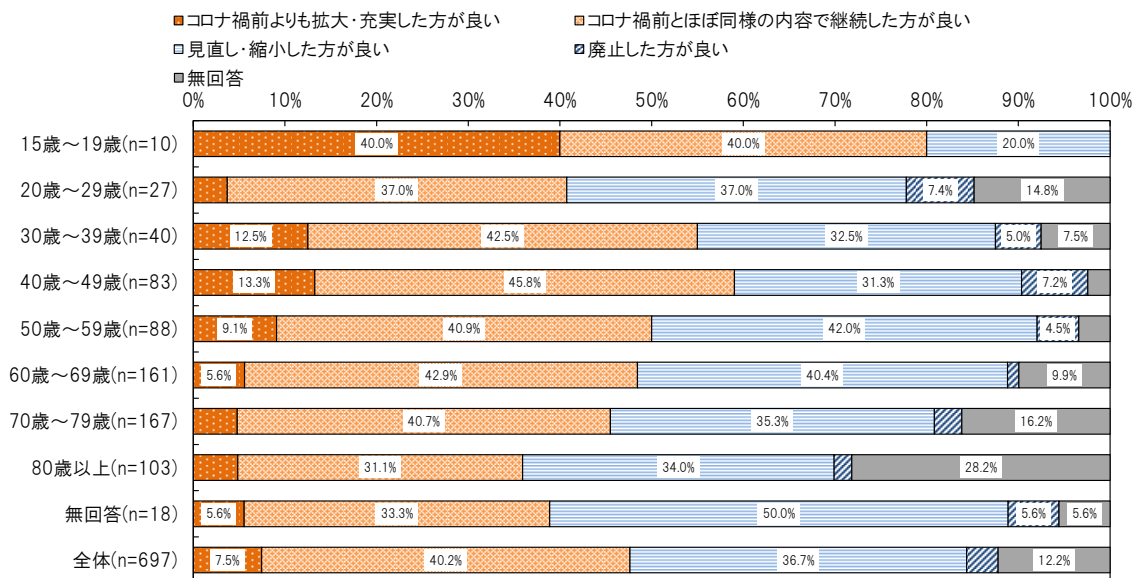
④ 村が対象者を限定せずに実施する行事・イベント

- 「コロナ禍前よりも拡大・充実した方が良い」と「コロナ禍前とほぼ同様の内容で継続した方が良い」を合わせた前向きな回答割合が半数程度（47.7%）を占め、「見直し・縮小した方が良い」と「廃止した方が良い」を合わせた後ろ向きな回答割合（40.1%）を7.6ポイント上回った。
- 年代別に見ると、前向きな回答割合は、特に10代、30代、40代で高く、それぞれ後ろ向きな回答割合を60.0ポイント、17.5ポイント、20.5ポイント上回った。一方、20代では、後ろ向きな回答割合が前向きな回答割合を若干（3.7ポイント）上回った。

図表 1-50 村が対象者を限定せずに実施する行事・イベントについて



図表 1-51 村が対象者を限定せずに実施する行事・イベントについて（年齢階級別）



(2) コロナ禍により縮小・中止した活動や行事、イベントは、将来に向けてどのような形にしていくことが理想か

【主な意見（抜粋）】

○コロナ禍前よりも拡大・充実した方が良いとする意見

- ・地域の人がもっと協力していけるような活動を増やす。
- ・集落、村行事に関わらず、参加する人は大体決まっている（出る人は出るし、出ない人は出ない）。今までどおりではなにもかわらない。イベントをするのであれば、子供が楽しめるものを増やしたらいいのでは。
- ・個人やグループの自由意志で参加できるものは継続したり新設してほしい。しかし半強制的に参加させるような行事はなくしていきたい。集落単位の強制参加はとてむずかしくなっていくと思われる。

○コロナ禍前とほぼ同様の内容で継続した方が良いとする意見

- ・コロナ禍の生活も長くなりイベント、行事の縮小、中止にも慣れてしまっているが、全てがこのままではつまらなくなってしまうので元に戻していくのがよい。但し、将来となると人口減少、少子高齢化の可能性が多いにあるので村民の負担が大きくなるようなものは中止すべき。
- ・特にお祭りは村の素晴らしい伝統行事であり、1度とだえてしまうと復活させるのはとても難しいと思います。With コロナの時代、1人1人が対策をした上で実施するべきだと思います。子ども達にも伝統を知ってってもらいたいし、親同士もそういった行事でつながれると思う。
- ・コロナになるのが心配だから中止するなどの考えはもう古いです。ウィズコロナで共存していくしかないと思います。
- ・継続するべきだと思います。子供たちのためにも、木島平村で友だちとの思い出を作ってもらい、1度村外に出ても木島平村に帰りたいな。と思えるような楽しいイベント、行事は大切だと思います。
- ・一度縮小・中止した活動・行事・イベントの復活は非常に難しく、時間もかかります。しかし徐々に、無理の無い様行事・イベントの復活を願い継続を願います。特に村民運動会・村民祭の大行事の村の灯は絶対に消さないでほしい。趣味・運動他各々の活動クラブも村の活性化につながります。ぜひ明るい村、地域の活性化望むばかりの1村民。
- ・災害時に隣近所の人達と協力して生活していくには、日頃からのコミュニケーションが大事だと思う。地域の活動や、イベントは単なる行事ではなく、親しくなる為のツールだと思うので、“面倒くさい”で片付けずに、続けていく方法を見つけてほしい（イヤ!!見つけたい）

○見直し・検討が必要とする意見

- ・それぞれの活動、行事の意義を見直して、存続する価値のあるものは、持続、発展させていけばよいと思う。
- ・コロナ禍で中止となっている行事等は、見直し機会になっていると思うので、これを機に見直し等をして、必要なもの、不必要なものに分類してみてもいい。全てが不必要ではなく、必ず必要なもの、必要としている人もいると思うので、全て不必要としてしまわないようにしないとダメだと思います。
- ・仕事により土曜日、日曜日に休みをとりづらい職業の人もいます。ほぼ行事ごとは土曜、日曜に行われる事が多くあり地域行事に参加しなくてはいけないために休日をとらなくてはいけない

人は会社に心苦しく思いながら出席している者もいます。そういう人は参加しなくてもいいような体制になるよう希望します。

- ・伝統の継承として意味があることは再開することを検討してほしいです。もちろん従来から負担を減らし、より効率的に行えることがベストであり、一度中止ないし縮小したことによって、方法を変える機会には良いと思います。今後どうすべきか、これまで伝統をつないできた人や今後承継する人の議論が必要です。

○縮小・廃止した方が良くとする意見

- ・「まず行事ありき」という発想ではなく、本当に村民一人一人にとって必要かを検討するよい機会だと思います。核になる団体が弱体化しつつある今、行事は精選せざるを得ないでしょう。
- ・集落単位での草刈りやそうじでコミュニケーション的には充分。必要な事のみしていれば良い。むしろ年間でかなりの休日の時間、労力を提供しているのに無償なおかしい。
- ・そもそも共同作業や行事、役、イベント協力など忙しく感じていた。コロナ禍の縮小、中止でゆとりを感じる事ができた。田舎ぐらしで、ゆとりがないのはいかがなものか？移住者にも地域になじんでもらうには活動、行事、役など考え直したほうが良いのではないか？
- ・消防の操法大会はやめて、地区単位で初期消火できる訓練を実施した方がよいと思う。消火栓の使い方を覚えた方がよいと思う。
- ・人を集めなくても書面会議で決められる会合はなくす。

○その他

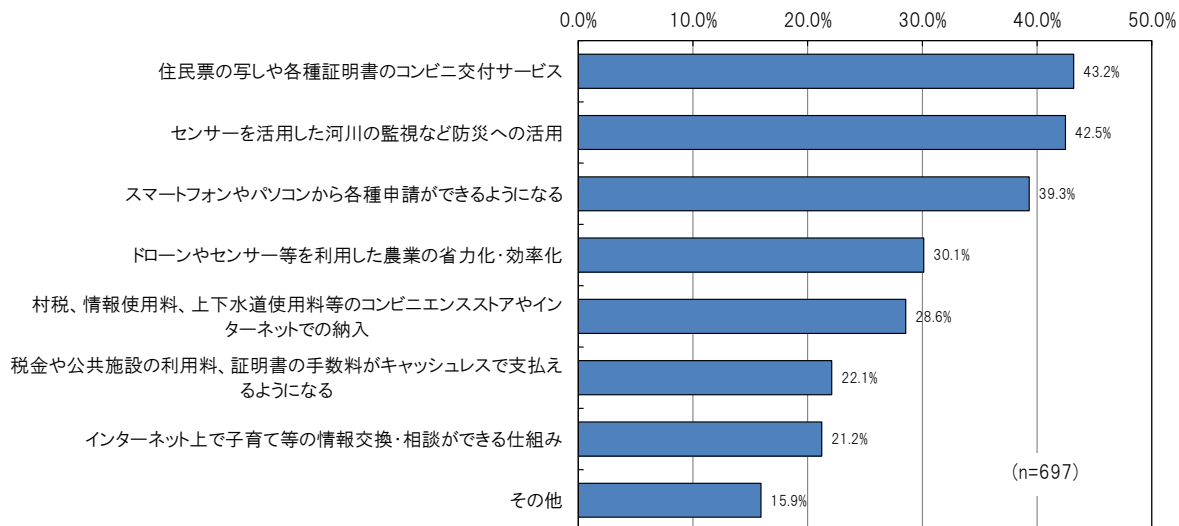
- ・コロナが落ち着くまでは心配が多い為どのような行事も出席出来ないと思う。
- ・コロナを言い訳にしている人、団体、組織が最近増えている様に思います。
- ・コロナ対策をそろそろ見直したら如何ですか。これでは地域活動もほとんどなくなり、コロナ過前に戻すことが時間がたてばたつほど難しくなる、いつまでこの政策を続けるのですかうんざりです。
- ・全村民にアンケートをとってその要望に合った形で実施してほしい
- ・木島平村が木島平村として大切にしたいのはどういうことなのかを村全体で再確認した上で適切に取捨選択をして持続可能な形を探るのが理想。

問7 村のデジタル化の進め方について

(1) 今後、村にデジタル化を進めてほしい分野

- 今後デジタル化を進めて欲しい分野については、「住民票の写しや各種証明書のコンビニ交付サービス」が43.2%と最も多く、次いで「センサーを活用した河川の監視など防災への活用」、「スマートフォンやパソコンから各種申請ができるようになる」が続く。
- 年代別に見ると、20代～40代では「スマートフォンやパソコンから各種申請ができるようになる」の回答割合が最も高い結果となった。

図表 1-52 今後、村にデジタル化を進めてほしい分野



図表 1-53 今後、村にデジタル化を進めてほしい分野（年齢階級別）

	15歳～19歳 (n=10)	20歳～29歳 (n=27)	30歳～39歳 (n=40)	40歳～49歳 (n=83)	50歳～59歳 (n=88)	60歳～69歳 (n=161)	70歳～79歳 (n=167)	80歳以上 (n=103)	無回答 (n=18)	総計(n=697)
住民票の写しや各種証明書のコンビニ交付サービス	30.0%	48.1%	57.5%	69.9%	52.3%	40.4%	34.1%	29.1%	33.3%	43.2%
センサーを活用した河川の監視など防災への活用	50.0%	37.0%	60.0%	57.8%	46.6%	42.9%	34.7%	35.0%	27.8%	42.5%
スマートフォンやパソコンから各種申請ができるようになる	40.0%	55.6%	60.0%	74.7%	59.1%	34.8%	26.3%	11.7%	27.8%	39.3%
ドローンやセンサー等を利用した農業の省力化・効率化	30.0%	25.9%	42.5%	44.6%	42.0%	29.8%	23.4%	20.4%	5.6%	30.1%
村税、情報使用料、上下水道使用料等のコンビニエンスストアやインターネットでの納入	30.0%	25.9%	60.0%	57.8%	40.9%	24.2%	15.0%	11.7%	27.8%	28.6%
税金や公共施設の利用料、証明書の手数料がキャッシュレスで支払えるようになる	10.0%	33.3%	42.5%	47.0%	29.5%	19.9%	10.2%	12.6%	0.0%	22.1%
インターネット上で子育て等の情報交換・相談ができる仕組み	60.0%	29.6%	47.5%	42.2%	25.0%	18.6%	11.4%	8.7%	0.0%	21.2%
その他	10.0%	22.2%	40.0%	37.3%	21.6%	12.4%	7.2%	5.8%	0.0%	15.9%

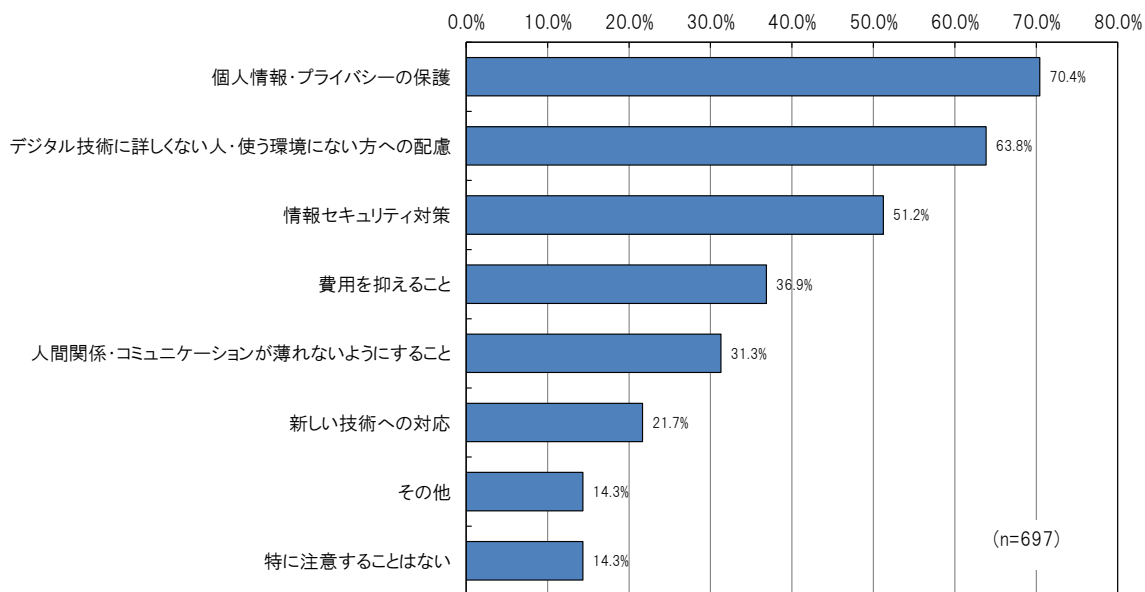
「その他」の主な意見

- ・ インターネット環境の高速化
- ・ デジタル化を進める前に村民が理解出来る勉強会が必要だと思う
- ・ 老人にもわかる様にしてほしい
- ・ 集落の「回覧板」のデジタル化
- ・ 道路の修繕要望等を googlemap を利用したシステムの構築、運用
- ・ 平日に役場に行かなくて良い仕組み
- ・ 個人情報の漏洩が問題だ。セキュリティ対策 など

(2) 今後、村がデジタル化を進めるにあたって注意すべき点

- 今後デジタル化を進めるにあたって注意すべき点については、「個人情報・プライバシーの保護」が70.4%と最も多く、次いで「デジタル技術に詳しくない人・使う環境にない方への配慮」、「情報セキュリティ対策」が続く。
- 年代別に見ると、いずれの年代においても「個人情報・プライバシーの保護」の回答割合が最も高い。また「人間関係・コミュニケーションが薄れないようにすること」は、10代、30代、40代で他の年代よりも回答割合が比較的高い結果となった。

図表 1-54 今後、村がデジタル化を進めるにあたって注意すべき点



図表 1-55 今後、村がデジタル化を進めるにあたって注意すべき点（年齢階級別）

	15歳～19歳 (n=10)	20歳～29歳 (n=27)	30歳～39歳 (n=40)	40歳～49歳 (n=83)	50歳～59歳 (n=88)	60歳～69歳 (n=161)	70歳～79歳 (n=167)	80歳以上 (n=103)	無回答 (n=18)	総計(n=697)
個人情報・プライバシーの保護	80.0%	70.4%	82.5%	84.3%	78.4%	73.3%	64.7%	53.4%	61.1%	70.4%
デジタル技術に詳しくない人・使う環境にない方への配慮	80.0%	55.6%	70.0%	81.9%	67.0%	70.2%	62.3%	39.8%	50.0%	63.8%
情報セキュリティ対策	60.0%	63.0%	70.0%	78.3%	61.4%	59.0%	37.7%	21.4%	38.9%	51.2%
費用を抑えること	10.0%	29.6%	52.5%	53.0%	45.5%	42.2%	26.3%	23.3%	38.9%	36.9%
人間関係・コミュニケーションが薄れないようにすること	60.0%	25.9%	45.0%	49.4%	33.0%	22.4%	26.3%	33.0%	16.7%	31.3%
新しい技術への対応	20.0%	33.3%	40.0%	43.4%	27.3%	16.1%	15.0%	12.6%	0.0%	21.7%
その他	10.0%	18.5%	40.0%	38.6%	23.9%	10.6%	3.0%	1.9%	5.6%	14.3%
特に注意することはない	10.0%	18.5%	35.0%	38.6%	21.6%	10.6%	4.2%	4.9%	0.0%	14.3%

「その他」の主な意見

- ・ デジタル化して何をしたいのかビジョンを定めること
- ・ 使い易いシステムであること（多すぎる入力項目、古いシステム、過度なセキュリティなどはNG）
- ・ 木島平村に適したデジタル化の推進ができるよう費用をかけてでも専門人材を配置・外部人材登用すること。
- ・ コンビニ扱いだと情報漏れにならないか？
- ・ ペーパーの選択肢も無くさないように。 など

問8 これからの村づくりについて (自由記述)

【主な意見 (抜粋)】

I 子育てと教育の村づくり

- ・子育てや親子に対しての何らかの支援が手厚いと有難いです。
- ・若い人たちが安心して子供を産んで育てられる村づくり。明石市の子育て支援を参考にする。
- ・子供が村に残りたいと思えるような環境を充実させてもらいたいです。
- ・育児、子育てに支援すべき。子育てが充実すれば若者は集まる。
- ・学童保育等の充実(土日祝、夜間一時預かり)
- ・少子化対策として保育園を更に充実させるため、非正規職員を正規職員にして、保育士の待遇改善を図ることが、保育士の意欲を高めて、質の高い保育の維持には必要なことと思います。

II 暮らしやすさが実感できる村づくり

- ・交通の件について大変不便を感じている者です。特に高校通学者のいる家庭での悩みですが(中野方面)飯山駅へ行くシャトル便を木島駅へも参る便をもうけてもらいたいです。(朝、夕の便だけでも)助かります。
- ・赤線道路の保守管理を進めてほしい
- ・除雪の充実、克雪住宅の建替助成、も焼きの徹底排除、取締強化。
- ・雪に対する公共設備(主に道路)や個人宅へのケアはもっと充実させてほしい(雪が辛くて村を出た人の話を耳にします)です。生活インフラに関わる事業者を村で紹介してほしい(「顔見知り」で商売をされている事業者が多く、新参者には対応してくれないことが多く困っている)
- ・屋外スピーカーが良く聞こえない…何を言っているか聞きとりにくい。
- ・「ファームス木島平」の活用方法をもう一度検討して頂きたい。本当に必要なのか?他の地区の道の駅を参考にして運用してほしい。公共事業や建物の廃止を検討している様だが考え直してほしいと思う。

III 誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり

- ・運転免許証の返納がしやすいよう有料でも良いので、買い物、通院用の送り迎え(ドア to ドア)があったらと思います。サ高住(低価格の)、自立の人用のグループホームのような施設があったら不安がないかも…子育ても大切ですが、お年寄りも大切と思います。
- ・高齢者の健康寿命を延ばす取り組みが必要
- ・情報教育が必要です、特に高齢者にとって現状で必要性がなければ広がっていかないしもし実施する場合でも簡単にできるようなインターフェイスと教育は大事です。
- ・一家に一台、ご用ききネットタブレット。高齢者も使いやすいタッチパネルで行政サービス、買い物、困りごと、全て対応できるサービスを導入してほしいです。感染症対策をしながら、住民がつながり、意見交換出来る場を設けて下さい。かつての村づくり集会のような。

IV 農を基軸とした交流の村づくり

- ・デジタル化できない人にもわかりやすく安心して過ごせるようにしておいてほしい
- ・対面での交流が老人も若人も男も女も非常に大事、住みやすい村は便利が良いだけではない。デジタル化が全てではないように思う。
- ・若者が流出しない、若者が集う村等の施策が必要。又観光と農業を主体とする村作りが必要だと思ふ。現においては観光・農業に力を注力していると思われぬ。村全体で活力を生む活動・企画に期待する。
- ・道の駅の活用に問題があると思ふ。空いている土地があるのだからサウナ施設とかやって活用すべきだと思ふ。施設とかいっても大げさな建物を建てるといっている訳じゃなく置くだけの簡単な作りのサウナ施設があるからそれを置いて水風呂も作れば最高だと思ふ。まずは話題にのるような事をすべきだと思ふ。ほんともったいない施設です。自分ならぜったい黒字にする自身がある。

V 農村の環境を生かした村づくり

- ・お米(づくり)がアイデンティティのような地域なのでもっとPRしたい。「#木島平米」で村民の食卓や農家、観光客等に発信を促すとか、村内でおむすびが食べられる処を増やすとか。一部の人だけが関わっている/知っているの状況から、もっと広い範囲で共有できる村になったらいいなと思ふ。(地区活動、消防団など)「誰かが何とかしてくれないかな」「こうなったらいいのに」という村民の口グセを「こうなるためには〇〇をしてみようか」に出来るよう成功体験が重ねられたらいいなと思ふ。地域おこし協力隊の活動が分からない/何かをしてくれる人材と思ふ村民が多いので、「貴重な人材」としてもっと定着に向け地域ぐるみで歓迎し(ルクセンブルク交流時も同じく)それをひいては村民の誇りとしていけるといい。
- ・田畑をもっているも手入れが困難で困っている。荒れ地になる現状。畑を無料でもいいので管理、借りてくれる人がいれば助かるのですが、村として支援できないでしょうか?

VI 人と地球にやさしい村づくり

- ・将来も今と同じ様に住みやすい環境であつたら嬉しいです。自然、水、空気、人が豊かな木島平村が大好きです。
- ・村営住宅を新たに建設するのも良いですが、空き家や相続する事が負担になっている住宅が沢山あるように感じます。そう言う方々から村が譲り受け(譲った方は固定資産税の負担が無くなる)解体・リフォームし、村営住宅として貸し出し、掛かった費用を家賃とし分割払いで払って貰う。費用を払い終わるまで住み続けて貰えたら その方に譲渡(持ち主として固定資産税を発生させる)ようにし、子育て世代しか住めない・低所得者しか住めない と言った資格を設定しないで募集すれば、空き家も減り 親と別所帯で住みたいと考えている若い世代も費用負担が少なく家が持てるかも?!と離村率が減る可能性も…年齢・所得に関係無く、移住を考えて下さる方も出てくるのではないのでしょうか。
- ・ゴミの出し方について、放送やTV等々で伝えてほしい。分別を日頃から行っている身としては、燃えない物や古着など別の日に回収すべき物を分別せずに出しているのを見かけます。処理するにも税金がかかっている事、真面目に取り組んでいる身としては、切ない。高齢者の方は、たぶん分別が分からない方もいると思ふますが、お金がかかっている事、将来的には大事だという事を伝えてほしいです。

VII 文化が薫るいきいきとした村づくり

- ・移住促進や観光支援においては、他市町村と同じことをしていたのでは成果がうすい、または費用がかかるとおられます。他にない独自の取り組みを行うことが必要ではないでしょうか。木島平の空気・水・景色・音・祭り等の地域活動、人の温かさなど全てがすばらしいと思っています。これらを失うことのないように持続していけたら良いと思います。

VIII 活力いっぱいの集落・村づくり

- ・自分のできることで村づくりに参画したいと思っています。ゆるやかな情報交換のできる機会、実践者の話を聞きながらおしゃべりできる場等、趣味の会等、～の会（区長会終了、民生委員、交通安全の会）、その後活動が継続できるよう、村の事務局からはたらきかけをしたらどうでしょう。
- ・ここ数年何もかも縮小で村に活気が無くなりました。村づくりへの情熱も感じられません。昔みんなの村づくり集会に参加しました。皆生き活きして将来の夢や考えを語り合っていました。コロナでもそういう話し合える場は必要です。

IX ふれあいと交流ができる村づくり

- ・村民運動会は廃止してほしい。花壇の管理は村でやるべき。

X 若者のアイデアを生かした村づくり

- ・若い人達が住みやすい、住みたい村作りをしていただきたい。
- ・村に住むことの魅力は何だろう。年をとる度に、村に住んでいたいと思うようになった。若い人達をひきとめようとは思わないが、若い人たちがいないと困る事が多い。若い人たちが、この村に魅力を感じ、楽しいと思える村のくらしが広がって欲しい。そのための支援をして欲しい。とかく村のくらしは、制約が多い。(村人の価値観が固定しがち)
- ・農林高校の存続希望。

○ その他

- ・特にそれ程の観光施設もなし、資源も少なく村を存続して行くにはたいへんと思います。村のためにはやはり人材育成にあると思います(人材活用)。村には素晴らしい能力のある人材もたくさんいらっしゃると思いますが、それが生きていないように思います。まだまだ村に役立つ人の活躍が必要です。うもれている人材の活用を希望しています。
- ・役場の職員・並びに幹部職員に村の中にだけに目を向けるのではなく・県外・県外に目を向ける。休みの時は県外に出る外に町の雰囲気つかむ・外に出る・外に出るそうすることにより村だけでよかったことが新しい考えになる・村の中の用事があるときに・県外に行く用事ができたとき・県外のお客様が来た時には用事があるからと断るのでなく。村の中の用事いつでもできる、県外の用事を優先する・県外の用事優先。池の中の蛙でなく・外に出る・外に出る
- ・アンケート調査について、課題・現状・成果の参考資料があれば今後の重要度等回答が明確にできたかと。
- ・時代の流れに合った振興計画の作成が必要だと思います。調質内容が10年前と変わっていない気がします。斬新な計画を希望します。

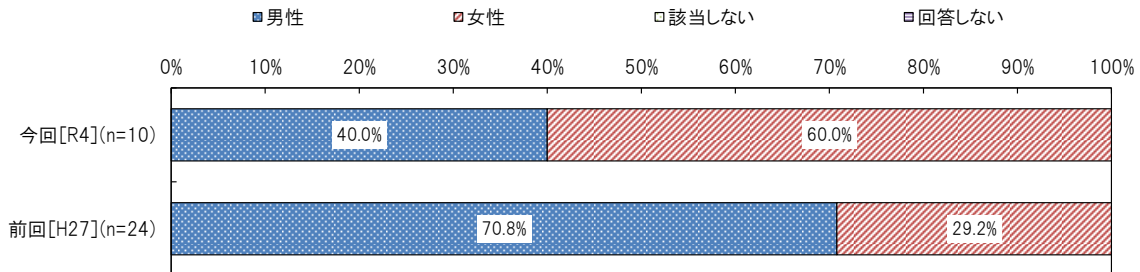
2. 木島平村から転出された方へのアンケート調査

問1 回答者の属性

○ 回答者の性別、年代、職業等の属性情報については、以下のとおり。

(1) 性別

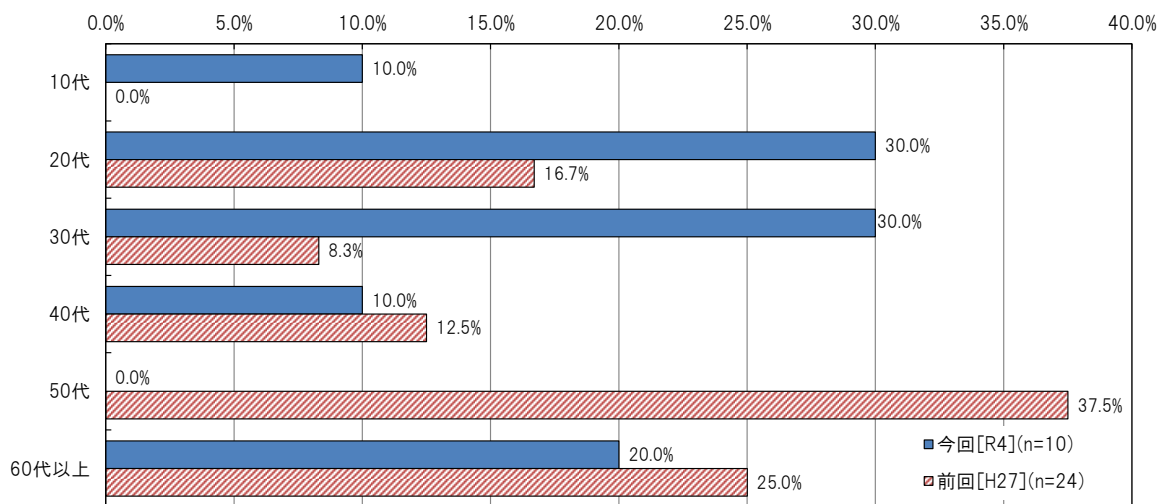
図表 2-1 性別



(注)R4年度は「該当しない」および「回答しない」を追加

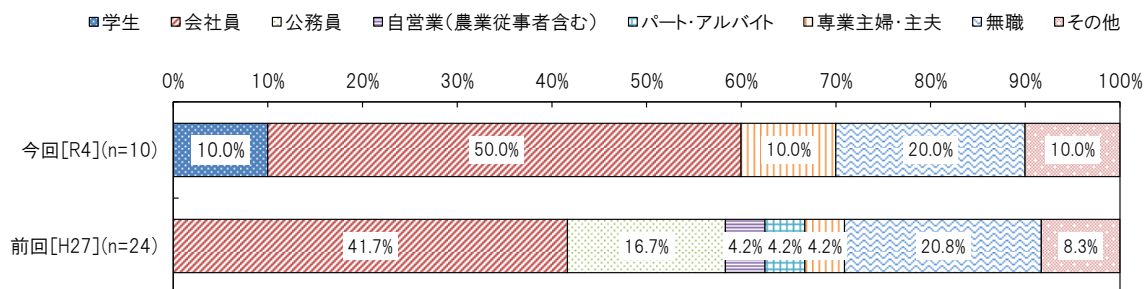
(2) 年代

図表 2-2 年代



(3) ご職業

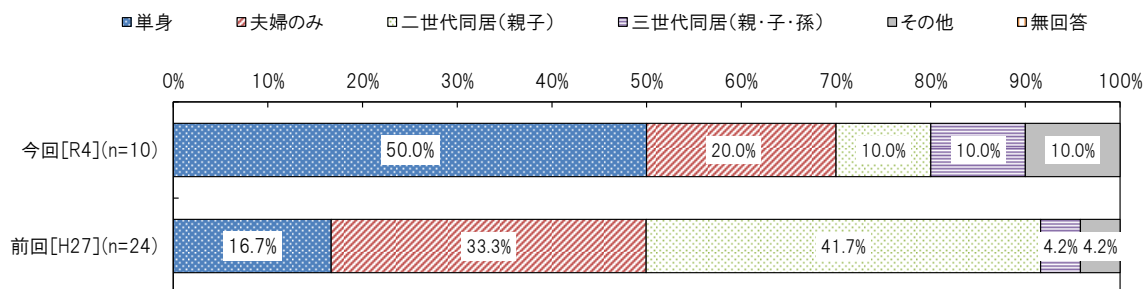
図表 2-3 職業



(注)「自営業(農業従事者含む)」について、平成27年調査では「自営業」「農業」として訊いた(「農業」の回答は無し)

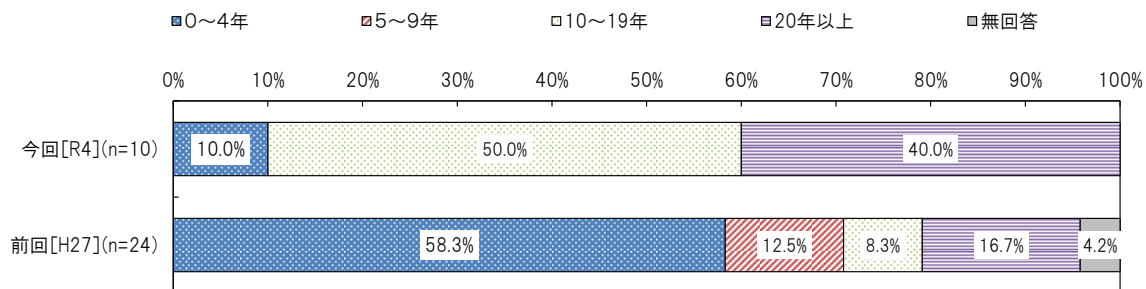
(4) 現在（木島平村から転出後）の家族構成

図表 2-4 現在（木島平村から転出後）の家族構成



(5) 木島平村での居住年数

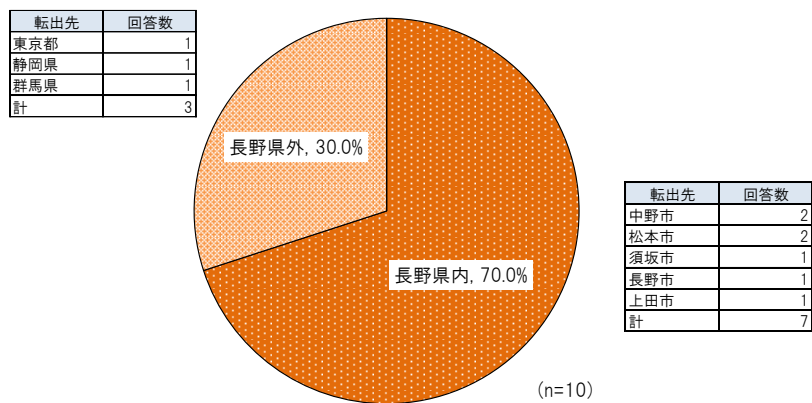
図表 2-5 木島平村での居住年数



問2 木島平村から転出後の居住地について

○ 木島平村から転出後の現在の居住地については、県内が7割、県外が3割という結果であった。

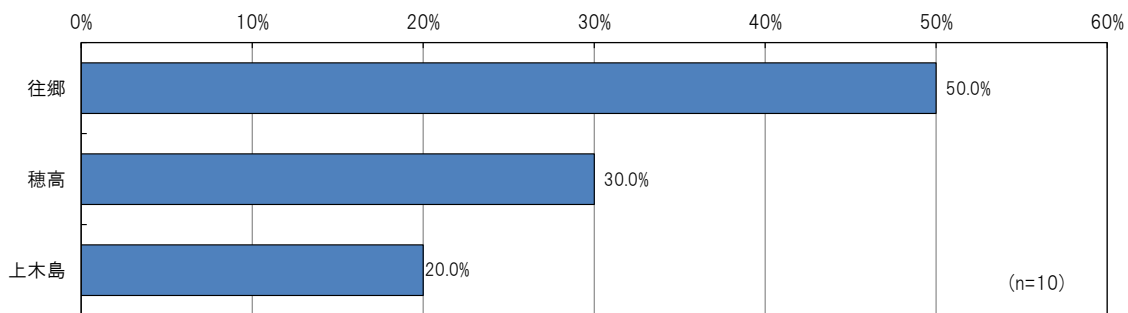
図表 2-6 現在（木島平村から転出後）の居住地



問3 転出前の木島平村での居住地区

○ 転出前の木島平村での居住地区については、図表 2-7 のとおり。

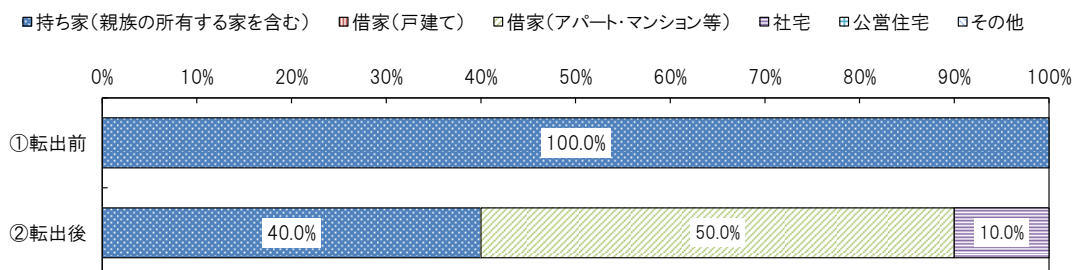
図表 2-7 木島平村での居住地区（転出前）



問4 転出前後のお住まいについて

- 転出前の住まいについては、回答者全員が「持ち家（親族の所有する家を含む）」であった。
- 転出後の住まいについては、半数が「借家（アパート・マンション等）」であった。

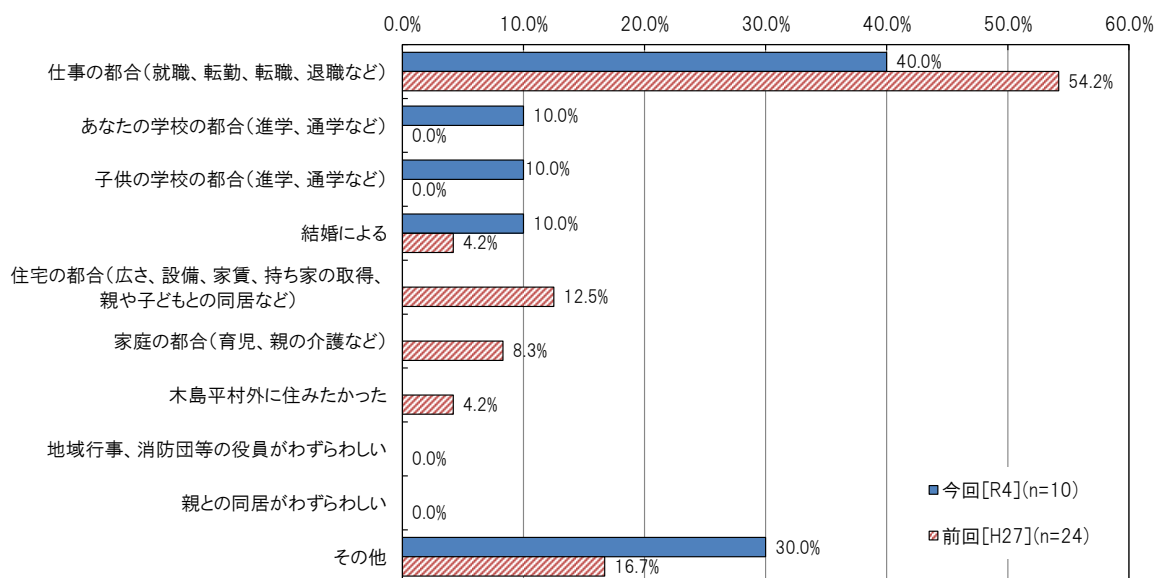
図表 2-8 転出前後の住まい



問5 転居することになった最も大きな理由について

- 転居することになった最も大きな理由については、「仕事の都合」が4割と最も多い。

図表 2-9 転居することになった最も大きな理由



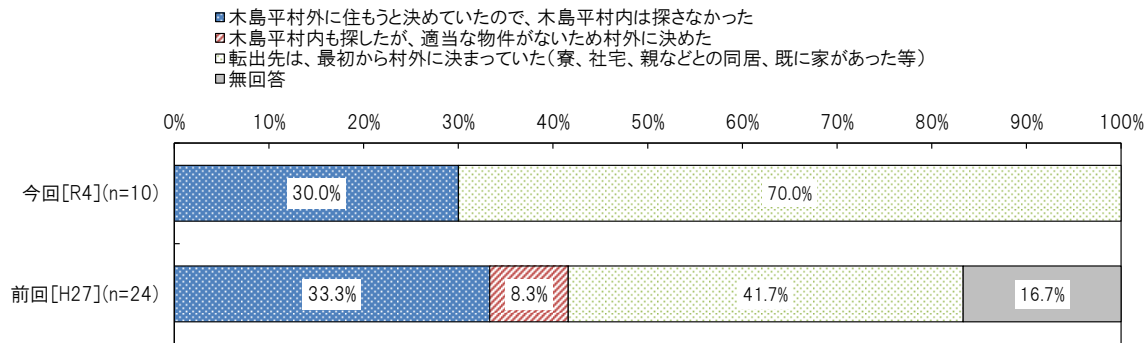
「その他」の内容

- ・ 子供は都会に就職したり他市へ嫁いだりし、一人暮らしになってしまったため。
- ・ 自分の介護をしてもらうため。

問6 転出するにあたり木島平村内でもお住まいを探しましたか

○ 転出するにあたり木島平村内でも住まいを探したかどうかについては、7割が「転出先は、最初から村外に決まっていた」と回答した。

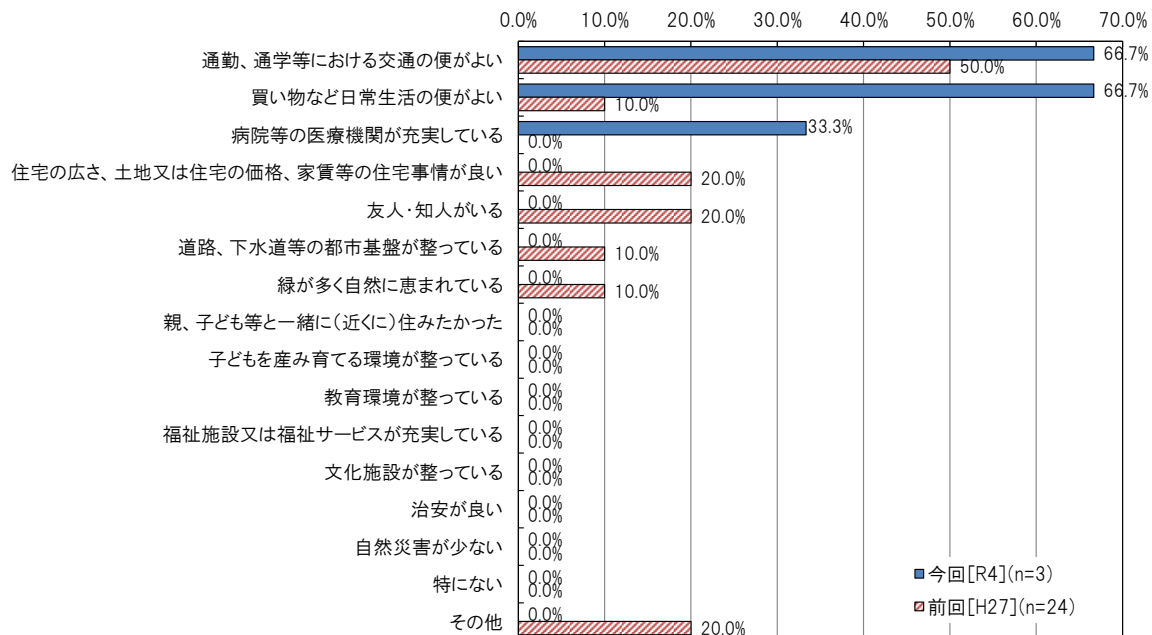
図表 2-10 転出するにあたり木島平村内でも住まいを探したか



(1) 【問6で「木島平村外に住もうと決めていたので、木島平村内は探さなかった」または「木島平村内も探したが、適当な物件がないため村外に決めた」を回答した方】 転出先を選んだ理由

○ 通勤・通学や、買い物など日常生活の便の良さなどの、交通や生活の利便性等に関する回答が得られた。

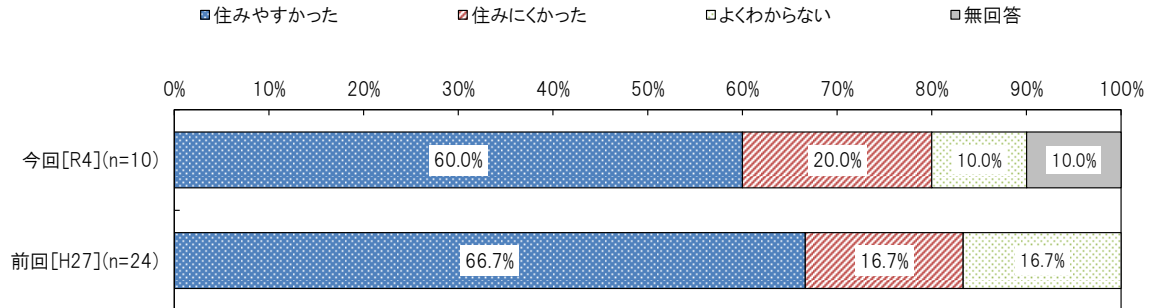
図表 2-11 【問6で「木島平村外に住もうと決めていたので、木島平村内は探さなかった」または「木島平村内も探したが、適当な物件がないため村外に決めた」を回答した方を対象】 転出先を選んだ理由



問7 木島平村は住みやすかったですか

○ 木島平村は住みやすかったかどうかについては、6割が「住みやすかった」と回答した。

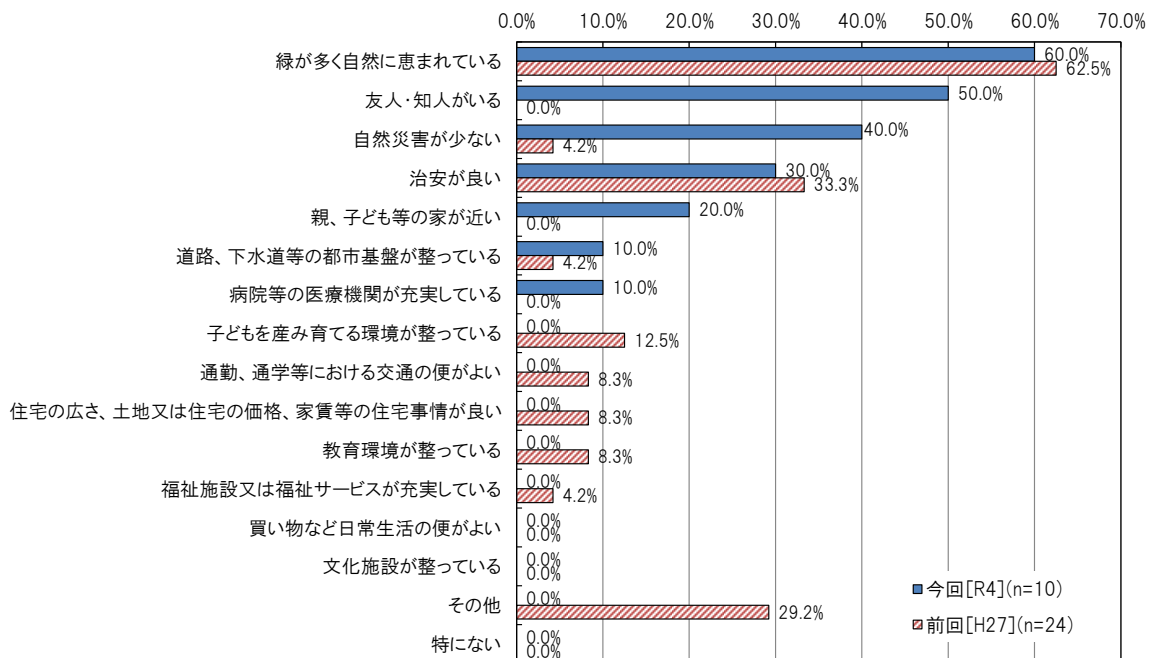
図表 2-12 木島平村は住みやすかったか



問8 木島平村が「住みやすかった」点

- 木島平村が「住みやすかった」点については、「緑が多く自然に恵まれている」が6割と最も高く、次いで「友人・知人がいる」、「自然災害が少ない」が続く。
- 自然環境の良さについては、前回調査に続いて高い結果となった。

図表 2-13 木島平村が「住みやすかった」点

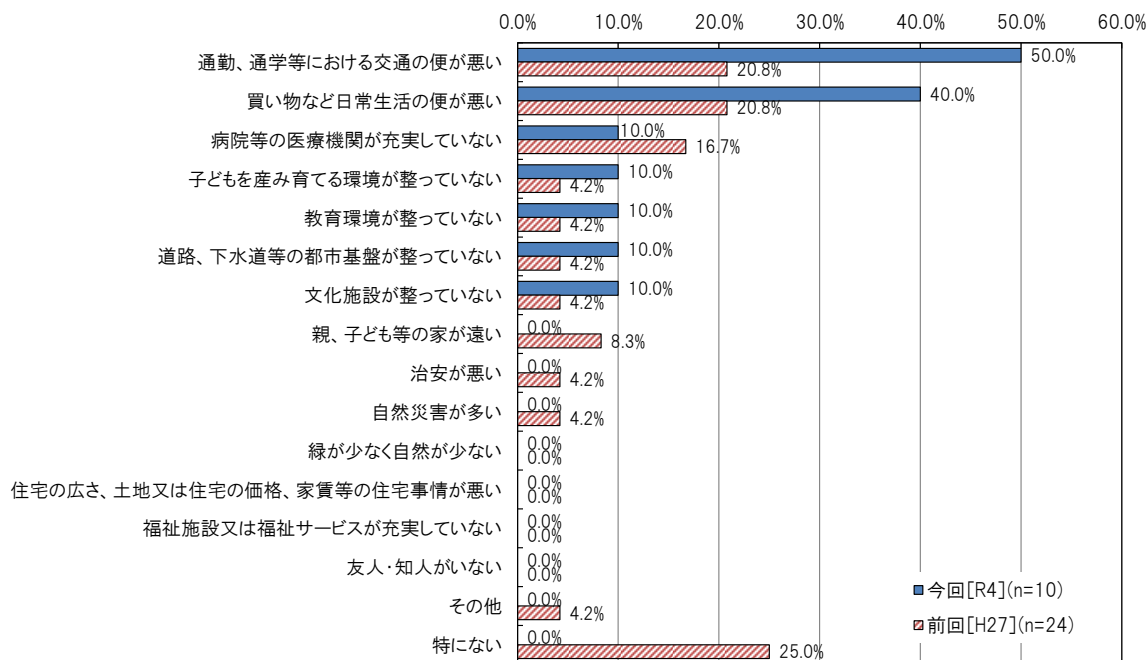


(注)「友人・知人がいる」は、平成27年調査では回答項目として設けていなかったため、回答割合が0%となっている。

問9 木島平村が「住みにくかった」点

- 木島平村が「住みにくかった」点については、「通勤、通学等における交通の便が悪い」が半数と最も高く、次いで「買い物など日常生活の便が悪い」となった。
- 「住みにくかった」点として、交通や生活の利便性等に関する回答が多い結果となった。

図表 2-14 木島平村が「住みにくかった」点



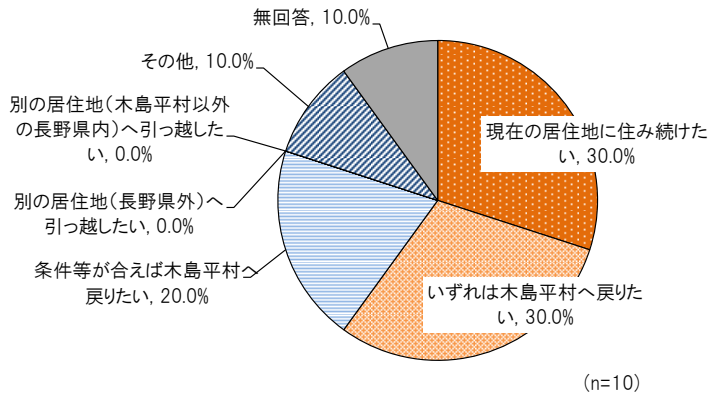
(注)「友人・知人がいない」は、平成27年調査では回答項目として設けていなかったため、回答割合が0%となっている。

問 10 今後の居住地について、どのようにお考えですか

問 10 今後の居住地について、どのようにお考えですか

- 今後の居住地については、「現在の居住地に住み続けたい」及び「いずれは木島平村へ戻りたい」がそれぞれ3割と多く、次いで「条件等が合えば木島平村へ戻りたい」が2割となった。
- 木島平村へ戻る可能性がある「いずれは木島平村へ戻りたい」と「条件等が合えば木島平村へ戻りたい」を合わせると、5割が回答する結果となった。

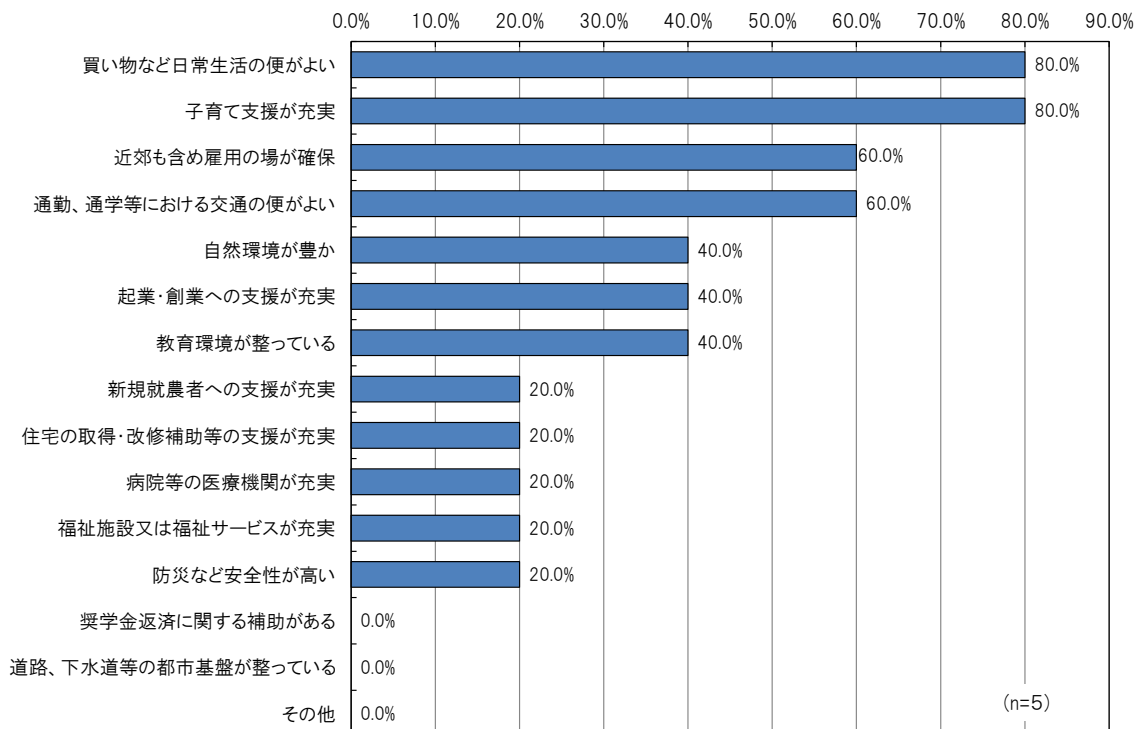
図表 2-15 今後の居住地について



(1) 【問 10 で「いずれは木島平村へ戻りたい」または「条件等が合えば木島平村へ戻りたい」を回答した方】木島平村がどのような村になれば、戻りたいと思いますか

- 「買い物など日常生活の便がよい」、「子育て支援が充実」が最も多く、次いで「通勤、通学等における交通の便がよい」、「近郊も含め雇用の場が確保」が続く。生活の利便性や子育て支援のほか、交通の利便性や働く場の確保を重要視する意見が得られた。

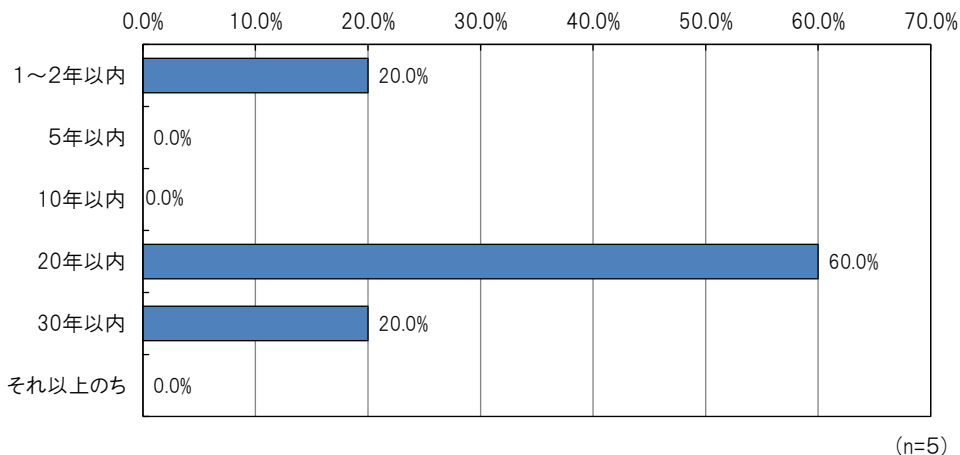
図表 2-16 【「いずれは木島平村へ戻りたい」または「条件等が合えば木島平村へ戻りたい」と回答した方を対象】木島平村がどのような村になれば戻りたいと思うか



(2) 【問 10 で「いずれは木島平村へ戻りたい」または「条件等が合えば木島平村へ戻りたい」を回答した方】木島平村へ戻る場合、おおよそ何年後くらいを想定されますか

○ 「20年以内」が最も多く、このほか「1～2年以内」「30年以内」の回答が得られた。

図表 2-17 【「いずれは木島平村へ戻りたい」または「条件等が合えば木島平村へ戻りたい」を回答した方】木島平村へ戻る場合、おおよそ何年後くらいを想定するか



問 11 これまで木島平村にお住まいになって、気づいたこと・不安だったことなどについて (自由記述)

自由記述の内容

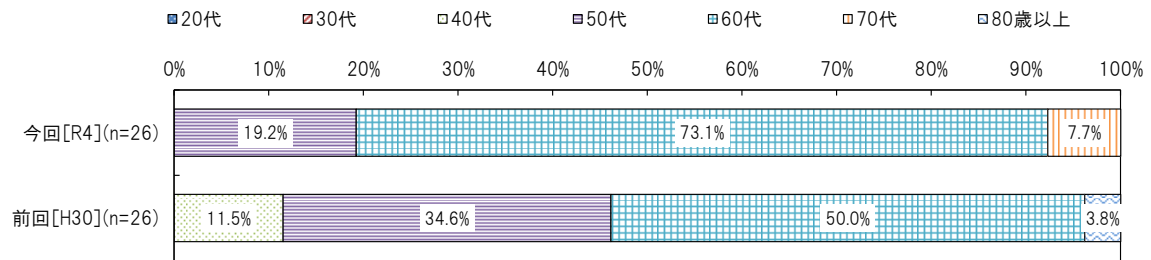
- ・一人暮らしになると全て不便。買い物、医者通い等自分でできなくなった時など気軽に頼める人がいない(自分の気持ち次第かもしれませんが)。でも木島平そのものは大好きです。お世話になりました。ありがとうございます。
- ・就職先が少ない。
- ・雪の量。

3. 区長向けアンケート調査

回答者の属性 (年齢)

○ 回答した区長の年齢については、以下のとおり。

図表 3-1 回答者の年齢

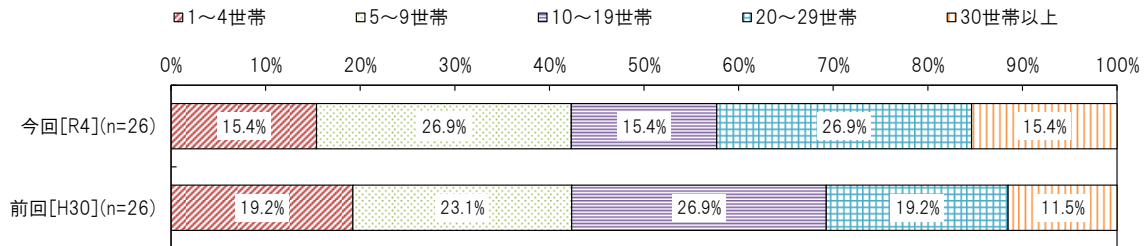


1 集落の現状について

1-1 65歳以上だけで暮らしている世帯

- 65歳以上だけで暮らしている世帯の数を各区長に尋ねたところ、1～20世帯未満の集落が50%以上を占めている。
- 前回調査と比べると、10～19世帯の集落が減少した一方で、20世帯以上の集落が増加しており、全体として65歳以上だけで暮らしている世帯は増加しているとみられる。

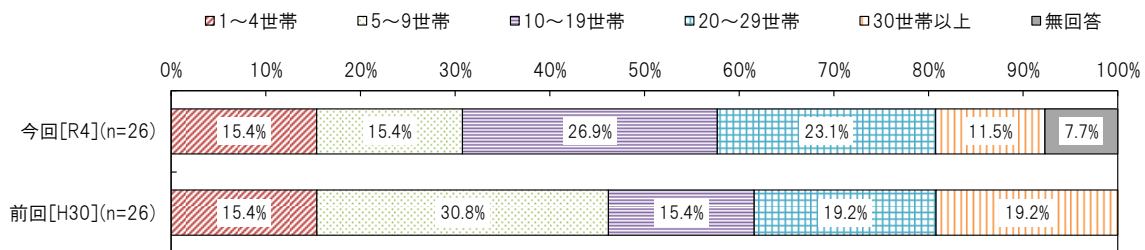
図表 3-2 65歳以上だけで暮らしている世帯



1-2 後継者や跡継ぎと一緒に住んでいる世帯

- 後継者や跡継ぎと一緒に住んでいる世帯の数を各区長に尋ねたところ、「10～19世帯」と答えた集落の割合が26.9%で最も高い。
- 前回調査と比較すると、5～9世帯の集落が減少した一方、10～19世帯の集落が増加した。

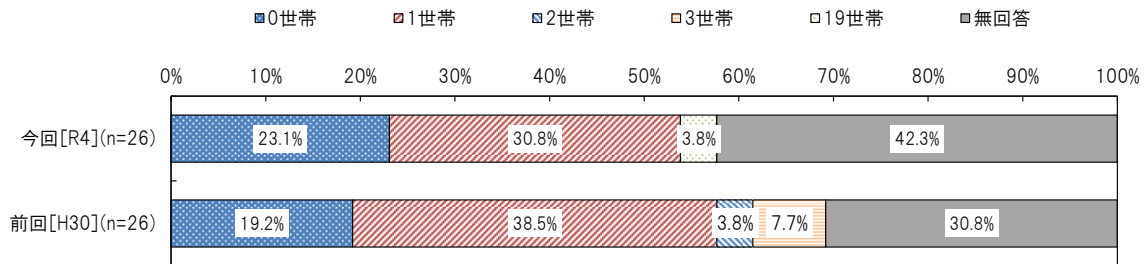
図表 3-3 後継者や跡継ぎと一緒に住んでいる世帯



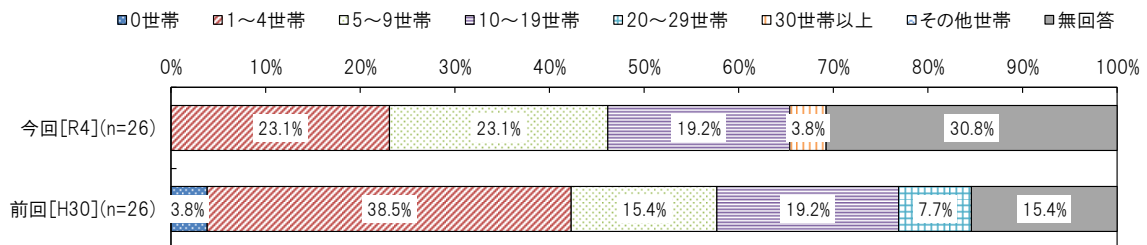
1-3 他の集落または村外に家の跡継ぎの人が住んでいる世帯

- 家の跡継ぎが「村内の他の集落」に住んでいる世帯数について、「1世帯」と答えた集落が約3割と最も多かった。「0世帯」と答えた集落も約2割あった。
- 一方、家の跡継ぎが「村外」に住んでいる世帯数は、「1～4世帯」「5～9世帯」と答えた集落がそれぞれ2割強と多く、次いで「10～19世帯」が多い結果となった。

図表 3-4 村内の他の集落に跡継ぎが住んでいる世帯



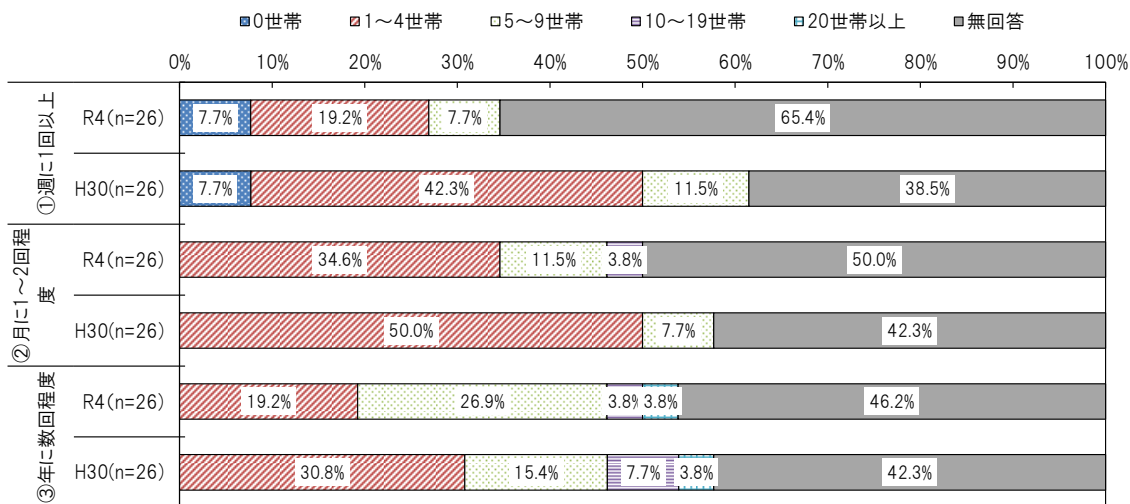
図表 3-5 村外に跡継ぎが住んでいる世帯



1-4 65歳以上だけで暮らしている世帯に、他の集落や村外に住む家族が訪れてくる世帯の訪問頻度

○ 訪れてくる頻度が①週に1回以上の世帯数は、1～4世帯という回答が最も多い。②月に1～2回程度という回答も同じ傾向にある。③年に数回程度訪れる世帯数は5～9世帯が最も多いが、他の頻度に比べて世帯数が多い傾向にあり、20世帯以上という集落もある。

図表 3-6 65歳以上だけで暮らしている世帯に、他の集落や村外に住む家族が訪れてくる世帯の訪問頻度

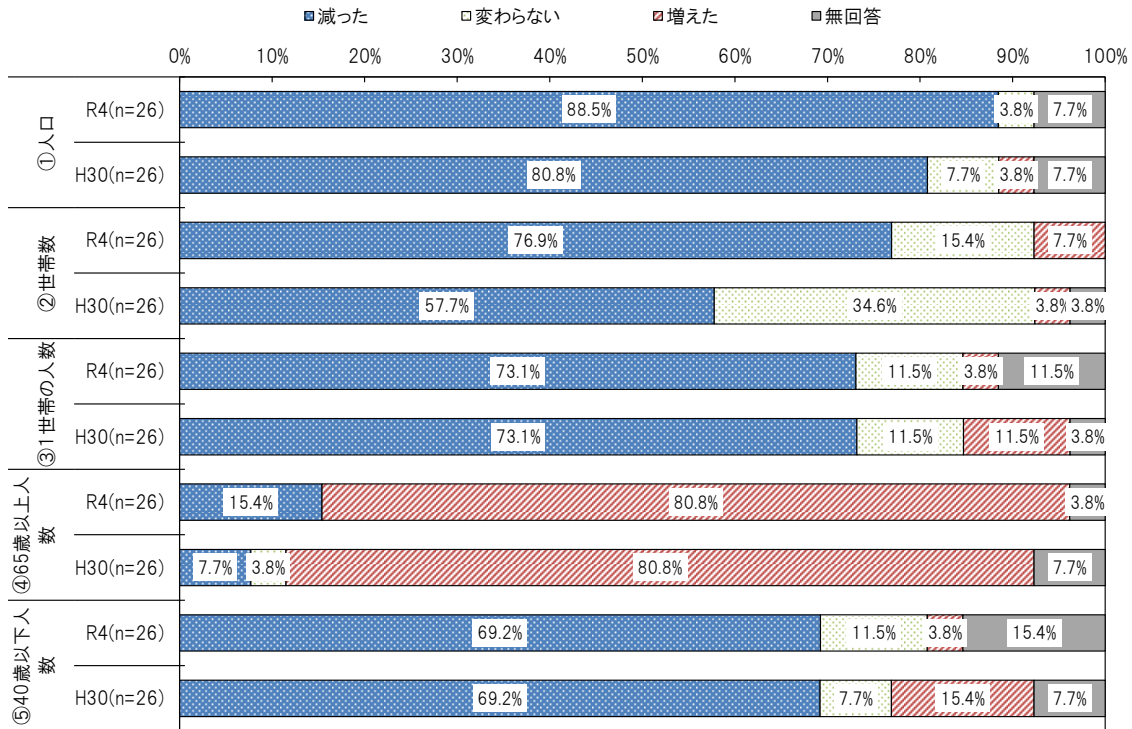


2 集落の過去10年間の変化について

2-1 10年前との集落の変化

○ 「④65歳以上人数」は、約8割の集落が「増えた」と回答しているが、「①人口」や「③1世帯の人数」など他の項目では「減った」と回答した集落の割合が5割を超えている。

図表 3-7 10年前との集落の変化



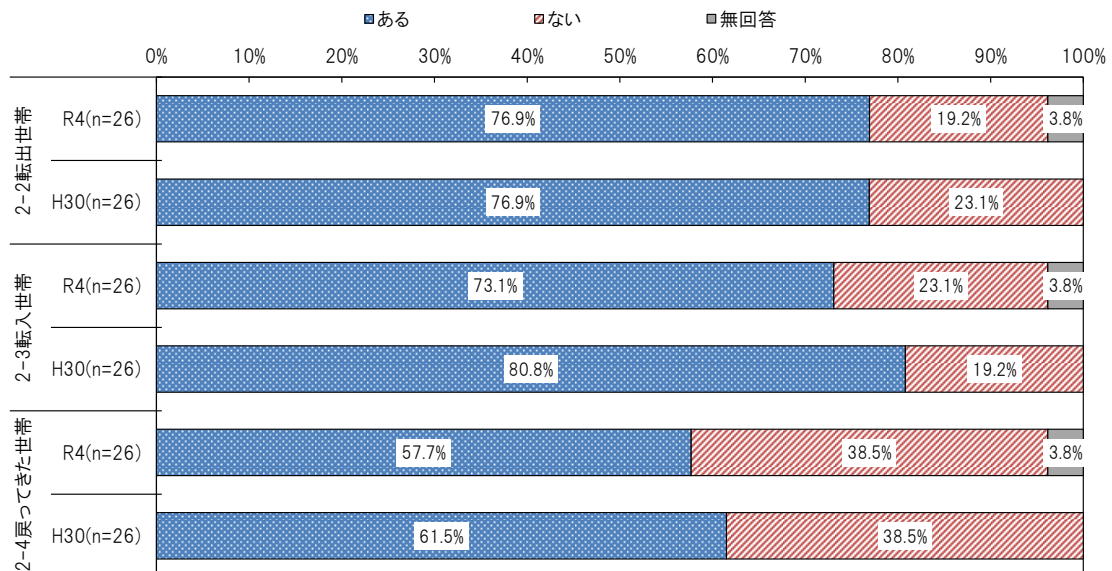
2-2 他の集落または村外へ転出した世帯

2-3 他の集落または村外から転入した世帯

2-4 他の集落または村外から戻ってきた世帯

○ いずれの項目も「ある」と回答した割合が多かったが、中でも「転出世帯」が76.9%と最も高く、一方で「戻ってきた世帯」は57.5%であった。

図表 3-8 転出・転入・村外から戻ってきた世帯の有無（過去10年間）



3 集落内のつながりについて

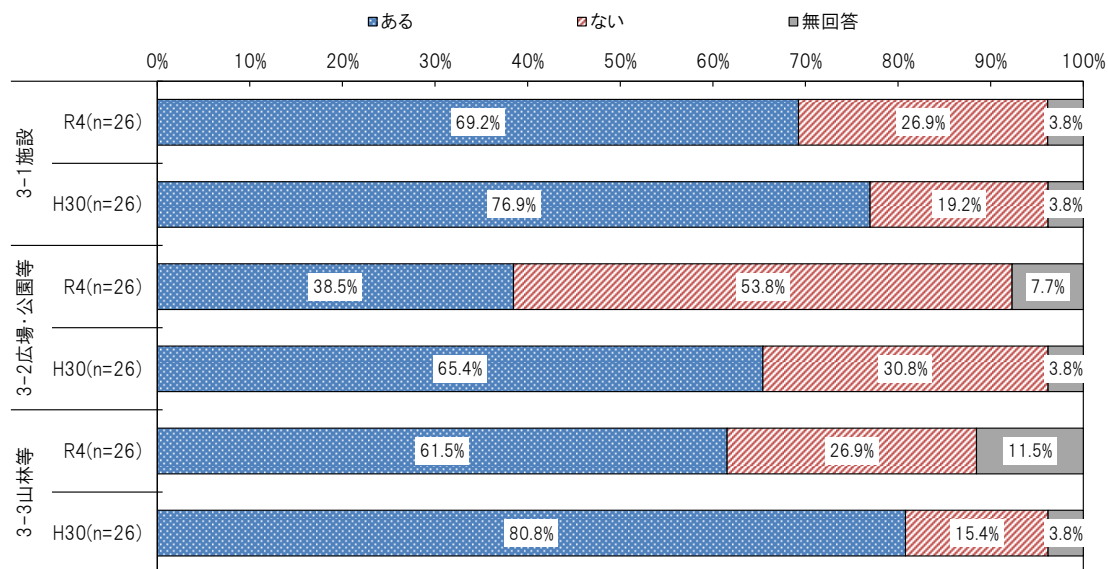
3-1 集落で共同利用・管理している施設

3-2 集落で共同利用・管理している広場や公園等

3-3 集落で共同利用・管理している山林等

- 共同利用・管理している物件については、特に「施設」の割合が最も高く、69.2%であった。
- 内容をみると、改善センターやゲートボール場、区有林などが多かった。
- 前回調査と比較すると、「広場・公園等」「山林等」は、共同利用・管理している割合が減少した。

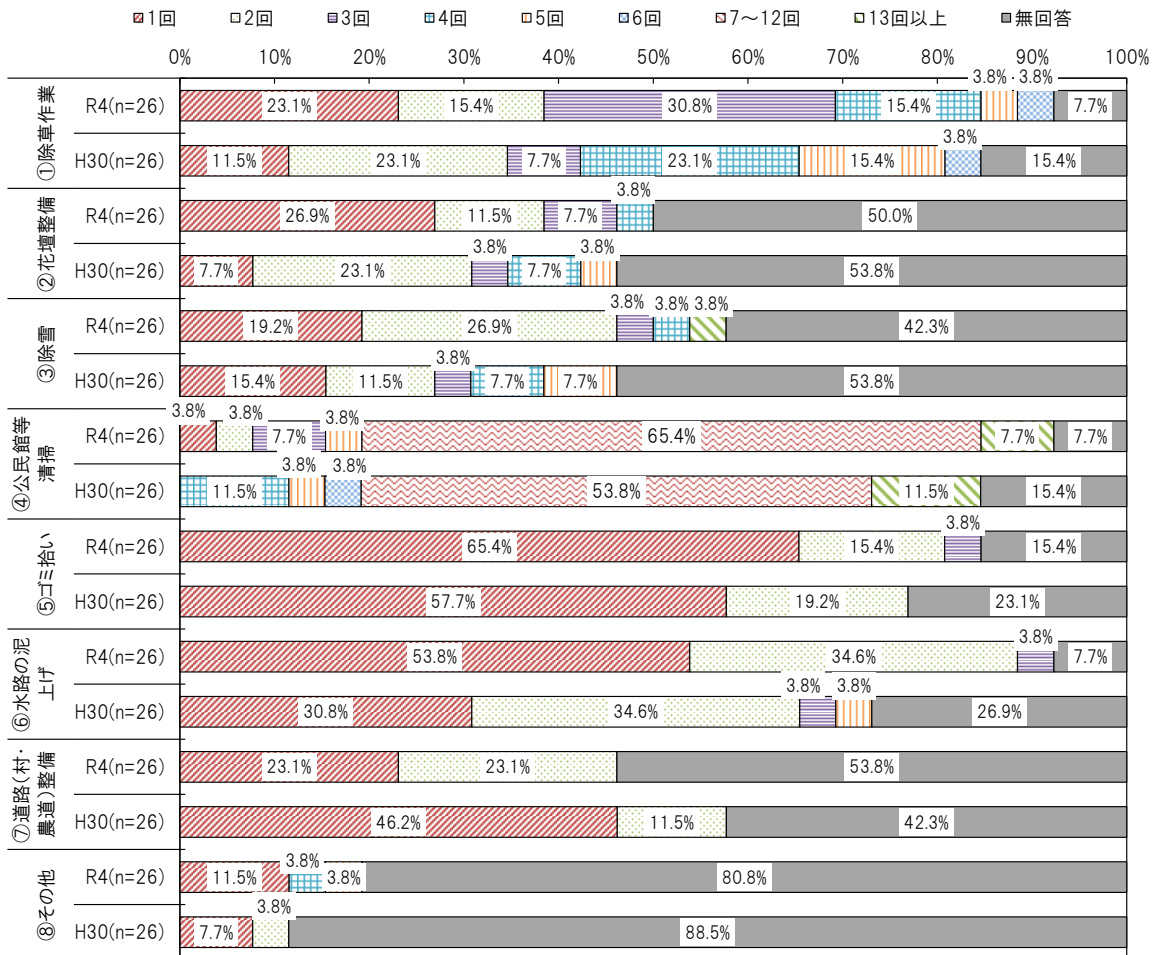
図表 3-9 集落で共同利用・管理している施設・広場や公園等・山林等の有無



3-4 集落の作業

○ 最も頻繁に行われている集落の作業は「公民館等清掃」で、年6回以下が 19.1%、7～12 回が 65.4%であり、年間 13 回以上行っていると回答した集落も 7.7%あった。

図表 3-10 作業ごとの年間の実施回数

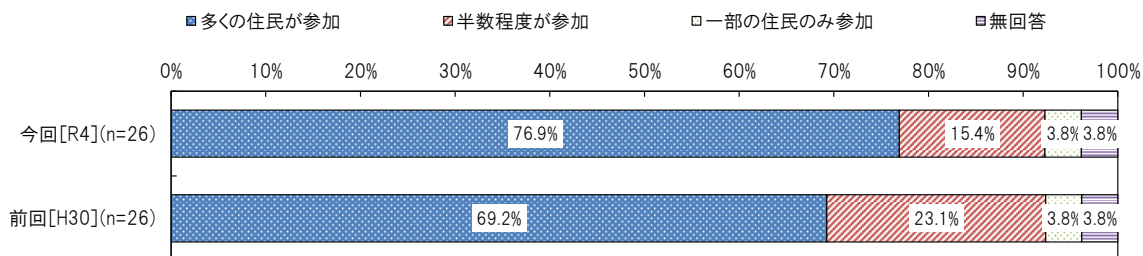


(注)「0～2回」「2年に1回」は「1回」として集計、「2～3回」は「2回」として集計、「3～4回」は「3回」として集計、「ない」「0回」「適宜」「年数回」は「無回答」として集計

3-5 集落全体で行う作業への住民の参加状況

○ 集落全体で行う作業へ「多くの住民が参加」していると答えた集落の割合は76.9%であった。

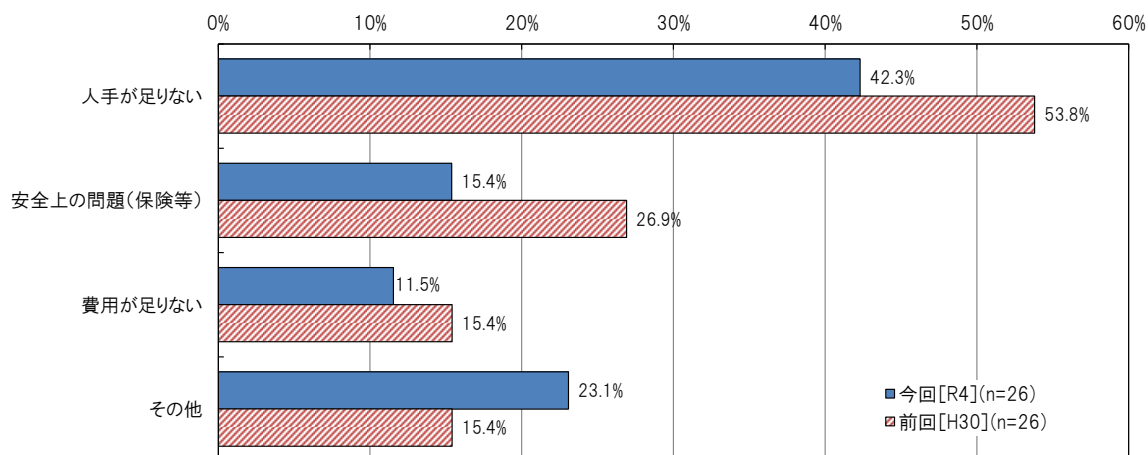
図表 3-11 集落全体で行う作業への住民の参加状況



3-6 集落で行う作業に関する困ったことや気づいたこと

○ 集落で行う作業に関する困りごとについては、「人手不足」が42.3%と最も多く回答があった。

図表 3-12 集落で行う作業に関する困ったことや気づいたこと



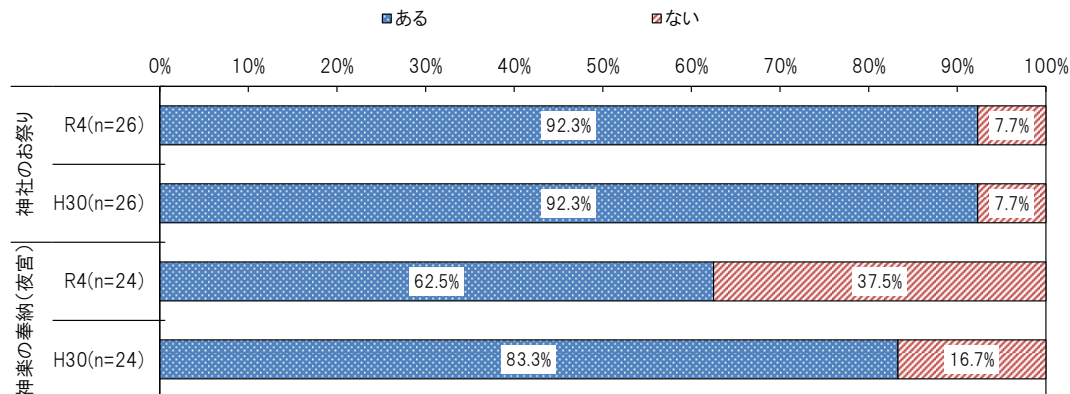
「その他」の内容

- ・ 高齢化に伴い力のいる作業が大変
- ・ 高齢者が多く作業がむずかしい
- ・ 住民の高齢化、1人暮らし老人世帯の増加

3-7 集落に神社のお祭りはあるか。ある場合は、神楽の奉納（夜宮）の実施状況

- 集落で神社のお祭りが「ある」と回答した集落は 24 集落（92.3%）となっており、そのうち 15 集落（62.5%）で、神楽の奉納（夜宮）が行われている。

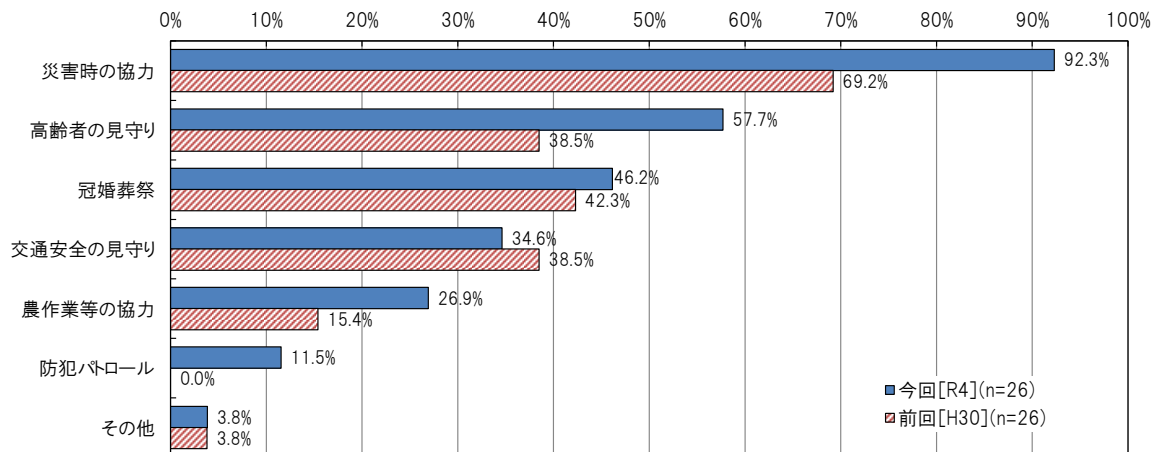
図表 3-13 神社のお祭り・神楽の奉納（夜宮）の有無



3-8 集落内での日常生活の助け合い

- 集落内での日常生活の助け合いで最も多かったのは、「災害時の協力」で9割程度の集落で行われている。また、前回調査と比べ、23.1ポイント上昇した。
- 次いで「高齢者の見守り」が多く、6割弱の集落で行われている。前回調査と比べ、19.2ポイント上昇した。

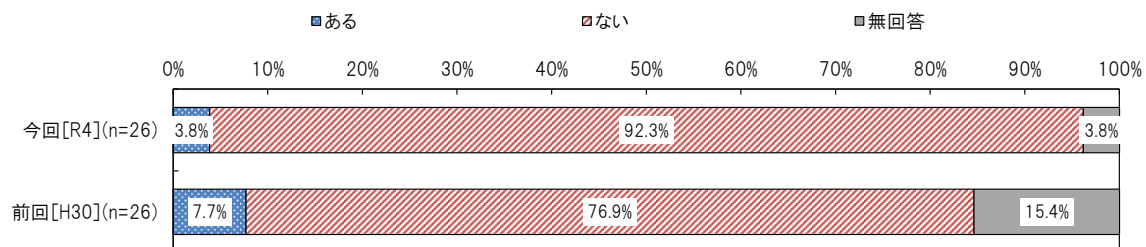
図表 3-14 集落内でみられる日常生活の助け合い



3-9 集落内の日常生活・家事などを助けてくれるグループ・組織

○ 日常生活・家事などを助けてくれるグループ組織について、「ある」と回答した集落の割合は1集落（3.8%）にとどまり、多くの集落では「ない」と回答している。

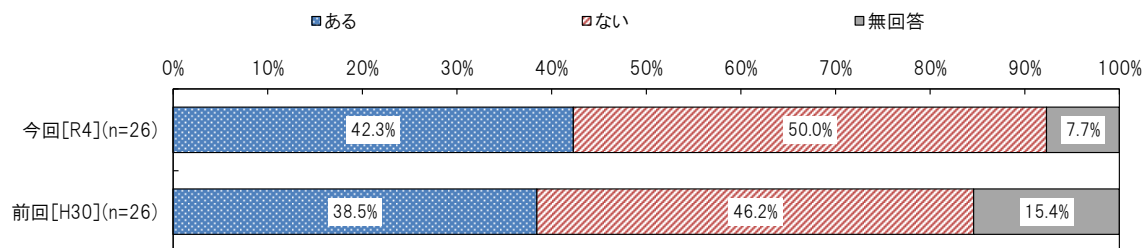
図表 3-15 集落内で日常生活・家事などを助けてくれるグループ・組織の有無



3-10 親交やつながりの深い集落

○ 親交やつながりの深い集落が「ある」と回答した集落の割合は42.3%、「ない」と回答した集落は50.0%となっており、親交やつながりの深い集落が「ない」集落がやや上回った。

図表 3-16 親交やつながりの深い集落の有無



図表 3-17 「ある」と回答した集落の、つながりの深い集落名

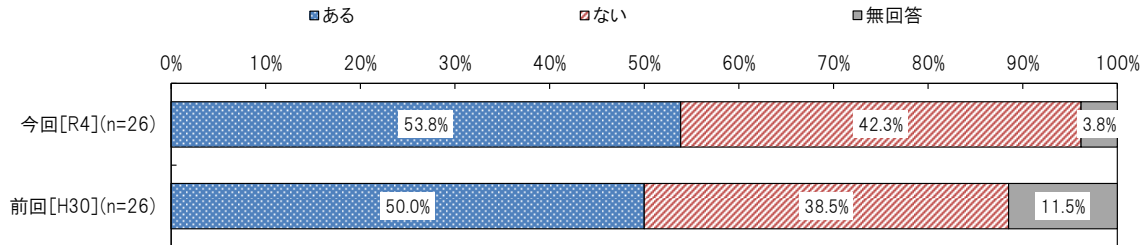
「ある」と回答した集落の、つながりの深い集落名

- ・和栗 稲荷
- ・市之割 高石、南鴨と地藏尊供養を毎年5月13日に行っている。
- ・大町 山口、柳久保、中町、西町
- ・千石 上千石
- ・中町 西町区、共有林があるため
- ・栄町 中村区
- ・西町 中町区
- ・部谷沢 中島区
- ・山口 柳久保区（育成会の行事を一緒に行っていた）
- ・稲荷 和栗区

3-11 他の集落と協力・連携して実施する活動や行事

- 他の集落と協力・連携して実施する活動や行事が「ある」と回答した集落の割合は 53.8%となっており、「ない」と回答した集落を上回った。
- 具体的な内容としては、神事・祭事や水路整備、共有林管理などが挙げられた。

図表 3-18 他の集落と協力・連携して実施する活動や行事の有無



図表 3-19 「ある」と回答した集落の連携活動・行事の内容

「ある」と回答した集落の連携活動・行事の内容	
・北鴨	(水路の見廻り、取入口堰) 中村、小見、栄町
・栄町	いきいき広場
・大町	お祭り他
・西町	区有林の管理等
・中島	祭り
・山口	消防活動
・柳久保	上木島揚堰水利組合
・南鴨	大沢地藏尊祭
・中町	大町区、お宮が一社のため
・西小路	中島区 (秋祭りを合同で開催)
・和栗	道普請、神社 (七社、十社)、選挙 (村議)
・高石	民生委員
・内山	用水取り入口の管理 (内山、稲荷、和栗)
・無回答	山ヶ組 (下セギの活動)

3-12 今後必要になると思われる助け合いや協力

- 今後必要になると思われる助け合いや協力について尋ねたところ、高齢者の見守りや除雪作業、災害時の避難等に関する意見が挙げられた。

図表 3-20 今後必要になると思われる助け合いや協力の内容（自由記述）

自由記述の内容

- ・一人暮らしの高齢者宅の雪おろしや買い物補助
- ・高齢者の見守り（災害時、日常生活）
- ・高齢者世帯の屋根の雪おろし等
- ・高齢者宅除雪作業
- ・高齢独居者が増えて見守りが必要
- ・災害による避難行動
- ・災害時等、有事の際
- ・弱者世帯（独居）、弱者世帯（高齢者）のくらし全般（除雪など）
- ・相互扶助の維持と有効性

4 集落内の資源について

4-1 他に自慢できるような集落内の資源や魅力

- 各集落で自然、歴史的建造物、人の活動など、さまざまな資源や魅力が挙げられた。

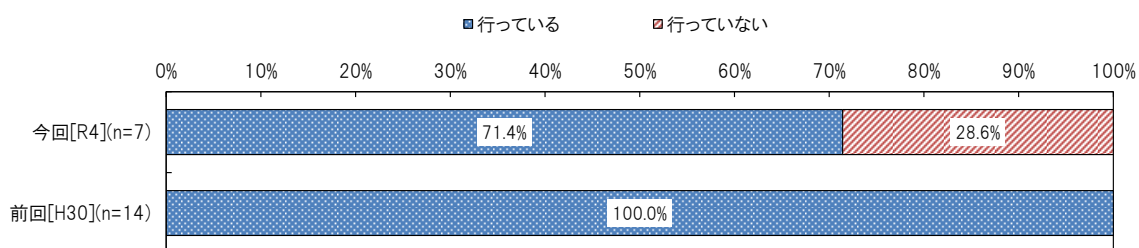
図表 3-21 他に自慢できるような集落内の資源や魅力の内容（自由記述）

自由記述の内容
・ほたる
・稲泉寺、はす田
・桜並木
・柱松子
・風景
・豊秋津三州神社内、金運、家内安全に御利益の三鈷の松、寺社入口の加茂の杜という公衆便所
・龍泉寺清水、内山和紙

4-2 資源や魅力を保存・振興・伸長させるような取組

- 4-1で、具体的に「集落内に他に自慢できる資源や魅力」の回答があった集落の中で、その資源や魅力を保存・振興・伸長させる取り組みを「行っている」と回答した集落は約7割であった。
- 内容としては、環境整備や清掃などが挙げられた。

図表 3-22 4-1で回答した資源や魅力について、保存、振興、伸長させるような取り組みを行っているか



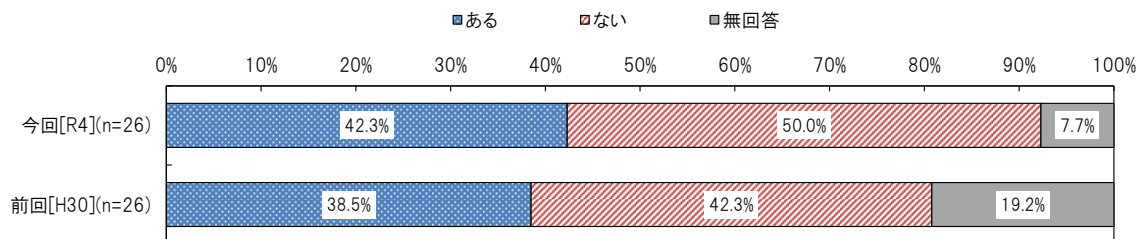
図表 3-23 「行っている」と回答した集落の取組の内容

「行っている」と回答した集落の取組の内容
・樹齢が増し高齢者ばかりで手入れができない。
・駐車場や周辺環境の整備
・公衆便所の清掃

4-3 集落内の伝統行事（神社のお祭りを除く）

- 伝統行事が「ある」と回答した集落の割合は42.3%で、「ない」と答えた集落の割合を下回った。
- 「ある」と回答した集落に行事名を尋ねたところ、道祖神祭りなどが挙げられた。

図表 3-24 集落内の伝統行事（神社のお祭りを除く）の有無



図表 3-25 「ある」と回答した集落の伝統行事名

「ある」と回答した集落の伝統行事名

- ・4月の春まつり（区の親睦会）
- ・しょうぶはたき
- ・十王祭
- ・正月のものづくり
- ・柱松子
- ・柱松子
- ・道祖神
- ・道祖神
- ・道祖神、天満宮、道普請花見、敬老会、区民ゲートボール大会、スポーツフェス
- ・（道祖神の他にはない）
- ・道祖神まつり
- ・平沢城址手入

4-4 集落内の資源や魅力に関する課題

- 行事等を担う後継者の減少や、支障木の伐採費用の負担などが挙げられた。

図表 3-26 集落内の資源や魅力に関する課題（自由記述）

自由記述の内容

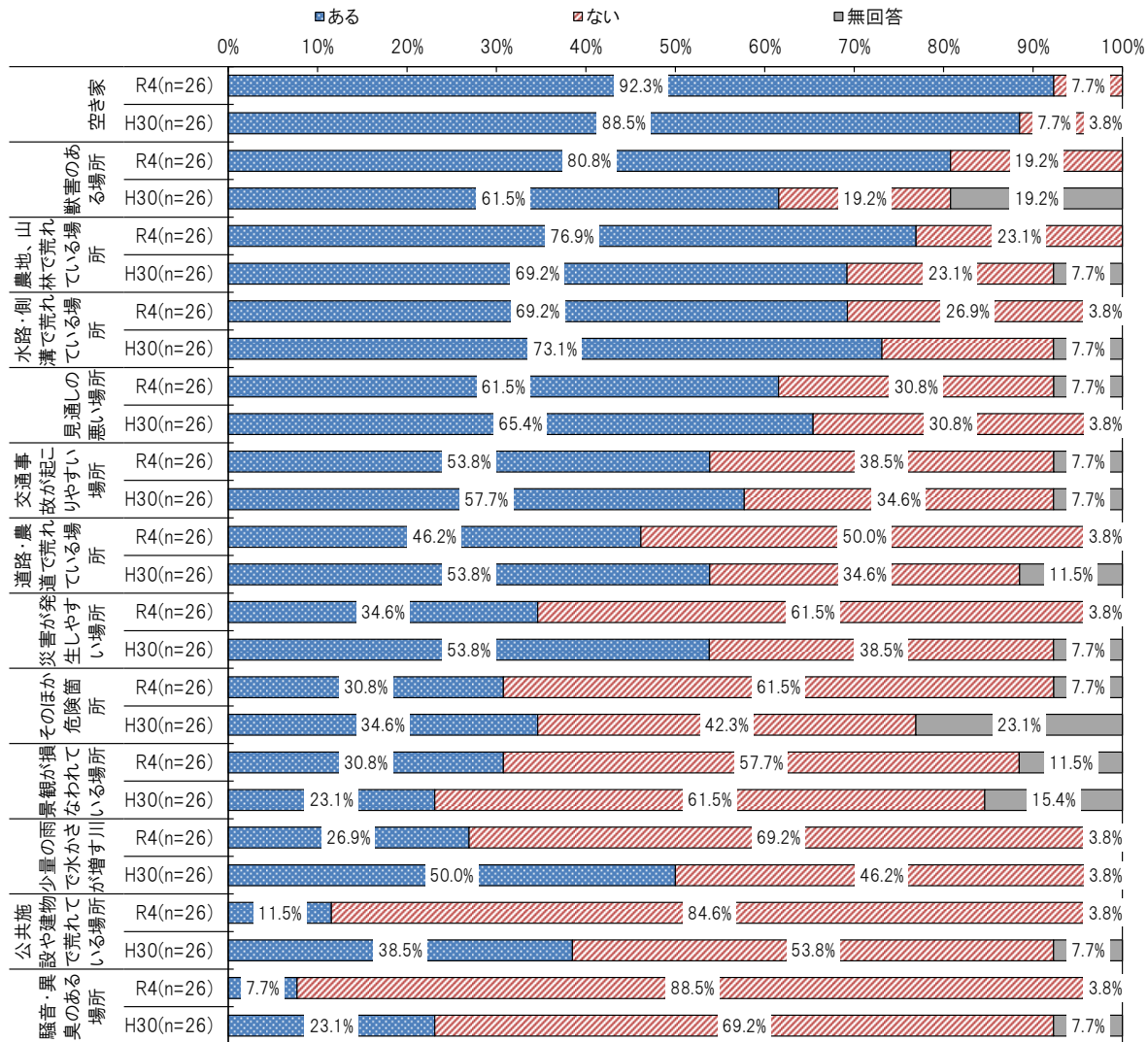
- ・継承していく人（子どもなど）が少なくなっている。
- ・支障木の伐採等も費用が高額すぎる
- ・大塚山の整備

5 集落内の施設や場所について

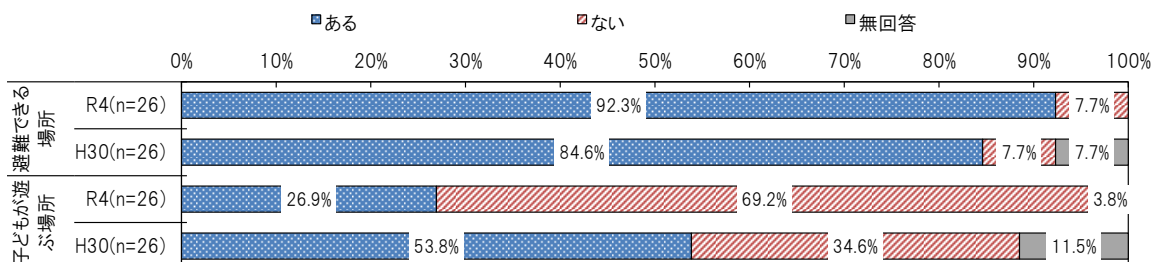
5-1 集落内の施設や場所

- 集落内にある施設や場所について、「ある」との回答が最も多かったものは「空き家」で、92.3%の集落から挙げられた。続いて「獣害のある場所」「農地・山林で荒れている場所」がある集落も約8割を占めた。
- 「ない」と答えた集落の割合については、「騒音・異臭のある場所」「公共施設や建物で荒れている場所」が高く、8割以上の集落で挙げられた。

図表 3-27 集落内の各種施設や場所の有無



- 「避難できる場所」は9割以上の集落であったものの、「子どもが遊ぶ場所」があるのは3割未満であった。



5-2 5-1 で特に課題となっている場所

○ 特に問題となっている場所を聞いたところ、「空き家」に関するものが多く挙げられた。

図表 3-28 特に課題となっている場所（自由記述）

自由記述の内容

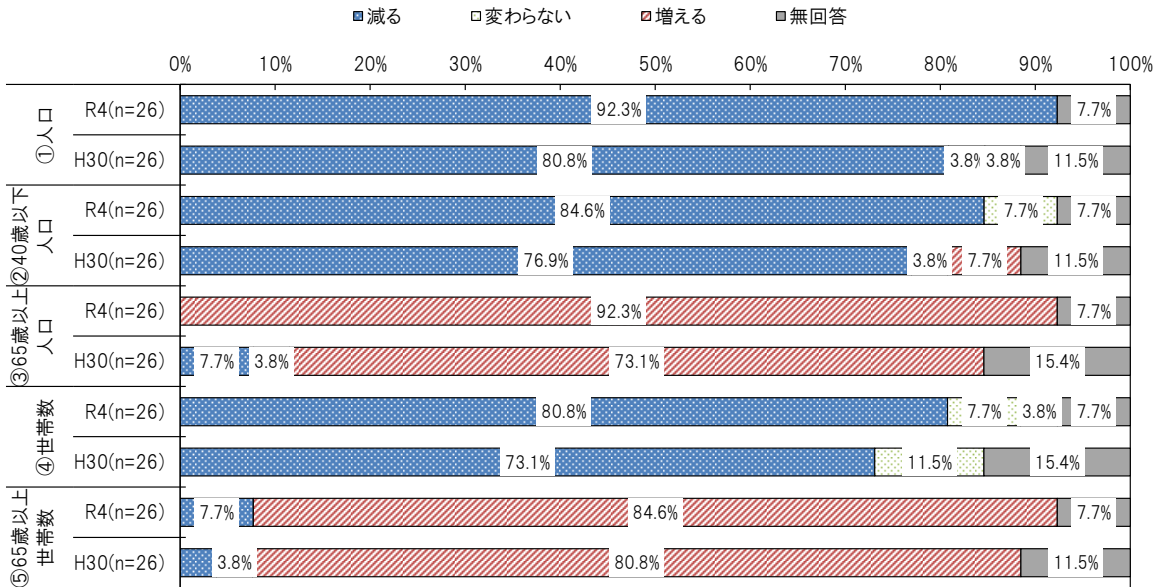
- ・旧北部小グラウンドを子供の遊び場に開放してほしい。
- ・3つの山の整備
- ・[獣害の場所] クマ、他の動物による畑の被害が多い。
[農地、山林で荒れている場所] 山道が草や木で荒れている所がある。
[少量の雨で水かさが増す川] 和栗沖水田の用水路、烏川、お宮付近、南向山線
- ・[景観が損なわれている場所] 空家
- ・分館裏の水路の整備
- ・下ぜきからの水もれ、戸立沢砂防えん堤
- ・空家問題
- ・空き家の崩壊（獣の巣、景観）
- ・空き家崩壊等、熊の獣害
- ・今後の空き家（空き地）対策、区役員の確保（重複が当たり前）
- ・村内を通る上堰の嵩上げ
- ・大正公園
- ・空き家がこわれ手つかずのまま荒れ放題
- ・農道（村道）はほぼ全て
- ・避難場所（公会堂ダメ）

6 集落の将来について

6-1 今から10年後の集落の変化

- 今から10年後の集落の変化の見通しについて尋ねたところ、「①人口」「②40歳以下人口」「④世帯数」は「減る」と回答した集落が大半を占めている。
- 一方、「増える」の回答が多かったのは「③65歳以上人口」「⑤65歳以上世帯数」であり、高齢者の人口や世帯数は今後も増加すると考える集落が多かった。

図表 3-29 今から10年後の集落の変化の見通し

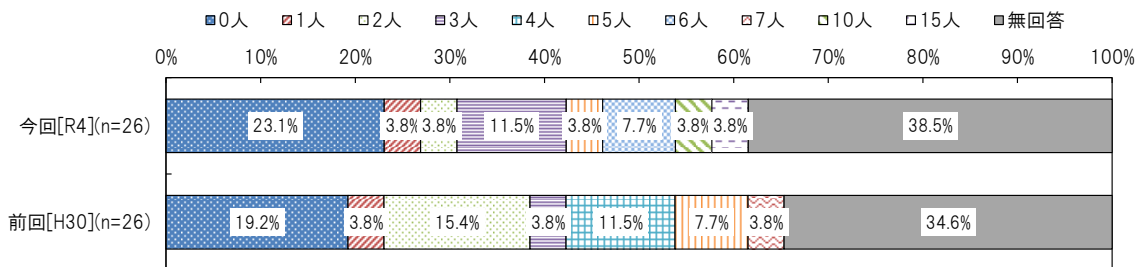


(注)平成30年調査では、③は「高齢者人口」、⑤は「高齢者世帯数」として訊いた

6-2 現在は他の集落または村外に住んでいるが、将来戻ってきそうな人

- 将来戻ってきそうな人がいると答えた集落は4割弱であった。人数は「3人」が最も多かった。

図表 3-30 将来戻ってきそうな人数



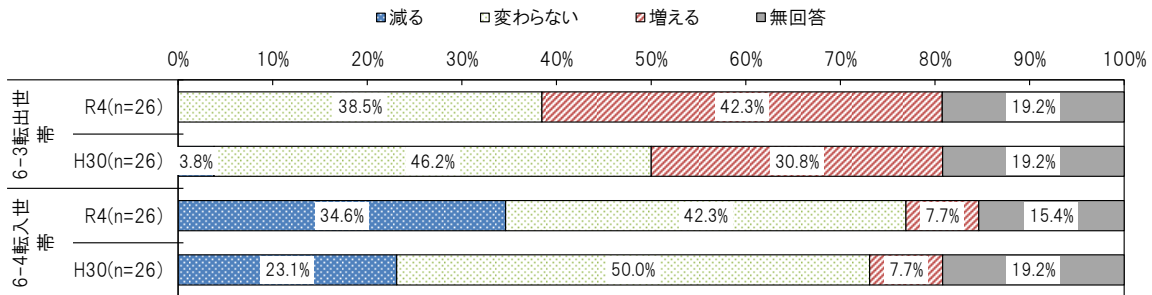
(注)「3~4人」の回答については「3人」として集計、「不明」等の回答については「無回答」として集計

6-3 今後、他の集落または村外へ転出する世帯

6-4 今後、他の集落または村外から転入する世帯

- 他の集落または村外へ「転出する世帯数」の見通しについては、「増える」が42.3%と最も多く、次いで「変わらない」が38.5%と多い結果となった。
- 「転入する世帯数」については、「変わらない」が42.3%で最も高く、次いで「減る」が34.6%と多い結果となった。

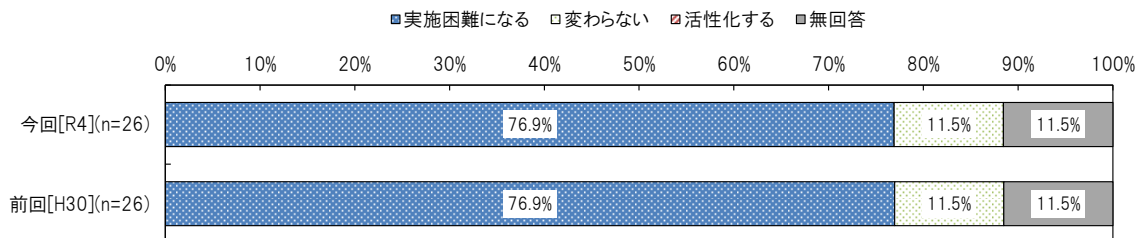
図表 3-31 転出・転入世帯の変化の見通し



6-5 現在行っている集落の活動や作業

- 現在行っている集落の活動や作業の見通しについては、「実施困難になる」と回答した集落の割合が76.9%を占めており、「活性化する」と回答した集落はなかった。

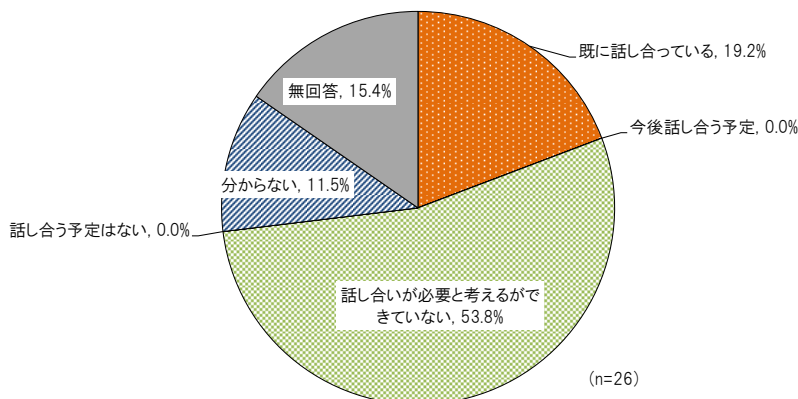
図表 3-32 現在行っている集落の活動や作業の変化の見通し



6-6 今後の集落の姿（将来像）について集落内で話し合いを持っているか

- 今後の集落の姿（将来像）について集落内で話し合いを持っているか尋ねたところ、53.8%(14地区)が「話し合いが必要と考えるができていない」と回答した。

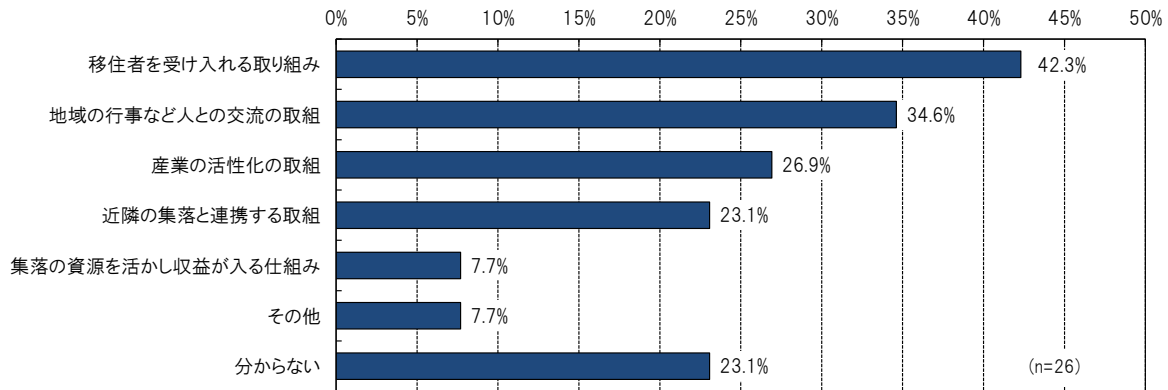
図表 3-33 今後の集落の姿（将来像）について集落内で話し合いを持っているか



6-7 集落を活性化するために重要な取組

- 集落を活性化するために重要な取組については、「移住者を受け入れる取り組み」と答えた集落が42.3%と最も多く、続いて「地域の行事など人との交流の取組」が34.6%だった。

図表 3-34 集落を活性化するために重要な取組



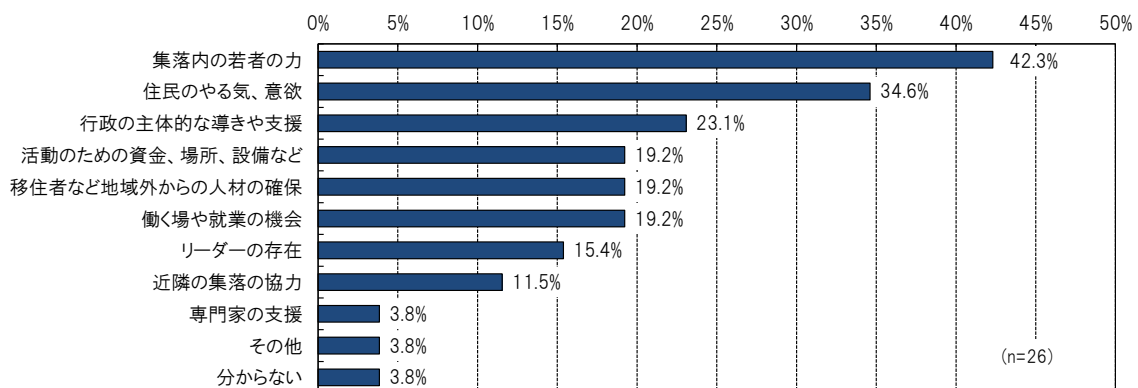
「その他」の内容

- ・若い人達の価値観が変わって来ているので
- ・集落単位ではなく村全体の人口減少が問題

6-8 6-7 で回答した集落活性化の取組を進めていくために集落で必要なこと

- 6-7 で回答した集落活性化の取組を進めていくために集落で必要なことについては、「集落内の若者の力」が42.3%と最も多く、続いて「住民のやる気、意欲」が34.6%だった。

図表 3-35 6-7 で回答した集落活性化の取組を進めていくために集落で必要なこと



「その他」の内容

- ・高齢化が進み困難になる

6-9 集落の将来について期待する将来像や心配事等

図表 3-36 集落の将来について期待する将来像や心配事等（自由記述）

自由記述の内容

- ・区としては、空き家の問題が毎年課題として出てきます。冬が多い年の時とかの除雪の問題。また、道路の除雪問題が毎年課題です。少子高齢化で65歳以上の世帯数が増えて人口減少と空き家が増えるという問題だと思います。
- ・区の役員の確保が心配、神楽保存ができるか?心配、分館・神社の公共施設の維持?、限界集落へのカウントダウン
- ・区機能の低下（高齢化世帯の増加）
- ・区内の戸数減少、高齢化により区を運営していくための人材が不足し運営困難になる。現在区長3回目の方も在る。近隣の区との合併もふまえ行政が主導で進めてもらえると助かる。
- ・後継者がいない。老人世帯がふえる。
- ・高齢化に伴う行事、祭事の運営、分館建て替えによる資金調達、特効薬（コロナ）出来ないか
- ・若い人に区の役職を回さない様に（負担）をかけない様に出来るだけ高齢経験者に役を回しているが、限界が近づいている。若い人でも協力してくれる人は少なくその人達に負担が偏ってしまう。役職の数を減らす等行政も少しずつ変ってほしい。
- ・人口の減少、高齢者の増加、集落単位で考えるのではなく村全体で考えるべき課題である。
- ・道路の確保（1日24時間通行できる様）、雪害対策
- ・木島平の自然を活かした都会ではできないものをもっとPRして、村全体で活性化策を考えたい。

第3章 総括

村民アンケート、転出者向けアンケート及び区長向けアンケートを踏まえて、木島平村の現状および課題について、以下のとおり考察する。

(※村民=村民アンケート、転出=転出者向けアンケート、区長=区長向けアンケート)

1. 村での生活に関する評価

- 木島平村が住みよい村かどうかを尋ねたところ、59.2%が「そう思う」、「ややそう思う」と肯定的に回答しており、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた回答割合 11.2%を、大きく(48.1ポイント)上回っている(村民問2)。
- また、今後も木島平村に住み続けたいかを尋ねた質問では、69.3%の村民が住み続けたいと回答しており(村民問3)、多くの村民が、村での生活を肯定的に捉えているとみられる。「住み続けたい」理由をみると、「家や土地があるから」と答えた割合が89.6%と最も高いほか、「災害で大きな被害を受ける心配が少ない(41.4%)」「地域や人に愛着があるから(41.2%)」などが挙げられた(村民問3(1))。
- しかしながら、年代別に住み続けたいかどうかの意向をみると、全体としては若い年代ほど「住み続けたい」とする回答割合が低い傾向にある。15～19歳では「転出したい(50.0%)」が「住み続けたい(30.0%)」を上回るほか、20歳代は「住み続けたい」と「転出したい」がいずれも25.9%と拮抗している(村民問3)。
- また、「住みよい村かどうか」についても年代別にみると、前回調査(平成30年)と比べて「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた肯定的な回答割合は、20歳代で△5.4ポイント、30歳代で△20.6ポイントと、いずれも減少した(村民問2)。
- 定住を促していく上での課題を探るため、村外に転出したいと回答した理由をみると、15～19歳を除く全ての年代で「買い物・病院など、生活する上で不便だから」の回答割合が最も高い。15～19歳は「職場(学校)に通うのが不便だから」が80.0%で最も高く、どの年代でも日常生活を営む上での不便さを理由に挙げた回答割合が高い結果となった(村民問3(2))。

2. 第6次総合振興計画 後期基本計画に掲げた取り組みの評価

- 後期基本計画に掲げた101の取組について、それぞれ現状の満足度と将来の重要度について分析したところ、今後最優先に取り組むべき取組(重要度が高いが、満足度が低い取組)として、「救急・休日夜間医療体制の確保」「不法投棄防止活動」「有害鳥獣対策」「空き家等の管理の指導」など16項目が挙げられた(村民問4(2))。分野としては、「IV農を基軸とした交流の村づくり」「V農村の環境を生かした村づくり」に関連した取組が多く挙げられた。
- 同様に、今後も引き続き力をいれていくべき取組(重要度が高く、満足度も高い取組)としては、「交通確保の推進」「医療との連携」「地域医療の確保」など36項目が挙げられた(村民問4(2))。分野としては、「I子育てと教育の村づくり」「II暮らしやすさが実感できる村づくり」に関連した取組が多く挙げられた。

3. 地域の行事・イベントのあり方について

- コロナ禍により行事等が中止されたり規模を縮小して実施されたりする中、今後、行事やイベント等をどうしていくべきか尋ねたところ、「有志が少人数で集まり実施する行事やサークル活動」と「村が対象者を限定せずに実施する行事・イベント」については、拡大・充実や維持を望む前向きな回答割合が半数程度であった一方、「集落単位で実施する行事・イベント」と「村が村民向けに実施する行事・イベント」については、廃止や見直し・縮小など後ろ向きの回答割合が半数程度を占め、前向きな回答割合を上回った（村民問 6(1)）。
- 村民同士の関係性の構築・維持や、伝統文化などを次世代へ継承できるように配慮しながら、行事やイベントの意義・必要性を再検討したり、負担を減らし効率的に実施できるような方法へ見直していくことが必要と考えられる。

4. デジタル化の進め方について

- 今後デジタル化を進めて欲しい分野については、「住民票の写しや各種証明書のコンビニ交付サービス」が最も多く、次いで「センサーを活用した河川の監視など防災への活用」、「スマートフォンやパソコンから各種申請ができるようになる」が続くなど、各種証明書の取得や各種申請に係る利便性向上、防災面へのデジタル技術活用に関する要望が寄せられた（村民問 7(1)）。
- 今後デジタル化を進めるにあたって注意すべき点については、「個人情報・プライバシーの保護」が最も多く、次いで「デジタル技術に詳しくない人・使う環境にない方への配慮」、「情報セキュリティ対策」が続く。個人情報の保護や情報セキュリティ対策など安心・安全にデジタル技術を活用するための対策や、デジタル化によって取り残される人がいないようデジタルデバインド対策を図っていく必要がある（村民問 7(2)）。

5. 転出者からみた木島平村

- 村から転出された方に対し木島平村は住みやすかったかどうかを尋ねたところ、6割が「住みやすかった」と回答し、「住みにくかった」の回答割合（2割）を上回った（転出問 7）。
- 「住みやすかった」点については、「緑が多く自然に恵まれている」が6割と最も高く、次いで「友人・知人がいる」、「自然災害が少ない」が続く（転出問 8）。
- 一方、「住みにくかった」点としては、「通勤、通学等における交通の便が悪い」が半数と最も高く、次いで「買い物など日常生活の便が悪い」が続くなど、交通や生活の利便性等に関する回答が多い（転出問 9）。
- 今後の居住地については、3割が「現在の居住地に住み続けたい」と回答した一方、木島平村へ戻る可能性がある「いずれは木島平村へ戻りたい（3割）」と「条件等が合えば木島平村へ戻りたい（2割）」を合わせた回答割合は5割となった（転出問 10）。
- 村へ戻る可能性があるという回答した方へ、どのような村になれば戻りたいと思うかを尋ねたところ、「買い物など日常生活の便がよい」、「子育て支援が充実」が最も多く、次いで「通勤、通学等における交通の便がよい」、「近郊も含め雇用の場が確保」が続くなど、生活の利便性や子育て支援のほか、働く場の確保に関する意見が挙げられた（転出問 10(1)）。

6. 集落の現状と将来像に関する評価

- 集落の過去 10 年間の変化について各区長に尋ねたところ、人口、世帯数、1 世帯あたりの人数、40 歳以下の人数が減ったと回答した集落が約 7 割以上の水準だった。一方、65 歳以上の人数は約 8 割の集落で増えたとの回答があった（区長 2-1）。
- 集落内での日常生活の助け合いについては、9 割程度の集落が「災害時の協力」を行っているとは回答した（前回調査と比べ 23.1 ポイント上昇）。また、「高齢者の見守り」についても 6 割弱の集落が行っていると回答した（前回調査と比べ 19.2 ポイント上昇）（区長 3-8）。
- 集落内の問題となる場所について、約 9 割の集落が「空き家」を挙げており、景観や倒壊の危険性等から多くの集落で課題となっている（区長 5-1）。
- 集落で行う作業への住民の参加状況については、76.9%の集落が「多くの住民が参加」していると回答した（区長 3-6）。集落で行う作業に関する困りごとについては「人手不足」が 42.3%と最も多く、担い手不足が主な課題となっている（区長 3-5）。
- 現在行っている集落の活動や作業の見通しについて「実施困難になる」と回答した集落は 76.9%であり、「活性化する」と回答した集落はなかった（区長 6-5）。
- 今後の集落の姿（将来像）について集落内で話し合いを持っているかについては、19.2%が「既に話し合っている」と回答した一方で、53.8%(14 地区)が「話し合いが必要と考えるができていない」と回答した（区長 6-6）。
- 集落を活性化するために重要な取組については、「移住者を受け入れる取り組み」（42.3%）が最も多く、続いて「地域の行事など人との交流の取組」が 34.6%だった（区長 6-7）。こうした集落活性化の取組を進めていくために必要なことについては、「集落内の若者の力」が 42.3%と最も多く、続いて「住民のやる気、意欲」が 34.6%となった（区長 6-8）。

7. アンケート調査結果から導かれる課題

- 約 7 割の村民が今後も木島平村に住み続けたいと回答するなど、多くの村民が村での生活を肯定的に捉えているとみられる。「住み続けたい」理由としては、家や土地があることのほか、災害に対する心配が少ないこと、地域や人への愛着などが多く挙げられており、引き続きこうした強みを定住につなげていくことが求められる。
- 一方、村民アンケート・転出者向けアンケートともに、買い物や病院、通勤・通学などへの不便さが多く挙げられた。取組別にみても、重要な取組として医療の確保や交通に関する項目などが挙げられており、日常生活の利便性向上に引き続き取り組んでいくことが求められる。若い年代ほど住み続けたい意向が低い傾向にあることを踏まえ、若年層の定着に向けた観点からもこうした利便性の向上が課題といえる。
- このほか、村民が重要と考えるものの満足度が低い傾向にある取組として「不法投棄防止活動」「有害鳥獣対策」「空き家等の管理の指導」など 16 項目が挙げられた。今後も引き続き力を入れていくべき取組（村民の重要度・満足度が共に高い取組）として挙げられた 36 項目と合わせ、重点的に取り組んでいく必要がある。

第4章 資料編

1. 村民アンケート調査票

第7次総合振興計画策定に向けた
村民アンケート調査へのご協力のお願い

日頃から村政に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
村では、平成27年(2015年)～令和6年(2024年)を計画期間とする「第6次総合振興計画」を平成27年3月に策定し、「これからの農村を生きる 一みんで楽しみをつくりだす村～」を将来像に掲げて事業を進めています。
この「第6次総合振興計画 後期基本計画」が令和6年度に期間満了となることから、村では令和7年度(2025年度)から始まる新たな「第7次総合振興計画」を策定するにあたり、これからどのような施策を進めていく必要があるかを検討するため、村民の皆さんへアンケート調査を行うこととしました。
お忙しいところ誠に恐縮ですが、よりよい村づくりを進めていくために、ご協力をお願いします。

令和4年10月
本島平村長 日暮 正博

<記入にあたっての留意事項>

<p>1. 調査対象者について 今回の調査では、15歳以上の村民全員の中から、年代別、集落別の人口比率に応じて、1,500人を無作為に抽出し、調査票をお配りしました。記入にあたっては、封筒宛先に記載されたご本人が回答してください。(無作為抽出のため、同一世帯に2人以上の対象者となる場合があります。) なお、回答内容は統計的に処理し、どなたからいただいた回答が分からないように取り扱いますので、率直なご意見をお聞かせください。 また、本調査の結果は調査目的以外に使用することはありません。</p> <p>2. 回答方法について 次ページ以降のアンケート調査票の設問ごとに、自分の考えにあてはまる選択肢の番号に○をつけていただくものと、自分の意見を自由に書</p>	<p>いていただくものがあります。 それぞれの設問の指示に従って回答してください。</p> <p>3. 調査票の提出について</p> <p>① 紙で提出の場合 ・回答が済みましたら、同封の返信用封筒に入れ、令和4年10月31日(月)までに郵便ポストに投函してください。(印字は不要です。)</p> <p>② インターネットで回答する場合 ・インターネットによる回答も可能です。詳しくは裏面をご覧ください。</p> <p>4. お問い合わせ先 本島平村 総務課 政策情報係 電話:0269-82-3111(内線113)</p>
--	---

1 / 20

【インターネットによる回答のご案内】

<手順>

① アンケート回答ページにアクセスしてください。
https://s-kantan.jp/vill-ki-jimadaira-nagano-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=26927
[アクセス方法1]
右のQRコードを読み取ってください。



[アクセス方法2]
「ながの電子申請サービス」で検索してください。
ページ左上の「申請団体選択」から「本島平村」を選択のうえ、
「令和4年度 地域実態調査(村民向け)」を選択してください。

② 案内に沿ってご回答ください。

<ご注意点>

- ・ インターネットで回答した方は、紙での回答は必要ありません。
- ・ インターネットによる回答は、一度限りとしてください。

2 / 20

令和4年度 木島平村 村民アンケート調査票

問1 あなた自身のことについて、あてはまる番号に○をつけてください(○はそれぞれの項目で1つずつ)。

性別	1. 男性	2. 女性	3. 該当しない	4. 回答しない			
年齢 令和4年 4月1日現在	1. 15歳～19歳	2. 20歳～29歳	3. 30歳～39歳	4. 40歳～49歳			
	5. 50歳～59歳	6. 60歳～69歳	7. 70歳～79歳	8. 80歳以上			
お住まい の集落	1. 中村	2. 小見	3. 和梨	4. 福荷	5. 内山	6. 北鶴	7. 栄町
	8. 南鶴	9. 高石	10. 庚	11. 市之割	12. 西小幡	14. 中島	15. 部谷沢
	16. 原大沢	17. 千石	18. 上千石	19. 平沢	20. 馬曲		
	21. 藤子	22. 山口	23. 柳久保	24. 大町	25. 中町	26. 西町	27. 池の平
	28. スキー場						
今の集落に 住んでいる 年数	1. 1年未満	2. 1年～5年未満	3. 5年～10年未満				
	4. 10年～20年未満	5. 20年～30年未満	6. 30年以上				
職 業	1. 自営業(農林水産業)	2. 自営業(商工業、サービス業、建設業等)	3. 自由業(医師、弁護士、税理士、僧侶等)				
	4. 会社員	5. 公務員、団体職員	6. パート、アルバイト				
	7. 学生	8. 専業主婦(夫)	9. 無職				
	10. その他()						
勤務先・ 就学地	1. 村内	2. 飯山市	3. 中野市				
	4. 野沢温泉村	5. 山ノ内町	6. 長野市				
	7. その他()						

問2 木島平村は住みよい村だと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください(○は1つ)。

1. そう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない
---------	-----------	--------------	--------------	-----------

問3 今後も木島平村に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください(○は1つ)。

1. 住み続けたい	→(1)へ
2. 村外に転出したい	→(2)へ
3. わからない	
4. その他()	→次ページの問4へ

(1) 「問3」で「1. 住み続けたい」を選んだ方に伺います。

住み続けたい理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください(複数回答可)。

1. 家や土地があるから	2. 地域や人に愛着があるから	3. 職場(学校)に通うのに都合がいいから
4. 買い物や通院などで都合がいいから	5. 趣味や余暇を楽しむのに都合がいいから	6. 気候・音・光・匂いなど、生活環境がよいから
7. 景色がきれいだから	8. 災害で大きな被害を受ける心配が少ないから	9. 村民の人間性がよいから
10. 村外に転出する必要がないから	11. 村外に転出するのは面倒だから	12. 特に理由はない
13. その他()		→回答終了後は、次ページの問4へ

(2) 「問3」で「2. 村外に転出したい」を選んだ方に伺います。

村外に転出したい理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください(複数回答可)。

1. 今の家や土地が不都合だから	2. 地域や人になじめないから	3. 職場(学校)に通うのに不便だから
4. 買い物・病院など、生活する上で不便だから	5. 趣味や余暇を楽しむのに不便だから	6. 気候・音・光・匂いなど、生活環境が合わないから
7. 景色がよくないから	8. 災害で大きな被害を受ける心配があるから	9. 村民の人間性が合わないから
10. 仕事などの都合で転出する必要があるから	11. 別の市町村に住んでみたいから	12. 特に理由はない
13. その他()		→回答終了後は、次ページの問4へ

問4 木島平村第6次総合振興計画に掲げられている取り組みについて、①現状の満足度と②将来における重要度をおたずねします。

① あなたは、以下の取り組みについて、現在の満足度満足していますか。それぞれの取り組みについて、当てはまる番号に○をつけてください(○は1つ)。

② あなたは、以下の取り組みについて、将来的にどの程度重視するべきだと思いますか。それぞれの取り組みについて、当てはまる番号に○をつけてください(○は1つ)。

(1) 【子育てと教育の村づくり】

施策	取り組み ・具体的な事業内容	取り組み方針	①現状の満足度					②今後の重要度				
			満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
	【記入例】 ○○の充実	○○を推進します。	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
健全な子育て支援の村づくり	1. 子育て支援の充実 ・福祉医療事業(0～18歳) ・出産祝金、多子出産祝い金 ・小学段入学祝い金 など	少子化社会の中、地域全体で子どもを育て、サポートするため、子育て支援室や保小中の連携等地域の体制強化を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 相談体制の充実	子育て世代の不安や悩み等をケアするため、総合的な相談体制を確立します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 母子の健全育成 ・妊婦・乳児一般健康診査の実施 ・不妊・不育治療費助成事業 など	乳児訪問、乳児健診、定期健診など各種健診による母子の健全育成を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 婚活支援 ・婚活事業の実施、支援 ・結婚祝い金	婚活への協力、支援を行うと共に、結婚新生活を応援します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

↓ 次ページに続きます。

5 / 20

施策	取り組み ・具体的な事業内容	取り組み方針	①現状の満足度					②今後の重要度						
			満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない		
	【記入例】 ○○の充実	○○を推進します。	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5		
木島平町教育の推進	1. 木島平型教育の充実 ・村の環境を生かした地域密着型の教育 ・保小連携、小中一貫教育の推進 ・ルタセンブルック、八丈町交流 など	教職員の教育力向上のため、外部講師招聘による授業研究を進め、自然や農家の体験を通じ、地域の資源と人材を活用した質の高い教育を展開します。 保小連携、小中一貫による教育づくりの推進に取り組みます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	2. 協同的な学びの展開	教師が一方的に説明する一斉授業から脱却し、子どもが主体的に学びあう対話型コミュニケーションの充実を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	3. コミュニティ・スクールの展開	学校と地域の方々が一体となって子どもたちの豊かな育ちを確保します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	4. きめ細やかな指導 ・スクールカウンセラーの設置 ・加配教員の配置 など	加配教員による習熟度別のきめ細かな指導を行うことで確かな学力向上の推進を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
幼児教育の推進	1. 幼児教育の推進	大学との連携体制の充実と保育士研修の推進を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	2. 地域資源を活用した幼児教育	自然、文化、人材を生かした地域密着型教育を推進します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
総合的な子育て支援体制の推進	1. 安心できる子育て環境づくり	子どもと親への健康支援と育児不安の軽減を図ります。家庭相談員を配置し、育児についての相談窓口を開設します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	2. 発達支援体制の充実	特別な援助を要する家庭への支援を行います。発達支援のための保育士加配の配置を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	3. 子育て世代包括支援センターの創設	妊婦期から子育て期(高校卒業まで)まで、切れ目なく子育てのサポートを行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
上記以外で今後必要な取り組み及びご意見がありましたら、右の欄に記入してください。														

6 / 20

(2) 【暮らしやすさが実感できる村づくり】

施策	詳細	①現状の満足度					②今後の重要度									
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない					
取り組み ・具体的な事業内容	取り組み方針															
	【記入例】 ○○の充実	○○を推進します。					①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
交通確保の推進	1-1. 道路整備と交通確保の推進 ・国道、県道整備の働きかけ ・村道改良、維持事業 など	県へ事業推進の働きかけを行います。 維持保全事業に係わる補助制度を活用し、村道改良を推進します。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	1-2. 交通確保の推進 ・道路除雪事業 など	除雪機械の定期的な更新と除雪体制の整備を行います。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. デマンド交通制度の改善 ・デマンドバス事業	より利用しやすいデマンド交通の形態を検討します。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 公共施設の管理	公共施設等総合管理計画に基づいた計画的な施設管理を行います。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
安心安全な村づくりの推進	1. 災害情報の伝達経路整備 ・屋外スピーカーの更新 など	屋外放送設備及びエリアメール、ホームページ、CATV、SNSなど多様な情報伝達手段の活用と整備を行います。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 防火水槽や消火栓等の計画的整備・更新	防火水槽、消火栓等の適切な管理と計画的な整備更新を行います。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 各地区内での防災組織の整備 ・村ぐるみ防災訓練の実施	災害時の地域における役割の明確化や、地区内での危険箇所、避難経路、避難場所の共有、分館の創設化の支援を行います。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 防犯体制の整備 ・防犯カメラの設置 など	防犯体制の整備を行います。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5. 克雪住宅の普及推進	雪下ろしによる負担軽減並びに雪下ろし作業中の転落事故を未然に防ごうため、克雪住宅の推進を図ります。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
上記以外で今後必要な取り組み及びご意見がありましたら、右の欄に記入してください。																

7 / 20

(3) 【誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり】

施策	詳細	①現状の満足度					②今後の重要度									
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない					
取り組み ・具体的な事業内容	取り組み方針															
	【記入例】 ○○の充実	○○を推進します。					①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
いきいきライフの推進	1. 高齢者の生きがいづくり ・老人クラブ補助会 など	老人クラブやシルバー人材センターなど、高齢者の社会参加の場を支援します。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 介護予防の推進 ・介護予防教室等の実施 など	健康で過ごせる心と体づくりを進めます。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 地域活動への支援	サロンや集會など、地域で活動する団体を支援します。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 地域で安心して暮らせる環境づくり ・デマンドバス利用助成事業 ・運転免許自主返納者支援事業 ・災害救助員の確保 など	高齢者の生活支援や、地域で支え合う仕組みづくりを行います。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
村づくりの推進	1. 健康づくりの意識啓発 ・健康管理検診の実施 など	健康な体をつくり維持することの重要性を啓発し、「自分の健康は自分でやる」意識を醸成します。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 健康づくりの支援 ・健康づくり教室等の実施 など	各種健康教室を開催します。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 生活習慣の改善	運動習慣の習得機会の提供と食事指導の充実を図ります。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 食育の推進	若年世代からの食育推進を図ります。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域医療の確保	1. 地域医療の確保	病気の重症化の予防や健康意識高揚のため、かかりつけ医となる地域医療の確保を図ります。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 救急・休日夜間医療体制の確保	中核医療機関の診療体制の確保に取り組みます。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 医療との連携	在宅で、安心して暮らせるよう、医療や多職種との連携を進めます。					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
上記以外で今後必要な取り組み及びご意見がありましたら、右の欄に記入してください。																

8 / 20

(4) 【農を基軸とした交流の村づくり】

施策	評価		①現状の満足度					②今後の重要度				
	取り組み ・具体的な事業内容	取り組み方針	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	どちらかといえば重要	あまり重要ではない	重要ではない	
	【記入例】 ○○の充実	○○を推進します。	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
情報通信を活用した快適な生活	1. ICTの活用	光ファイバー等を活用した新たな情報提供を検討します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 防災担当との連携	Jアラートとの連携や村公式LINEアカウントの開設など、防災担当と連携して情報の提供を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 情報発信の充実 ・ふり太ネットの放映 など	指定管理者と連携し、文字放送などを実施していきます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. インターネット環境の整備 ・情報通信施設の整備、更新 など	高速化の検討を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
農村環境を活用した産業の創出	1. 6次産業化の推進	H27に農の拠点を開設し、6次産業化を進めるとともに、特産品奨励補助金により、事業者への支援を行いました。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 都市住民との連携による産業創出	都市住民と連携を図りながら、農業農村の持つ魅力を生かしたビジネスを生み出します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 観光部門との連携 ・産業ネットワーク協議会の運営 など	本島平観光株式会社、村観光振興局、宿泊事業者と連携しながら、交流事業の創出及び展開を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 若手農業者との連携 ・農業青年組織等の育成 など	様々なアイデアを持っている若手農業者と連携し、新たなビジネスを創出します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

↓ 次ページに続きます。

施策	評価		①現状の満足度					②今後の重要度				
	取り組み ・具体的な事業内容	取り組み方針	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	どちらかといえば重要	あまり重要ではない	重要ではない	
	【記入例】 ○○の充実	○○を推進します。	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
滞在型観光の推進	1. 観光資源及び施設の充実 ・高辻山登山環境整備 ・やまびこの五公団の改修 ・スキー場施設の検討 など	観光客のニーズに応え、施設やおてなしの充実も含めた観光資源整備や施設の充実を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. スポーツ環境及び施設の充実 ・ジュニアサッカー場の管理 ・クラブハウスの建設 ・各種大会の誘致 など	施設やおてなしの充実も含めた「スポーツ環境のブランド化」を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 農業農村体験等の充実 ・市民農園の開園、運営 など	村内関係者と連携し、ターゲットごとや村の自然を取り組んだ体験メニューの拡大を図るとともに、組織化等について検討します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 効果的なPR活動の推進 ・大型看板や看板の設置 ・テレビ、ラジオCMの展開 など	北陸新幹線開業を契機に、信越9市町村広域観光連携会議と連携し、首脳陣に加え北陸圏も視野に入れたPRを行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5. 観光案内マップの更新 ・パンフレットの作成	地域の魅力や資源がわかる観光案内マップづくりを行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
新しい産業の創出と 新工業の振興	1. 中小企業支援	融資を受ける際の利子補給の継続等を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 商工会との連携強化	商工会との連携を強化し、振興策について検討します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 新産業の創出支援 ・創業支援補助金制度	村内事業者等の新産業の創出を支援します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

↓ 次ページに続きます。

施策	評価		①現状の満足度					②今後の重要度						
			満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない		
取り組み ・具体的な事業内容 取り組み方針														
【記入例】〇〇の充実	〇〇を推進します。		①	2	3	4	5	①	2	3	4	5		
移住定住の促進	1-1. 移住定住の推進 ・公営住宅の建設管理 ・宅地分譲 ・移住者向け補助金の充実 など	宅地分譲や公営住宅の建設を促進します。民間による賃貸住宅建設の検討を行います。LITターン・LITターン者向けの住宅新築・増改築支援を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	1-2. 移住定住の推進 ・田舎暮らしセミナー、相談会の実施 ・移住体験住宅の建設管理 など	田舎暮らしセミナー、相談会を開催します。相談、サポート体制の構築を行います。田舎暮らし体験住宅の整備を検討します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	2. 空き家等の利活用 ・空き家バンク制度の運営 など	空き家バンク制度を推進し、空き家の更なる利活用を図ります。シェアハウス、都市部の高齢者が求める農村体験(祭礼、田植え、稲刈り等)等を検討します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
上記以外で今後必要な取り組み及びご意見がありましたら、右の欄に記入してください。														

(5) 【農村の環境を生かした村づくり】

施策	評価		①現状の満足度					②今後の重要度						
			満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない		
取り組み ・具体的な事業内容 取り組み方針														
【記入例】〇〇の充実	〇〇を推進します。		①	2	3	4	5	①	2	3	4	5		
木島平ブランドの確立	1. 高品質な農産物の生産 ・村長の太刀刺事業 ・特別栽培米奨励補助金 など	高品質な木島平米の生産に加え、酒米(金紋米)や西洋、野菜等の価値を向上させるための取り組みを行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	2. 振興作物の普及 ・振興作物苗代補助 など	木島平村にあった作物の選定、栽培方法の確立、安定生産に向けた支援施策を展開します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	3. 効果的なPR活動の推進 ・米・食卓分析鑑定コンクールへの参加 ・各種PR事業 など	消費者層を見据えた効果的なPR活動を推進するとともに地産地消を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	4. 姉妹都市・交流都市等への展開 ・岡崎市新鮮果の展開 ・都市における各種物販事業 など	姉妹都市・交流都市を基盤に、農産物の積極的な展開を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	5. 外部への積極的な販売支援	外部販売活動の積極的な支援を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		

↓ 次ページに続きます。

施策	評価		①現状の満足度					②今後の重要度				
	取り組み -具体的な事業内容	取り組み方針	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
	【記入例】〇〇の充実	〇〇を推進します。	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
農業の振興	1. 有機の里づくりの推進	有機の里づくりの拠点施設である有機センターにおいて優良堆肥の製造をし、有機風農業栽培を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 農業の担い手確保 -農業後継者奨励金 など	農業後継者、新規就農者の財政的支援や技術指導を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 耕作放棄地の解消 -そば、大豆の振興 -放牧跡地の整備 など	耕作放棄地拡大防止のため、ソバや大豆といった製菓作物の生産を推進し、農地再生による優良農地化を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 農業用施設の改修	農道や集落内の水路改修を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5. 有害鳥獣対策 -電気柵の設置補助 -有害鳥獣駆除 など	電気柵の設置とあわせ、業友会と協力して有害鳥獣の駆除に努めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
林業の振興	1. 林業従事者との連携	北信州森林組合や村内林業関係企業と連携し、民有林等の整備を進め、間伐材の有効利用を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 森林教育の推進	北信州森林組合、村内林業関係企業、地元NPO等と連携し、幼少期からの森林教育を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 農産材の有効活用	木島平町住宅のガイドライン確立や建設促進を図り、農産材活用を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 森の再生事業	民間企業と連携し、カヤの平の森の再生を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
上記以外で今後必要な取り組み及びご意見がありましたら、右の欄に記入してください。												

(6) 【人と地球にやさしい村づくり】

施策	評価		①現状の満足度					②今後の重要度				
	取り組み -具体的な事業内容	取り組み方針	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
	【記入例】〇〇の充実	〇〇を推進します。	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
環境にやさしい水利用促進	1. 木質ペレットストーブ等の家庭への普及 -ペレットストーブ導入補助	木質ペレットストーブなどの購入時にかかる経費を補助します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 小水力発電の推進	馬場川発電所を、固定価格買取制度に適合した改修を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 未利用資源の活用	再生可能エネルギー等、村内未利用資源の利用促進について検討を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. ゼロカーボンの推進	木島平村地球温暖化対策実行計画を全面改定し、村全体で排出される温室効果ガスを着実に削減していきます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
農村景観の形成と維持	1-1. 環境の保全と景観形成 -外來植物の駆除・管理	他団体や世代別学習会の開催による意識啓発や、村民協議の美化活動を推進します。外來植物駆除など景観形成を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	1-2. 環境の保全と景観形成 -ケヤキの森公園・ポケットパーク など	公園施設の維持管理を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 空き家等の管理の指導	空き家等が適正に管理されるよう、管理不全な状態の空き家の調査把握や指導を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
リサイクルの促進	3. 農村景観に配慮した住宅建築推進	住まいづくりガイドラインの検討・周知普及を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	1. ごみの削減の推進	ごみの分別などごみ減量化に向けて啓発します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 資源化の促進	資源ごみの分別を促進して、古紙などのリサイクルの推進や容器包装プラスチック、食用油などの資源化を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. ごみ辞典の更新	品物毎に分別方法や排出方法をまとめたごみ辞典を作成します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. ごみステーションの建設補助	ごみステーション建設の補助を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 不法投棄防止活動	不法投棄の防止活動を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
上記以外で今後必要な取り組み及びご意見がありましたら、右の欄に記入してください。												

(7) 【文化が重るいきいきとした村づくり】

施策	評価		①現状の満足度					②今後の重要度						
			満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない		
取り組み ・具体的な事業内容	取り組み方針													
	【記入例】 ○○の充実	○○を推進します。	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5		
活動の拡大と振興	1. 芸術文化協会の活性化	協会加盟団体数増と団体内の会員増に向けて、芸術文化協会の活動を支援します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	2. 「郷の家」の振興	農村文化伝承施設及び観光資源として村内外に発信するとともに、語り部の育成や民謡の掘り起しを進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	3. 「中町展示館」の振興	展示館の企画運営について、芸術文化協会や村民の関わりを増やし、種々の美術展や様々な文化事業を開催していきます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
文化財の保存と活用	1. 文化財の保護と啓発 ・平塚道時発掘調査事業 ・文化財保護啓発事業	文化財は村民の共有財産であり、先人から受け継がれた文化財を後世に引き継ぐため、保護活動を適切に行い、財産の保存と継承を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	2. ふるさと資料館の活用	文化財を後世に伝えるため、展示内容の充実を図り、来場しやすい環境を整えます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	3. 各地区伝統文化の継承	コミュニティ助成事業等を活用し、各地区祭典等の充実を図るとともに伝統文化の継承を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	4. 郷土食、郷土料理の伝承	郷土食、郷土料理の講習会を行い、文化の伝承を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
上記以外で今後必要な取り組み及びご意見がありましたら、右の欄に記入してください。														

(8) 【活力いっぱい集落・村づくり】

施策	評価		①現状の満足度					②今後の重要度						
			満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない		
取り組み ・具体的な事業内容	取り組み方針													
	【記入例】 ○○の充実	○○を推進します。	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5		
集落の維持と振興	1. 集落の活性化 ・協働のむらづくり支援金事業	地区づくり計画に基づいた地区づくりの推進をサポートします。各種支援金制度の活用を推進します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	2. 協働の村づくり ・集落担当職員「地区づくり推進員」の配置	地区づくり推進員によるサポート体制を強化します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	3. 分館の改修	分館の改修・耐震化を支援します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
人権尊重のまちづくり	1. 人権擁護に関する総合計画との連動	人権擁護に関する総合計画と連動し、地域全体で取り組むために、家庭・保小中高・地域の連携を確立します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	2. 人権センター事業の実施	人権フェスティバルや各種歌会を開催し、人権が尊重される村づくりに取り組みます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	3. 相談窓口の充実	気軽に立ち寄れる窓口を整備します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
村民ら協働による村づくり	1. 村民と行政の協働による村づくりの推進	村民と行政が一緒になって政策の実現に向けた検討を行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
	2. 男女共同参画の推進	女性の意見やアイデア、活力を生かした村づくりを進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
上記以外で今後必要な取り組み及びご意見がありましたら、右の欄に記入してください。														

(9) 【ふれあいと交流ができる村づくり】

編 号	詳 述	①現状の満足度					②今後の重要度					
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	
	取り組み ・具体的な事業内容 取り組み方針 【記入例】 ○○の充実 ○○を推進します。	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5	
生涯学習の推進	1. 村民スポーツフェスティバルの開催	スポーツを楽しむ機会を提供することで、長く続けられる自分に合ったスポーツとの出会いをサポートします。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 村民運動会の開催	地区単位で参加することにより仲間意識の強化を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 村民祭の開催	芸術活動の発表の場を提供します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 地域課題解決のための講座等の開催	本島平村の歴史、伝統、文化や豊かな自然の魅力を発信し、次世代につなげます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
正副知政務	公共施設等総合管理計画の推進	公共施設等総合管理計画を全面改訂し、長期的な視点を押って公共施設マネジメントを推進します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(10) 【若者のアイデアを生かした村づくり】

若者のアイデアを生かした村づくりの推進	1. 大学との連携による村づくり ・早稲田大学連携事業(地域活性化) ・東京農業大学連携事業(農業研修) ・東京大学連携事業(教育実習)	大学との連携による活性化策の具現化、各種施策の推進や、学生の来村サポートを行います。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 下高井農林高校の存続 ・下高井農林高校との連携	地域高校としての下高井農林高校との連携と、学校の存続を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
上記以外で今後必要な取り組み及びご意見がありましたら、右の欄に記入してください。												

問5 お住まいの集落に関して、あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 集落内で、高齢者(65歳以上)だけで生活している世帯の数を知っていますか(○は1つ)。

1. 知っている()戸 2. だいたい知っている()戸位 3. ほとんど知らない 4. 知らない 5. 高齢者だけで生活している世帯はない

(2) 集落内の共同作業や活動への住民の参加状況はどの程度ですか(○は1つ)。

1. 集落の多くの人が参加している 2. 半数程度の人が参加している 3. 一部の人が参加していない 4. 集落での共同作業や活動はない
 5. わからない 6. その他()

(3) 集落内で自慢できる資源(自然・歴史・人・食文化・祭り等)はありますか(○は1つ)。

1. ある(具体的に→) 2. ない 3. わからない

(4) 大雨や地震などの自然災害が起こったとき、集落内に危険な場所はありますか(○は1つ)。

1. ある 2. ない 3. わからない

(5) 過去10年間の集落の変化について伺います。それぞれの項目について、あてはまる番号に○をつけてください(○は1つずつ)。

人口	1. 増えている	2. 変わらない	3. 減っている	4. わからない	5. その他()
世帯数	1. 増えている	2. 変わらない	3. 減っている	4. わからない	5. その他()
転出世帯	1. 転出した世帯がある	2. 転出した世帯はない	3. わからない		
転入世帯	1. 転入した世帯がある	2. 転入した世帯はない	3. わからない		

(6) 今後10年間の集落の変化の見通しについて伺います。それぞれの項目について、あてはまる番号に○をつけてください(○は1つずつ)。

人口	1. 増えると思う	2. 変わらない	3. 減ると思う	4. わからない	5. その他()
若者の数	1. 増えると思う	2. 変わらない	3. 減ると思う	4. わからない	5. その他()
高齢者数	1. 増えると思う	2. 変わらない	3. 減ると思う	4. わからない	5. その他()
世帯数	1. 増えると思う	2. 変わらない	3. 減ると思う	4. わからない	5. その他()
高齢者のみ世帯数	1. 増えると思う	2. 変わらない	3. 減ると思う	4. わからない	5. その他()
集落の活動や作業	1. 活性化する	2. 今までどおり	3. 実施が困難に	4. わからない	5. その他()

(7) 集落の未来について、期待する将来像や心配事等がありましたら記入してください。

問6 地域の活動・行事等について、以下の設問にお答えください。

(1) コロナ禍により、令和2年(2020年)以降、地域の活動・行事などが縮小・中止せざるをえない状況が続いています。こうした状況を踏まえ、以下①～④のそれぞれの活動・行事等について、今後どのようにしていくのがよいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください(○は1つずつ)。

① 有志が少人数で集まり実施する行事やサークル活動	1. コロナ禍前よりも拡大・充実した方がよい	2. コロナ禍前とほぼ同様の内容で継続した方がよい	3. 見直し・縮小した方がよい	4. 廃止した方がよい
	具体的な活動・イベント名(ある場合)⇒[]			
② 集落単位で実施する行事・イベント	1. コロナ禍前よりも拡大・充実した方がよい	2. コロナ禍前とほぼ同様の内容で継続した方がよい	3. 見直し・縮小した方がよい	4. 廃止した方がよい
	具体的な活動・イベント名(ある場合)⇒[]			
③ 村が村民向けに実施する行事・イベント	1. コロナ禍前よりも拡大・充実した方がよい	2. コロナ禍前とほぼ同様の内容で継続した方がよい	3. 見直し・縮小した方がよい	4. 廃止した方がよい
	具体的な活動・イベント名(ある場合)⇒[]			
④ 村が対象者を限定せずに実施する行事・イベント	1. コロナ禍前よりも拡大・充実した方がよい	2. コロナ禍前とほぼ同様の内容で継続した方がよい	3. 見直し・縮小した方がよい	4. 廃止した方がよい
	具体的な活動・イベント名(ある場合)⇒[]			

(2) コロナ禍により縮小・中止した活動や行事、イベントは、将来に向けてどのような形にすることが理想とありますか。

19 / 20

問7 今後、村がデジタル化を進めていくことに関して、以下の設問にお答えください。

(1) 今後、村にデジタル化を進めて欲しい分野について、あてはまる番号に○をつけてください(○は3つまで)。

1. 住民票の写しや各種証明書のコンビニ交付サービス	2. スマートフォンやパソコンから各種申請ができるようになる
3. 村税、借入金料、上下水道使用料等のコンビニエンスストアやインターネットでの納入	4. 税金や公共施設の利用料、証明書の手数料がキャッシュレスで支払えるようになる
5. センサーを活用した河川の監視など防災への活用	6. ドローンやセンサー等を利用した農業の省力化・効率化
7. インターネット上で子育て等の情報交換・相談ができる仕組み	
8. その他()	

(2) 今後、村がデジタル化を進めるにあたって、どのようなことに注意すべきだと思いますか。(○は3つまで)。

1. 個人情報・プライバシーの保護	2. 情報セキュリティ対策	3. デジタル技術に詳しくない人・使う環境にない方への配慮
4. 費用を抑えること	5. 新しい技術への対応	6. 人間関係・コミュニケーションが薄れないようにすること
7. その他(内容:)		
8. 特に注意することはない		

問8 これからの村づくりについて、ご意見、ご提案等がありましたら記入してください。

以上でアンケートは終了です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

10月31日(月)までに返信用封筒に入れてポストに投函してください(切手は不要です)。

20 / 20

2. 転出者向けアンケート調査票

木島平村から転出された方へのアンケート調査

問1 あなた自身のことについてご回答ください。

① 性別	1. 男性	2. 女性	3. 該当しない	4. 回答しない
② 年代	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代 5. 50代
③ ご職業	1. 学生	2. 会社員	4. 自営業（農業従事者含む）	
	3. 公務員	6. 専業主婦・主夫		
	5. パート・アルバイト	8. その他（		）
	7. 無職			
④ 現在（木島平村から転出後）の家族構成	1. 単身	2. 夫婦のみ	4. 三世同居（親・子・孫）	
	3. 二世同居（親子）	5. その他（		
	）			
⑤ 木島平村での居住年数	1. 0～4年	2. 5～9年	4. 20年以上	
	3. 10～19年			

問2 木島平村から転出後は、どちらにお住まいですか。市町村名または都道府県名もご記入ください（番地は記入不要です）。

1. 長野県内（ _____ 市・町・村）
2. 長野県外（ _____ 都・道・府・県）

問3 木島平村では、どちらの地区（上木島、往郷、穂高、）にお住まいでしたか（番地は記入不要です）。

木島平村（ _____ ）地区

問4 転出前後のお住まいについて教えてください（○は一つ）。

① 【転出前】

1. 持ち家（親族の所有する家を含む）	2. 借家（戸建て）
3. 借家（アパート・マンション等）	4. 社宅
5. 公営住宅	6. その他（ _____ ）

② 【転出後（現在）】

1. 持ち家（親族の所有する家を含む）	2. 借家（戸建て）
3. 借家（アパート・マンション等）	4. 社宅
5. 公営住宅	6. その他（ _____ ）

問8 木島平村が「住みやすかった」のは、どのような点ですか（○はいくつでも）。

1. 緑が多く自然に恵まれている
2. 買い物など日常生活の便がよい
3. 通勤、通学等における交通の便がよい
4. 親、子ども等の家が近い
5. 住宅の広さ、土地又は住宅の価格、家賃等の住宅事情が良い
6. 病院等の医療機関が充実している
7. 子どもを産み育てる環境が整っている
8. 教育環境が整っている
9. 福祉施設又は福祉サービスが充実している
10. 道路、下水道等の都市基盤が整っている
11. 文化施設が整っている
12. 友人・知人がいる
13. 治安が良い
14. 自然災害が少ない
15. 特にない
16. その他（)

問9 木島平村が「住みにくかった」のは、どのような点ですか（○はいくつでも）。

1. 緑が少なく自然が少ない
2. 買い物など日常生活の便が悪い
3. 通勤、通学等における交通の便が悪い
4. 親、子ども等の家が遠い
5. 住宅の広さ、土地又は住宅の価格、家賃等の住宅事情が悪い
6. 病院等の医療機関が充実していない
7. 子どもを産み育てる環境が整っていない
8. 教育環境が整っていない
9. 福祉施設又は福祉サービスが充実していない
10. 道路、下水道等の都市基盤が整っていない
11. 文化施設が整っていない
12. 友人・知人がいない
13. 治安が悪い
14. 自然災害が多い
15. 特にない
16. その他（)

問10 今後の居住地について、どのようにお考えですか（○は一つ）。

1. 現在の居住地に住み続けたい	⇒次は問11へ
2. いずれは木島平村へ戻りたい	⇒次は①、②を回答したのち問11へ
3. 条件等が合えば木島平村へ戻りたい	⇒次は①、②を回答したのち問11へ
4. 別の居住地（木島平村以外の長野県内）へ引っ越したい	⇒次は問11へ
5. 別の居住地（長野県外）へ引っ越したい	⇒次は問11へ
6. その他（ ）	⇒次は問11へ

① 木島平村がどのような村になれば、戻りたいと思いますか（○はいくつでも）。

1. 自然環境が豊か	2. 近郊も含め雇用の場が確保
3. 起業・創業への支援が充実	4. 新規就農者への支援が充実
5. 住宅の取得・改修補助等の支援が充実	6. 奨学金返済に関する補助がある
7. 買い物など日常生活の便がよい	8. 通勤、通学等における交通の便がよい
9. 子育て支援が充実	10. 教育環境が整っている
11. 病院等の医療機関が充実	12. 福祉施設又は福祉サービスが充実
13. 道路、下水道等の都市基盤が整っている	14. 防災など安全性が高い
15. その他（ ）	

② 木島平村へ戻る場合、おおよそ何年後くらいを想定されますか

1. 1～2年以内	2. 5年以内	3. 10年以内
4. 20年以内	5. 30年以内	6. それ以上のち

問11 これまで木島平村にお住まいになって、気づいたこと・不安だったことなどがありましたらご自由に記入してください。

大変お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒にて、**10月31日（月）まで**にご返函くださいますよう、お願い申し上げます。

3. 区長向けアンケート調査票

集落に関するアンケート

回答者についてご記入ください

質問	回答欄
集落名	
氏名	
年齢（あてはまる番号1つに○）	1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代 7. 80歳以上

1 集落の現状について（把握している範囲でお答えください）

質問	回答欄
1-1 65歳以上だけで暮らしている世帯は いくつありますか。	世帯
1-2 後継者や跡継ぎがいて、現在一緒に住んでいる 世帯はいくつありますか。	世帯
1-3 集落に住む世帯のうち、他の集落または村外に 家の跡継ぎの人が住んでいる世帯はそれぞれ いくつありますか。	①村内の他の集落 世帯 ②村外 世帯
1-4 65歳以上だけで暮らしている世帯のうち、他の集 落や村外に家族が住んでいて、よく訪れてくる世 帯はいくつありますか。 訪れてくる頻度ごとに、世帯数を記入してくだ さい。	①週に1回以上 世帯 ②月に1～2回程度 世帯 ③年に数回程度 世帯

2 集落の過去10年間の変化について（把握している範囲でお答えください）

質問	回答欄
2-1 今から10年前と比べて、集落 はどのように変わりました か。項目ごとに、あてはまる 番号に○をつけてください。 （○は項目ごとに1つ）	1. 減った 2. 変わらない 3. 増えた
①人口	1 2 3
②世帯数	1 2 3
③1世帯の人数	1 2 3
④65歳以上人数	1 2 3
⑤40歳以下人数	1 2 3
2-2 過去10年間で、他の集落または村外へ転出した 世帯はありますか。（どちらかに○）	1. ある 2. ない
2-3 過去10年間で、他の集落または村外から転入した 世帯はありますか。（どちらかに○）	1. ある 2. ない
2-4 過去10年間で、他の集落または村外から戻って きた人はいますか。（どちらかに○）	1. いる 2. いない

3 集落内のつながりについて

質問	回答欄																				
3-1 集落で共同利用・管理している施設はありますか。(どちらかに○) ある場合は施設名を記入してください。	1. ある (施設名を下に記入) 2. ない																				
3-2 集落で共同利用・管理している広場や公園等 はありますか。(どちらかに○) ある場合は名称を記入してください。	1. ある (名称を下に記入) 2. ない																				
3-3 集落で共同利用・管理している山林等 はありますか。(どちらかに○) ある場合は名称を記入してください。	1. ある (名称を下に記入) 2. ない																				
3-4 集落としてどのような作業を行って いますか。項目ごとに、年間の実施回数を記入 してください。	<table border="1"> <tr> <td>①除草作業</td> <td>年 回</td> <td>②花壇整備</td> <td>年 回</td> </tr> <tr> <td>③除雪</td> <td>年 回</td> <td>④公民館等清掃</td> <td>年 回</td> </tr> <tr> <td>⑤ゴミ拾い</td> <td>年 回</td> <td>⑥水路の泥上げ</td> <td>年 回</td> </tr> <tr> <td>⑦道路(村・農道)整備</td> <td>年 回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧その他()</td> <td>年 回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①除草作業	年 回	②花壇整備	年 回	③除雪	年 回	④公民館等清掃	年 回	⑤ゴミ拾い	年 回	⑥水路の泥上げ	年 回	⑦道路(村・農道)整備	年 回			⑧その他()	年 回		
①除草作業	年 回	②花壇整備	年 回																		
③除雪	年 回	④公民館等清掃	年 回																		
⑤ゴミ拾い	年 回	⑥水路の泥上げ	年 回																		
⑦道路(村・農道)整備	年 回																				
⑧その他()	年 回																				
3-5 集落全体で行う作業への住民の参加状況 について、あてはまる番号に○をつけて ください。(○は1つ)	1. 多くの住民が参加 2. 半数程度が参加 3. 一部の住民のみ参加																				
3-6 集落で行う作業について、困ったこと や気づいたことがありますか。あてはまる 番号に○をつけてください。(複数回答可)	1. 人手が足りない 2. 費用が足りない 3. 安全上の問題(保険等) 4. その他()																				
3-7 集落に神社のお祭りはありますか。 (どちらかに○)ある場合は、神楽の奉納 (夜宮)を行っていますか。	1. ある(下の質問も回答) 2. ない 神楽の奉納(夜宮)を 1. 行っている 2. 行っていない																				
3-8 日常生活において、集落内でどの ような助け合いがみられますか。あては まる番号に○をつけてください。(複数 回答可)	1. 災害時の協力 2. 農作業等の協力 3. 冠婚葬祭 4. 交通安全の見守り 5. 防犯パトロール 6. 高齢者の見守り 7. その他()																				
3-9 集落において日常生活、家事など を助けてくれるグループや組織などは ありますか。(どちらかに○) ある場合は組織名を記入してください。	1. ある(組織名を下に記入) 2. ない																				
3-10 親交やつながりの深い集落はあり ますか。(どちらかに○) ある場合は集落名を記入してください。	1. ある(集落名を下に記入) 2. ない																				
3-11 他の集落と協力・連携して、活 動や行事などを行っていますか。 (どちらかに○)ある場合は、内容を 記入してください。	1. ある(内容を下に記入) 2. ない																				
3-12 今後必要になると思われる助け 合いや協力がありましたら、記入して ください。																					

4 集落内の資源について

質問	回答欄
4-1 集落内に、他に自慢できるような資源や魅力がありましたら、記入してください。	
4-2 上の4-1で回答した資源や魅力について、保存、振興、伸長させるような取り組みを行っていますか。(どちらかに○) 行っている場合は内容を記入してください。	1. 行っている (内容を下に記入) 2. 行っていない
4-3 集落に <u>伝統行事</u> (神社のお祭りを除く)はありますか。(どちらかに○) ある場合は行事の名称を記入してください。	1. ある (行事名を下に記入) 2. ない
4-4 集落内の資源や魅力について、課題がありましたら記入してください。	

5 集落内の施設や場所について

質問	回答欄	
5-1 集落内に右の施設や場所がありますか。 (項目ごとに、どちらかに○)	①子どもが遊ぶ場所	1. ある 2. ない
	②避難できる場所	1. ある 2. ない
	③空き家	1. ある 2. ない
	④災害が発生しやすい場所	1. ある 2. ない
	⑤交通事故が起こりやすい場所	1. ある 2. ない
	⑥見通しの悪い場所	1. ある 2. ない
	⑦少量の雨で水かさが増す川	1. ある 2. ない
	⑧そのほか危険箇所	1. ある 2. ない
	⑨騒音・異臭のある場所	1. ある 2. ない
	⑩獣害のある場所	1. ある 2. ない
	⑪景観が損なわれている場所	1. ある 2. ない
	⑫道路・農道で荒れている場所	1. ある 2. ない
	⑬水路・側溝で荒れている場所	1. ある 2. ない
	⑭農地、山林で荒れている場所	1. ある 2. ない
	⑮公共施設や建物で荒れている場所	1. ある 2. ない
5-2 上の①～⑮の中で、現在特に課題となっている場所がありましたら場所と内容を記入してください。		

6 集落の将来について

質問		回答欄		
6-1 今から10年後の集落はどのように変化すると思いますか。項目ごとにあてはまる番号に○をつけてください。(○は項目ごとに1つ)	① 人口	1. 減る	2. 変わらない	3. 増える
	② 40歳以下人数	1	2	3
	③ 65歳以上人数	1	2	3
	④ 世帯数	1	2	3
	⑤ 65歳以上世帯数	1	2	3
6-2 現在は他の集落または村外に住んでいるが、将来戻ってきそうな人は何人くらいいますか。				人くらい
6-3 今後、他の集落または村外へ転出する世帯はどうかと思いますか。(○は1つ)	1. 減る			2. 変わらない 3. 増える
6-4 今後、他の集落または村外から転入する世帯はどうかと思いますか。(○は1つ)	1. 減る			2. 変わらない 3. 増える
6-5 今後の人口の変化などにより、現在行っている集落の活動や作業はどうかと思いますか。(○は1つ)	1. 実施困難になる			2. 変わらない 3. 活性化する
6-6 今後の集落の姿(将来像)について、現在、集落内で話し合いを持っていますか。(○は1つ)	1. 既に話し合っている		2. 今後話し合う予定	
	3. 話し合いが必要と考えるができていない			
	4. 話し合う予定はない		5. 分からない	
6-7 この集落を活性化するためには、どのような取り組みが重要だと思いますか。(○は3つまで)	1. 集落の資源を活かし収益が入る仕組み		2. 近隣の集落と連携する取組	
	3. 地域の行事など人との交流の取組		4. 移住者を受け入れる取組	
	5. 産業の活性化の取組		6. 分からない	
	7. その他 ()			
6-8 前問 6-7 であげた集落の活性化の取組を進めていくためには、集落で何が必要だと思いますか。(○は3つまで)	1. 住民のやる気、意欲		2. 近隣の集落の協力	
	3. 集落内の若者の力		4. 専門家の支援	
	5. 活動のための資金、場所、設備など		6. 移住者など地域外からの人材の確保	
	7. リーダーの存在		8. 行政の主体的な導きや支援	
	9. 働く場や就業の機会		10. 分からない	
	11. その他 ()			

6-9 上記のほか、集落の将来について期待する将来像や心配事等がありましたら、自由に記入してください。	
---	--

以上でアンケートは終了です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

回答が終了しましたら、同封した返送用封筒に入れて 12月16日（金）最終区長会で提出して下さい。